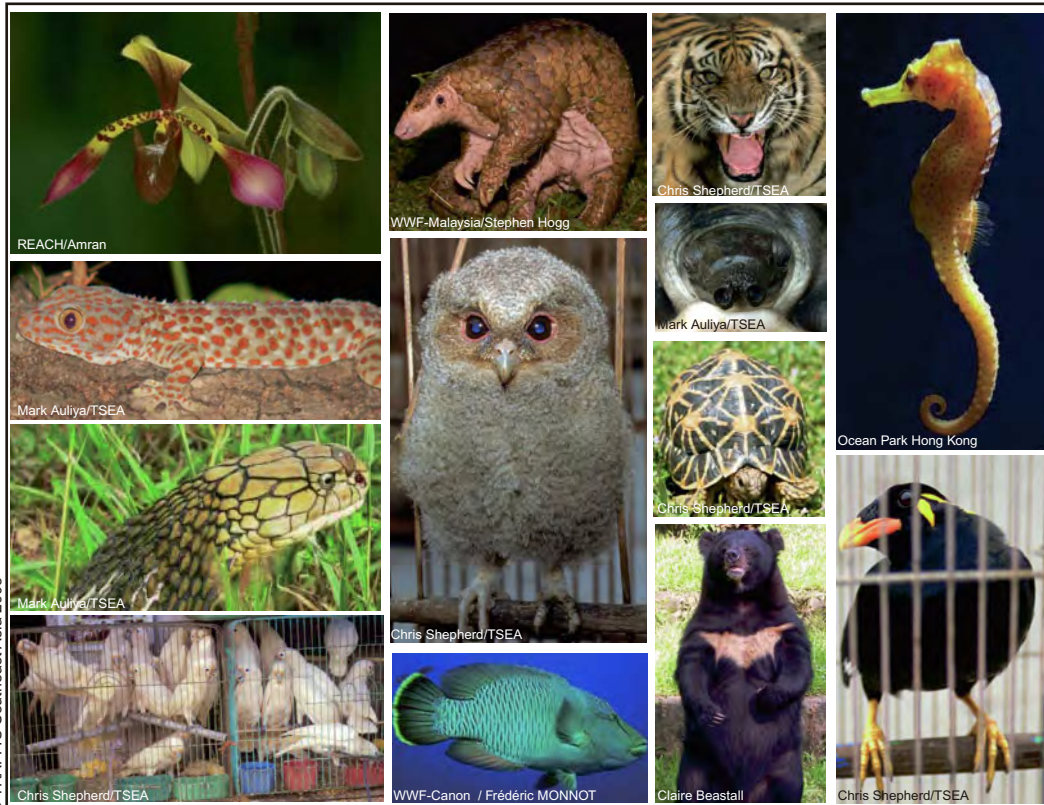


東南アジアで取引される 野生生物種の識別シート

日本語版



目次(1)

この識別シートは、東南アジアの取引でよく見られる野生生物種について、法執行担当者が識別する際の手引きとして、トラフィックサウスイーストアジアが作成したものである。作成は 2008 年から 2011 年にかけておこなわれ、**98** 枚のシートで構成されている。

情報

CITES と IUCN レッドリスト

CITES 管理当局と科学当局

CITES 許可書の有効性確認の手引き

計測と用語

- * よくみられる密輸方法——密輸者が身につけて運ぶ場合
- * よくみられる密輸方法——荷物に隠す場合
- * よくみられる密輸方法——貨物に隠す場合
- * よくみられる密輸方法——類似種と混載する場合
- * よくみられる密輸方法——飼育繁殖を装う場合
- * 不正許可書の特定
- * 不正許可書がよく発見される状況

哺乳類

<i>Bos gaurus</i> & <i>Bos javanicus</i>	ガウル、バンテン (Gaur and Banteng)
<i>Capricornis</i>	カモシカ属 (Serows)
<i>Pantholops hodgsonii</i>	チルー (チベットアンテロープ) - シャトゥーシュ (Tibetan Antelope - Shahtoosh)
<i>Saiga tatarica</i>	サイガ (Saiga Antelope)
Deer and Antlers	シカ類の枝角 (Multi-lined Antlers)
<i>Moschus</i>	ジャコウジカ属 (Musk Deer)
Felidae (1)	ネコ科 (1) - ネコ類 (Cats)
Felidae (2)	ネコ科 (2) - 東南アジアのネコ類 (CITES 附属書 I 掲載) (Southeast Asian CITES I Cats)
Felidae (3)	ネコ科 (3) - よくみられる部分と派生物 (Cat parts)
Southeast Asian Otters	東南アジアのカワウソ類 (Southeast Asian Otters)
<i>Helarctos malayanus</i>	マレーグマ (Sun Bear)
<i>Ursus thibetanus</i>	アジアクロクマ (ツキノワグマ) (Asiatic Black Bear)
<i>Hemigalus derbyanus</i> & <i>Chrotogale owstoni</i>	タイガーシベット、オーストンヘミガルス (Banded Palm & Owston's Civets)
<i>Prionodon pardicolor</i> & <i>Prionodon linsang</i>	ブチリンサン、オビリンサン (Spotted & Banded Linsangs)
<i>Arctictis binturong</i>	ビントロング (Binturong)
Rhinocerotidae	サイ科 (Rhinoceros)
<i>Manis</i>	センザンコウ属 (Pangolins)
Primates	サル目 (霊長目) (Primates)
<i>Nycticebus</i>	スローロリス属 (Lorises)
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル (Long-tailed Macaque)
<i>Elephas maximus</i> & <i>Loxodonta africana</i>	アジアゾウ、アフリカゾウ (Elephants)

鳥類

<i>Dendrocygna javanica</i> & <i>D. arcuata</i>	リュウキュウガモ、オオリュウキュウガモ (Ducks)
<i>Leptoptilos</i>	ハゲコウ属 (Adjutant Storks)
Bucerotiformes	サイチョウ類 (Hornbills)
<i>Copsychus malabaricus</i>	アカハラシキチョウ (White-rumped Shama)
Falconiformes	タカ目 (Birds of Prey)
<i>Pycnonotus zeylanicus</i>	キガシラヒヨドリ (Straw-headed Bulbul)
<i>Gracula religiosa</i>	キュウカンチョウ (Hill Mynah)
Psittaciformes	オウム目 (Parrots)
<i>Cacatua</i>	オウム属 (White Cockatoos)
<i>Probosciger aterrimus</i>	ヤシオウム (Palm Cockatoo)
<i>Eos-</i>	ヒインコ属 (Indonesian Lorikeets)
<i>Loriculus galgulus</i>	サトウチョウ (Blue-crowned Hanging Parrot)
<i>Lorius garrulus</i>	ショウジョウインコ (Chattering Lory)
<i>Lorius lory-</i>	ズグロオトメインコ (Black-capped Lory)
Strigiformes	フクロウ目 (Owls)

日本語版の「ASEAN-WEN 東南アジアで取引される野生生物種の識別シート」は、東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ (ESABII) の活動の一環として環境省の支援により作成された。

ESABII は、東アジアおよび東南アジアにおける生物多様性情報の整備と分類学の能力向上を通じて、生物多様性条約 (CBD) の実施に貢献することを目的としている。

* ここには含まれず

目次(2)

爬虫類

Crocodylia	ワニ目 - 皮革 (Crocodile Hides)
Alligators & Caiman	アリゲーター類、カイマン類 (Alligators & Caimans)
<i>Crocodylus novaeguineae</i> & <i>C. mindorensis</i>	ニューギニアワニ、ミンドロワニ (New Guinea & Philippine Crocodiles)
<i>Crocodylus porosus</i> & <i>C. siamensis</i>	イリエワニ、シヤムワニ (Estuarine & Siamese Crocodiles)
<i>Tomistoma schlegelii</i>	ガビアルモドキ (マレーガビアル) (False Gharial)
<i>Uromastyx</i>	トゲオアガマ属 (Spiny-tailed Lizards)
<i>Phelsuma</i>	ヒルヤモリ属 (Day Geckos)
<i>Gekko gekko</i>	トッケイヤモリ (Tokay Gecko)
<i>Varanus</i>	オオトカゲ属 (Monitor Lizards)
<i>Ptyas mucosus</i>	ナンダ (Oriental Rat Snake)
<i>Ophiophagus hannah</i> , <i>Naja</i>	コブラ類 (Cobras)
Pythonidae	ニシキヘビ科 (Pythons)
<i>Carettochelys insculpta</i>	スッポンモドキ (Pig-nosed Turtle)
<i>Chelus fimbriatus</i>	マタマタ (Matamata Turtle)
Cheloniidae and Dermochelyidae	ウミガメ科、オサガメ科 (Marine Turtles)
<i>Eretmochelys imbricata</i>	タイマイ (Hawksbill Turtle)
<i>Batagur</i>	バタゲールガメ属 (Batagur)
<i>Geoclemys hamiltonii</i>	ハミルトンガメ (Black Pond Turtle)
<i>Cuora</i>	アジアハコガメ属 (Asian Box Turtles)
<i>Leucocephalon yuwonoi</i>	シロアゴヤマガメ (Sulawesi Forest Turtle)
<i>Platysternon megacephalum</i>	オオアタマガメ (Bid-headed Turtle)
<i>Orlitia borneensis</i>	ボルネオカワガメ (Malaysian Giant Turtle)
<i>Siebenrockiella leytensis</i>	フィリピンヤマガメ (Philippine Forest Turtle)
<i>Trachemys scripta elegans</i>	ミシシッピアカミミガメ (Red-eared Slider)
Testudinidae	リクガメ科 (Tortoises)
<i>Astrochelys</i> (または <i>Geochelone</i>) <i>radiata</i>	ホウシャガメ (Radiated Tortoise)
<i>Astrochelys yniphora</i>	ヘサキリクガメ (Ploughshare Tortoise)
<i>Chelonoides</i> (または <i>Geochelone</i>) <i>carbonaria</i>	アカアシガメ (Red-footed Tortoise)
<i>Geochelone elegans</i>	インドホシガメ (Indian Star Tortoise)
<i>Geochelone platynota</i>	ビルマホシガメ (Burmese Star Tortoise)
<i>Geochelone</i> (または <i>Stigmochelys</i>) <i>pardalis</i>	ヒョウモンガメ (Leopard Tortoise)
<i>Geochelone</i> (または <i>Centrochelys</i>) <i>sulcata</i>	ケヅメリクガメ (African Spurred Tortoise)
<i>Indotestudo elongata</i>	エロンガータリクガメ (Yellow-headed Tortoise)
<i>Malacochersus tornieri</i>	パンケーキリクガメ (Pancake Tortoise)
<i>Manouria emys</i>	エミスムツアシガメ (Asian Brown Tortoise)
<i>Manouria impressa</i>	インブレッサムツアシガメ (Impressed Tortoise)
<i>Amyda cartilaginea</i>	インドシナオオスッポン (Asiatic Softshell Turtle)
<i>Chitra</i>	コガシラスッポン属 (Narrow-headed Softshell Turtles)
<i>Pelochelys</i>	マルスッポン属 (Giant Softshell Turtle)
<i>Pelodiscus sinensis</i>	スッポン (Chinese Softshell Turtle)

両生類

<i>Dyscophus antongilii</i>	アカトマトガエル (アントンギルガエル) (Tomato Frog)
-----------------------------	------------------------------------

魚類

<i>Scleropages formosus</i>	アジアアロワナ (Asian Arowana)
<i>Cheilinus undulatus</i>	メガネモチノウオ (Humphead Wrasse)
<i>Hippocampus</i>	タツノオトシゴ属 (Seahorses)

無脊椎動物

Tridacnidae	シャコガイ科 (Giant Clams)
-------------	----------------------

植物

Nepenthaceae	ネベンテス (ウツボカズラ) 属 (Pitcher Plants)
Orchidaecae (1)	ラン科 (1) - CITES 附属書 I ラン科 (CITES Appendix I Orchids)
Orchidaecae (2)	ラン科 (2) - 野生ランの識別 (Identification of Wild Orchids)
<i>Gonystylus</i>	ゴニユステュルス属 (ラミン) (Ramin)

本識別シートの日本語版作成にあたって、各分類群ごとに、国立科学博物館動物研究部 川田伸一郎氏（哺乳類）、国立科学博物館 動物研究部 西海功氏（鳥類）、兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 太田英利氏（爬虫類・両生類）、国立科学博物館 動物研究部 松浦啓一氏（魚類）、国立科学博物館 動物研究部 齋藤寛氏（海生無脊椎動物）、国立科学博物館 植物研究部 遊川知久氏（植物）の各氏に監訳していただきましたことに感謝申し上げます。

CITES と IUCN レッドリスト

ワシントン条約（CITES）

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」（ワシントン条約、または CITES）は、政府間（加盟国）で結ばれた国際条約である。野生の動植物の個体（または、その部分と派生物、すなわちそれらの部分から作られたものすべて）が国際的に取引されることによってこれらの野生動植物の存続が脅かされないようにすることを目的としている。

CITES は、指定された種の標本の国際取引に特定の規制をかけることで機能している。CITES が対象とする 3 万種のいずれについても、輸入、輸出、再輸出、持込みをおこなう場合はすべて許可制に基づき承認を受けなくてはならない。CITES で規制される動植物は以下の 3 つの附属書のいずれかに掲載されており、これらの掲載種の取引は、標準化された許可制に基づき厳しく規制されている。

附属書 I には、絶滅のおそれのある種が掲載されている。これらの種の取引が認められるのは例外的な場合のみである。

附属書 II には、取引を規制しなければ存続が脅かされるおそれのある種が掲載されている。これらの種は、現時点で必ずしも絶滅のおそれがあるわけではない。

附属書 III には、少なくとも一カ国で保護の対象となっており、その国が他の加盟国に対しても取引規制への協力を求めている種が掲載されている。

適切な文書があらかじめ取得され、出入国港（空港）で通関の際にそれが提示される場合のみ、CITES に掲載された種の標本を加盟国内に輸入または加盟国外へ輸出（あるいは再輸出）できる。場合によっては国内の法律の方が厳しいこともあるが、その際にはその法律が適用される。

さらなる情報は www.cites.org を参照のこと。

IUCN レッドリスト

IUCN は 40 年以上にわたり IUCN 種の保存委員会（SSC）を通じて、絶滅のおそれのある生物を明らかにしようと、地球規模で種、亜種、変種、さらに特定の地域個体群までを対象として、保全状況を評価している。

「IUCN 絶滅のおそれのある種のレッドリスト」は、評価の対象となってきた動植物の分類や保全状況、分布情報を提供している。決められたカテゴリーや基準は、相対的な絶滅の危険性を判断できるよう策定されている。

「近絶滅種（Critically Endangered = CR）」「絶滅危惧種（Endangered = EN）」「危急種（Vulnerable = VU）」に分類されている種は、「近危急種（Near Threatened = NT）」や「低危険種（Least Concern = LC）」と比べると、世界的に絶滅の危険性が高い*。

* 訳注：日本のレッドリスト、レッドデータブックのカテゴリーとして環境省では CR＝絶滅危惧 IA 類、EN＝絶滅危惧 IB 類、VU＝絶滅危惧 II 類、NT＝準絶滅危惧種の呼称を使用している。

さらなる情報は www.redlist.org を参照のこと。

CITES と IUCN レッドリストに形式的な関連性はない。

CITES：掲載されている動植物の国際取引について手続きの仕方を定めたもの。

IUCN レッドリスト：動植物の生物学的な状況を判断したもの。

ワシントン条約 (CITES) 管理当局と科学当局

CITES は指定された種の標本の国際取引に特定の規制をかけることで機能している。CITES が対象とする種の輸入、輸出、再輸出、持込みをおこなう場合は定められた手続きに基づき許可を得なくてはならない。すべての CITES 締約国は、許可書等を発給する管理当局を一ヵ所以上と、種の保護の観点から許可書等の発給に関して管理当局に助言する科学当局を一ヵ所以上指定しなければならない。

管理当局

加工品

経済産業省 貿易経済協力局
貿易管理部 貿易審査課
野生動植物貿易審査班
100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1
Tel: 03-3501-1659
Fax: 03-3501-0997

生きているもの

経済産業省 貿易経済協力局
貿易管理部 貿易審査課 農水産室
野生動植物貿易班
100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1
Tel: 03-3501-0532
Fax: 03-3501-6006

クジラ類・海牛類

農林水産省 水産庁 国際課
100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1
Tel: 03-3502-2443
Fax: 03-3504-2649

上記以外の水産種

農林水産省 水産庁 漁業調整課
100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1
Tel: 03-6744-2393
Fax: 03-3501-1019

一部の植物 (サボテン科全種、ユリ科アロエ属全種、
サクラソウ科シクラメン属全種、ソテツ科全種 (人工
繁殖のもの)、ラン科全種 (人工繁殖のもの)

北海道経済産業局 産業部 国際課
060-0808 札幌市北区北8条西2丁目
札幌第1合同庁舎
Tel: 011-709-1752 Fax: 011-709-1798

東北経済産業局 産業部 国際室
980-8403 仙台市青葉区本町3-3-1
Tel: 022-221-4907 Fax: 022-223-2658

関東経済産業局 産業部 国際課
330-9715 さいたま市中央区新都心1番地1
さいたま新都心合同庁舎1号館
Tel: 048-600-0265 Fax: 048-601-1306

東京通商事務所 総務課
113-0034 文京区湯島4-6-15 湯島地方合同庁舎
Tel: 03-5842-7071 Fax: 03-5689-7841

横浜通商事務所 業務課
231-0002 横浜市中区海岸通1-1
横浜第2港湾合同庁舎
Tel: 045-201-9606 Fax: 045-201-7156

中部経済産業局 地域経済部 国際課
460-8510 名古屋市中区三の丸2-5-2
Tel: 052-951-4091 Fax: 052-961-7829

近畿経済産業局 通商部 通商課
540-8535 大阪市中央区大手前1-5-44
Tel: 06-6966-6034 Fax: 06-6966-6088

神戸通商事務所 総務課
650-0024 神戸市中央区海岸通29番地
神戸地方合同庁舎5階
Tel: 078-393-2682 Fax: 078-393-2685

中国経済産業局 産業部 産業振興課
730-8531 広島市中区上八丁堀6-30
広島合同庁舎2号館
Tel: 082-224-5638 Fax: 082-224-5642

四国経済産業局 産業部 国際課
760-8512 高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎
Tel: 087-811-8525 Fax: 087-811-8558

九州経済産業局 国際部 国際課
812-8546 福岡市博多区博多駅東2-11-1
福岡合同庁舎本館
Tel: 092-482-5425 Fax: 092-482-5321

沖縄総合事務局 経済産業部 商務通商課
900-0006 那覇市おもろまち2-1-1
那覇第2地方合同庁舎2号館
Tel: 098-866-1731 Fax: 098-860-3710

科学当局

動物-下記以外

環境省 自然環境局 野生生物課
100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
Tel: 03-3581-3351 (内線6463)
Fax: 03-3581-7090

動物-水産種 (クジラ類、鰻脚類、海牛類、ウミガメ
類・オサガメ類、魚類、軟体動物・刺胞動物等)
農林水産省 水産庁 漁場資源課
100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1
Tel: 03-3502-8487
Fax: 03-3502-1682

植物-草本類

農林水産省 生産局 農産部 園芸作物課
100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
Tel: 03-3593-6496
Fax: 03-3502-0889

植物-木本類

農林水産省 林野庁 森林整備部 研究・保全課
100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1
Tel: 03-6744-2311
Fax: 03-3502-2104

CITES許可書の有効性確認の手引き

積荷に伴う CITES 許可書

附属書 I

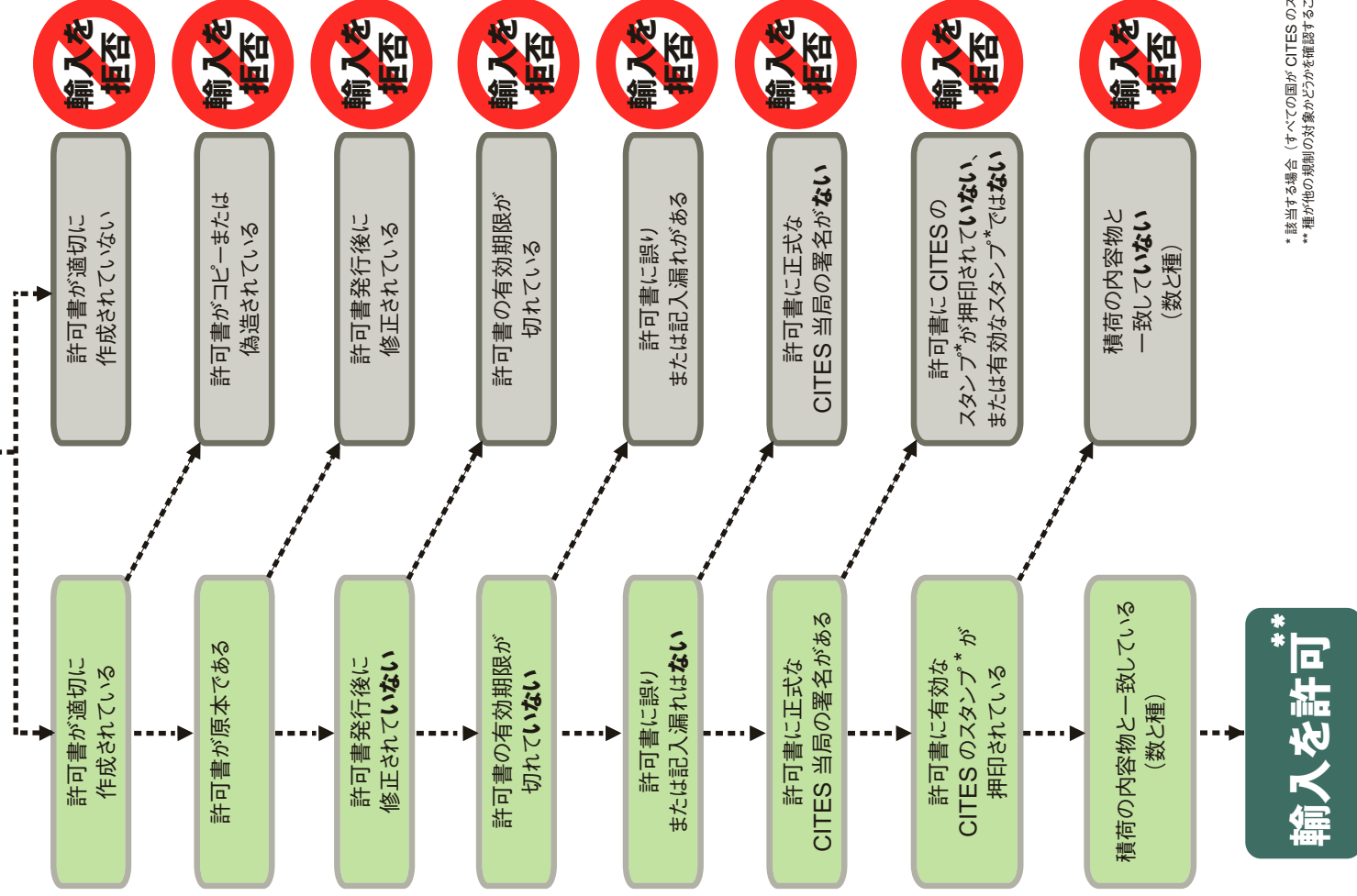
輸出許可書または再輸出証明書と輸入許可書

附属書 II

輸出許可書または再輸出証明書

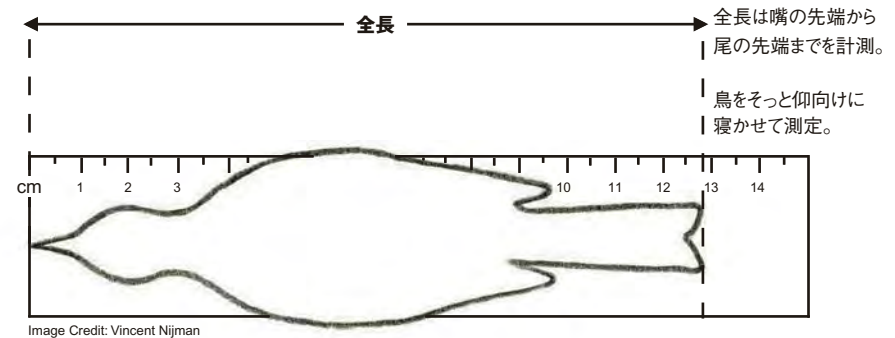
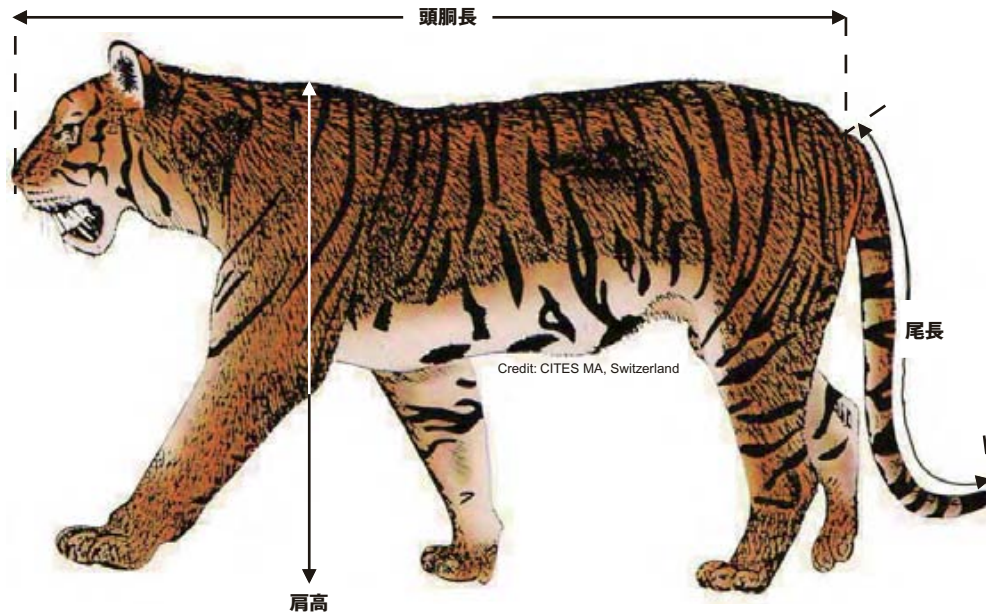
附属書 III

輸出許可書または原産地証明書

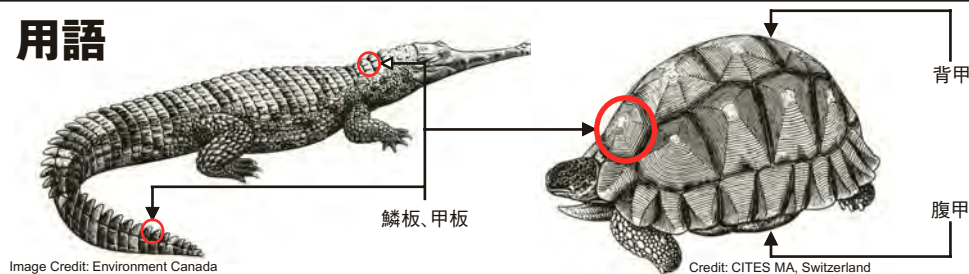


計測と用語

計測



用語



鱗板、甲板：

ワニやカメの甲羅の外部にある
角質あるいは骨質の鱗や甲。

背甲：

カメの甲羅の上部で、背中を覆っている。
通常は甲板や柔らかい皮膚で
覆われている。

腹甲：

カメの甲羅の下部で、
腹部を覆っている。

Bos gaurus (現在は *B. frontalis*) - ガウル

Bos javanicus - バンテン

Gaur (ガウル)

他の呼称: Seladang [セラダン] (マレーシア)、Pyong [ピョン] (ミャンマー)

分布: バングラデシュ、ブータン、カンボジア、インド、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、タイ、ベトナム

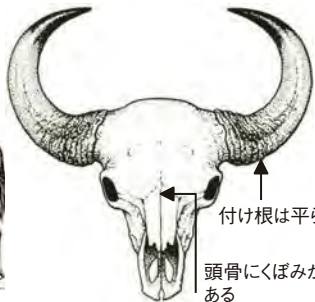
身体的特徴: 肩高: 165 - 220cm、頭胴長: 250 - 330cm、尾長: 70 - 105cm、体重: 650 - 1,000kg

顕著な特徴:

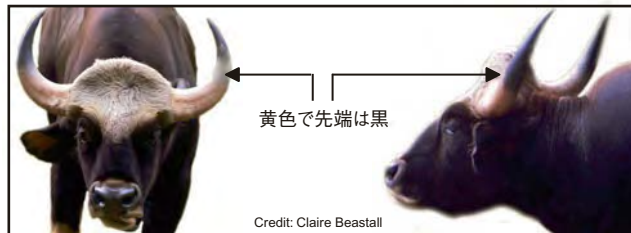
Bos gaurus (*B. frontalis*) ガウル



体色は黒茶色や黒、灰色
四肢下部は白



角長: 最大 95cm
角の外周: 最大 56cm



黄色で先端は黒

Credit: Claire Beasall

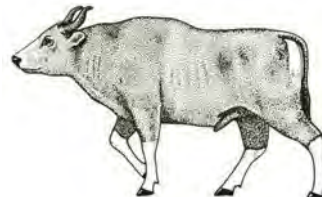
Banteng (バンテン)

Tsaine [ツァイネ] (ミャンマー)

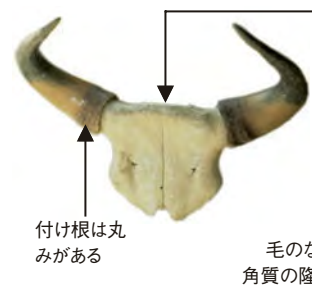
カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム

肩高: 120 - 190cm、頭胴長: 180 - 225cm、尾長: 65 - 70cm、体重: 400 - 900kg

Bos javanicus バンテン



体色は、濃茶から黒 (雄)、淡褐色 (雌)
四肢下部と臀部は白



付け根は丸みがある

毛のない
角質の隆起



バンテン (雄) の幼体
Credit: Mark Auliy/TSEA

角長: ≤ 87 cm
角の外周: ≤ 48 cm

類似種:

Bubalus arnee アジアスイギュウ

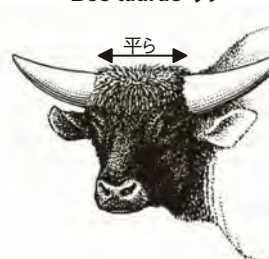


角は黒

複数の溝

角長: ≤ 149 cm
角の外周: ≤ 58 cm

Bos taurus ウシ



平ら

Budorcas taxicolor ターキン

CITES 附属書 II



角の付け根が湾曲しているものもある

角長: 最大 63.5cm
角の外周: 最大 33cm

国際的な保全状況:^a

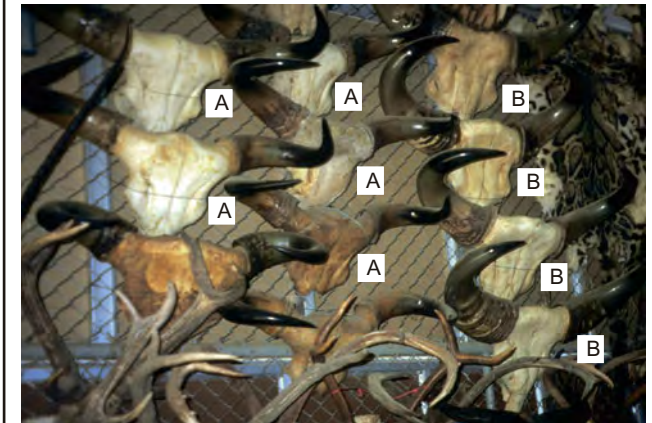
ガウルは **CITES 附属書 I**

IUCN: ガウルは **VU**; バンテンは **EN**

「種の保存法」による指定状況:

ガウル *Bos gaurus* は国際希少野生動植物 (2011 年 12 月時点)

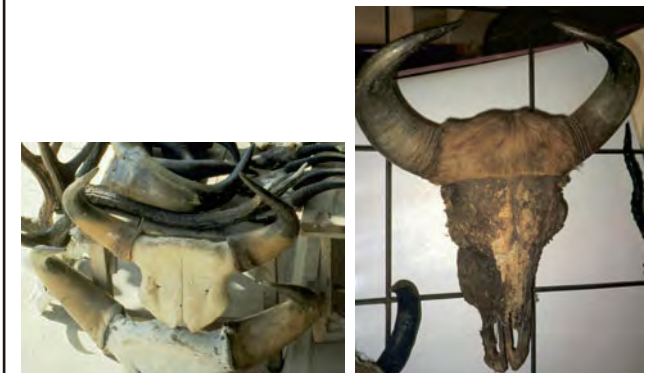
取引形態: 角、頭骨、肉



販売されている角
Credit: TRAFFIC SEA

A: バンテンの角

B: ガウルの角



販売されているバンテンの角
Credit: TRAFFIC SEA

販売されているガウルの角
Credit: TRAFFIC SEA

Image Source: Environment Canada (別途記載のものを除く)

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

March 2008



Capricornis spp. - カモシカ属

Serow

他の呼称： Kambing Gurun [カンビングルン] (マレーシア)、Taw sai [トーサイ] (ミャンマー)

分布： バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、インド、インドネシア (スマトラ島)、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、台湾、タイ、ベトナム

身体的特徴： 頭胴長：140 - 155cm、肩高：85 - 94cm、尾長：11 - 16cm、角長：15 - 25.5cm

国際的な保全状況：^a

カモシカ属全種が **CITES 附属書 I**
(*Capricornis crispus* ニホンカモシカおよび *C. swinhoei* タイワンカモシカを除く)

IUCN : LR から **VU** まで様々 (すべて掲載されているわけではない)

「種の保存法」による指定状況： *Capricornis milneedwardsii*、*C. rubidus*、*C. sumatraensis* スマトラカモシカ、*C. thar* の4種が国際希少野生動植物 (2011年12月時点)

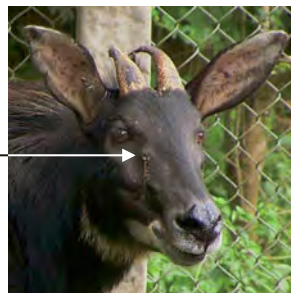


Credit: Claire Beastall

顕著な特徴：



Credit: Claire Beastall



Credit: Claire Beastall



Credit: Chris Shepherd / TSEA

両目の下に腺がはっきり見える

- 長い耳
- 短い首、頭頂部から肩にかけて密生する硬いたてがみ (色は茶か白)
- 被毛は粗く、灰色を帯びた黒褐色や赤みを帯びたものなど色は様々
- 腹部は色が薄い場合もある

類似種：

Naemorhedus spp. ゴールル属

すべて **CITES 附属書 I** に掲載

頭胴長：82 - 130cm、

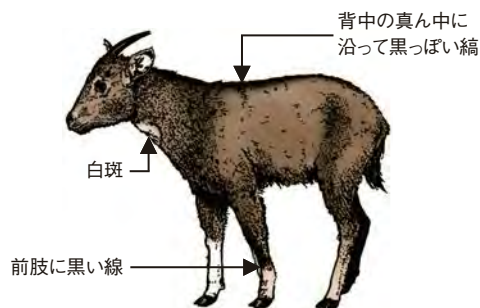
肩高：57 - 78.5cm、

尾長：7 - 20cm

角長：7.8 - 12cm

- カモシカ属より体と角は小さい
- 目の下の腺は見えない
- 被毛の色：灰色から黒褐色あるいは赤
- 腹部：通常、色が薄い

分布：ブータン、中国、インド、ミャンマー、韓国、北朝鮮、ラオス、ネパール、パキスタン、ロシア、タイ



取引形態：もっとも多いのは、体の部分、角、頭部、前肢などが薬や食肉として



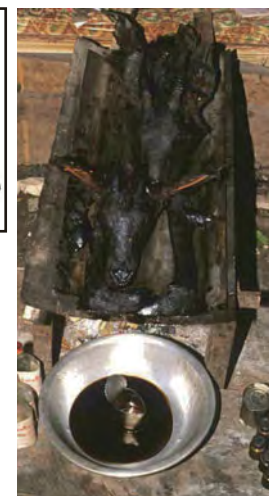
カモシカ類の角

Credit: Chris Shepherd/TSEA

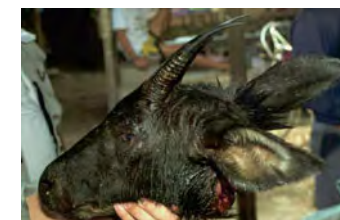


カモシカ類の角

Credit: Chris Shepherd/TSEA



頭部と足から油を抽出
Credit: Chris Shepherd/TSEA



カモシカ類の頭部

Credit: Chris Shepherd/TSEA

カモシカ類の皮

Credit: Chris Shepherd/TSEA



頭部と足から油を抽出
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Pantholops hodgsonii - チルー（チベットアンテロープ）

Tibetan Antelope

他の呼称： Chiru [チルー]（英名）、Tsod [ツォド]（中国チベット自治区）、Zanglingyang [ツァンリンヤン]（中国）

分布： 中国（青海省、新疆ウイグル自治区）、インド（ジャム・カシミール地方）

身体的特徴： 肩高：最大 85cm、体重：最大 40kg

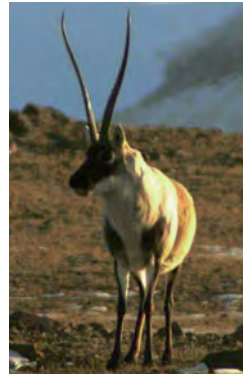
国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

IUCN : EN

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種（2011 年 12 月時点）



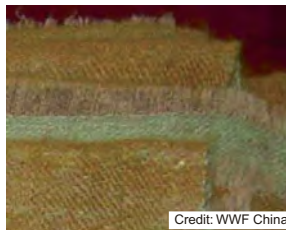
Credit: Tony Lynam

注：さらに決定的な識別をおこなうには各地域の専門家に問い合わせること。

顕著な特徴：

チルー（チベットアンテロープ）の毛で作られた製品はシャトウーシュ（Shahtoosh）という毛織物として知られる。シャトウーシュのショールは他のものよりも薄くて柔らかく、密度が薄い。売る側はこれを証明するのに、ショールを指輪の穴に通して見せることがある。

- ほとんどがオフホワイトや褐色を帯びたベージュ（ただし、どんな色にも染色可能）。通常、もっとも高価なのは白。
- 織り手がショールの隅に自分のイニシャルを縫いつけることもある。
- ショール全体あるいは縁にだけ、精巧な刺繍が施される場合が多い。
- 短い房で縁取りされることが多い。
- 細かいがはっきりとした菱形の織目を持つものもある（拡大鏡で確認可能）。



Credit: WWF China

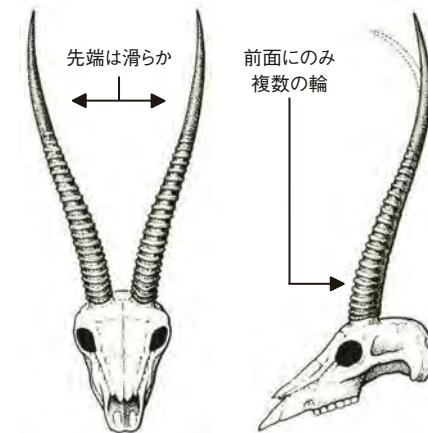


Credit: US Fish & Wildlife Service



Credit: US Fish & Wildlife Service

シャトウーシュは下毛で作られ、長い毛は入っていない。ただし、人間の毛髪よりも粗く、縮れたりうねったりしている明色の短い「上毛」がわずかに見える場合もある。



チルーの角（雄だけに生える）は非常に特徴的である。
Image Credit: Environment Canada

取引形態：皮、およびショールに加工。角が取引されることもある（薬にも使われる）。



没収されたシャトウーシュのショール
Credit: NRECD, Thailand



装飾を施されたチルーの頭骨と角
Credit: WWF China

類似種：

- カシミア・ヤギの毛で作られるバシュミナが似て見える場合がある。シャトウーシュよりもはるかに安い。
- 軽さや柔らかさ、菱形の織目があつたりなかったりする点は、シャトウーシュに似ているように見えるかもしれない。織目があらいショールは、生地量が少ないので指輪に通せる。
- 伝統的にバシュミナ・ショールの房はシャトウーシュの房よりも長く、ねじれていることが多い。



Credit: US Fish & Wildlife Service



Credit: US Fish & Wildlife Service

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Saiga tatarica - サイガ

Saiga Antelope

他の呼称：

分布： カザフスタン、モンゴル、ロシア、トルクメニスタン、ウズベキスタン

身体的特徴： 頭胴長：108 - 146cm、尾長：6 - 13cm、体重：21 - 51kg

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II

IUCN : CR

「種の保存法」による指定状況：なし（2011年12月時点）

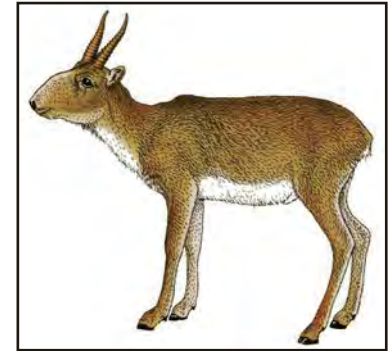


Illustration Credit: Environment Canada

サイガの角の顕著な特徴：



Credit: TRAFFIC SEA

他のどの角とも異なる

雄だけが角を持つ。その特徴は：

- 付け根が硬い
- 半透明
- ろうのような淡褐色
- 横断面はほぼ円形
- わずかに湾曲している
- 長さは最大 30cm（曲線に沿って）



Credit: TRAFFIC SEA



Credit: Environment Canada



Credit: Environment Canada

取引形態：角全体や角の削りくず



販売されるサイガの角
Credit: TRAFFIC SEA



Credit: TRAFFIC SEA



Credit: TRAFFIC SEA



削られたサイガの角
Credit: Claire Beasall



Credit: TRAFFIC SEA



サイガの角製品の
包装例
Credit: TRAFFIC SEA



伝統薬の製品の包装におけるサイガの角の一般的な表記

サイガの角
中国語表記： 羚羊角

ピン音式： Ling Yang Jiao
(中国語のローマ字表記)

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Multi-tined Antlers - 枝角

Deer Antlers

他のシカ類の枝角も取引されている——ここに挙げたものはもっとも頻繁に取引される枝角の代表的なものの枝角は成体の雄だけに生え、定期的に生え変わる（永久に生え変わらない角（ホーン）とは違う）

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書掲載状況は様々。

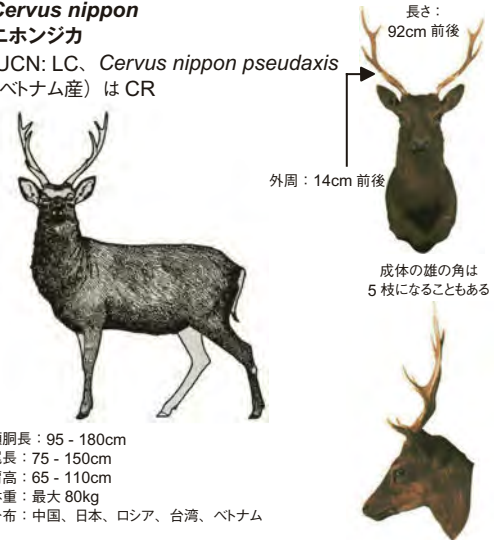
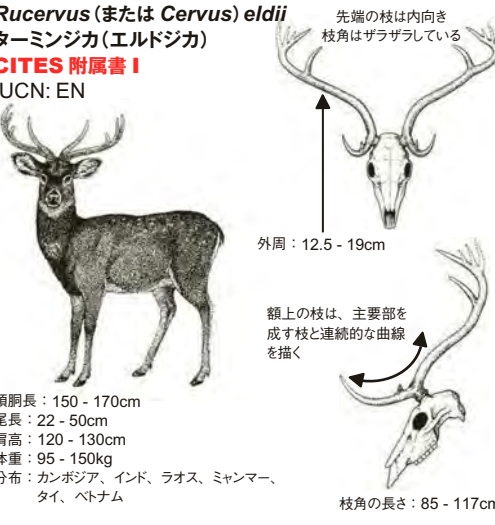
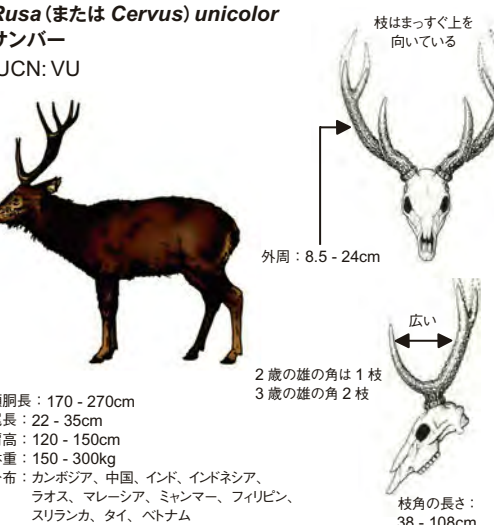
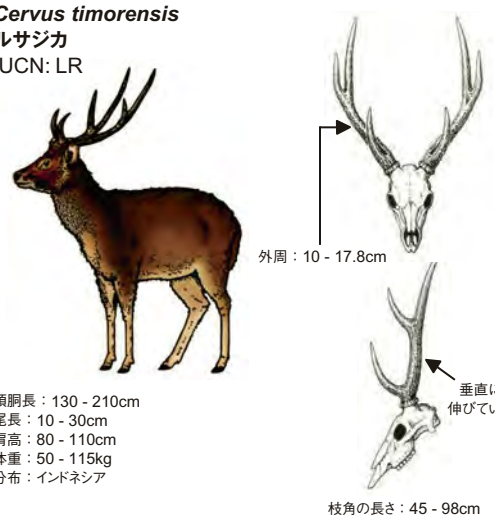
Axis porcinus ホッグジカ IUCN: EN, <i>Axis porcinus annamaticus</i> (ベトナム産) は CR  頭胴長：140 - 150cm 尾長：17 - 21cm 肩高：65 - 72cm 体重：70 - 110kg 分布：バングラデシュ、カンボジア、中国、インド、ミャンマー、ネパール、パキスタン、タイ 3 枝 先端で分岐 付け根にある3番目の小さな枝は上を向いている	Cervus nippon ニホンジカ IUCN: LC, <i>Cervus nippon pseudaxis</i> (ベトナム産) は CR  頭胴長：95 - 180cm 尾長：75 - 150cm 肩高：65 - 110cm 体重：最大 80kg 分布：中国、日本、ロシア、台湾、ベトナム 長さ：92cm 前後 外周：14cm 前後 成体の雄の角は5 枝になることもある	Rucervus (または Cervus) duvaucelli バラシנגジカ CITES 附属書 I IUCN: EN  頭胴長：最大 180cm 尾長：12 - 20cm 肩高：119 - 124cm 体重：最大 81kg 分布：インド、ネパール 通常 10 - 15 枝 ターミンジカに似ている枝角は滑らか 先端の枝はまっすぐ上を向いている 長さ：75 - 108cm	取引形態： 枝角全体、枝角の角袋、その他伝統薬の成分として  Credit: TRAFFIC Southeast Asia
Rucervus (または Cervus) eldii ターミンジカ(エルドジカ) CITES 附属書 I IUCN: EN  頭胴長：150 - 170cm 尾長：22 - 50cm 肩高：120 - 130cm 体重：95 - 150kg 分布：カンボジア、インド、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム 先端の枝は内向き 枝角はザラザラしている 外周：12.5 - 19cm 額上の枝は、主要部を成す枝と連続的な曲線を描く 枝角の長さ：85 - 117cm	Rusa (または Cervus) unicolor サンバー IUCN: VU  頭胴長：170 - 270cm 尾長：22 - 35cm 肩高：120 - 150cm 体重：150 - 300kg 分布：カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム 枝はまっすぐ上を向いている 外周：8.5 - 24cm 2 歳の雄の角は 1 枝 3 歳の雄の角 2 枝 広い 枝角の長さ：38 - 108cm	Cervus timorensis ルサジカ IUCN: LR  頭胴長：130 - 210cm 尾長：10 - 30cm 肩高：80 - 110cm 体重：50 - 115kg 分布：インドネシア 外周：10 - 17.8cm 垂直に伸びている 枝角の長さ：45 - 98cm	 Credit: TRAFFIC Southeast Asia

Image Source: Environment Canada (別途記載のものを除く)

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

March 2008



Moschus spp. - ジャコウジカ属

Musk Deer

他の呼称： Kado gaow[カダガオウ] (ミャンマー)

分布： アフガニスタン、ブータン、中国、インド、韓国および北朝鮮、ラオス、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、ロシア、ベトナム

身体的特徴： 頭胴長：70 - 100cm、肩高：50 - 61cm、尾長：1.8 - 6cm、体重：7 - 17kg

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I：アフガニスタン、ブータン、インド、ミャンマー、ネパール、パキスタンのジャコウジカ類

CITES 附属書 II：上記以外からのすべてのジャコウジカ類

IUCN：LC から EN まで種により様々

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: WWF-Canon / Gerald S. CUBITT

顕著な特徴：



Credit: WWF-Canon / Grigori MAZMANIAN

- 枝角はない
- 肩部より臀部の方が約 5 cm 高い
- 太くて長い剛毛におおわれる、毛の根元は白いことが多い。
- 色は様々だが、一般的には濃茶。背側には薄灰色、腹側にはそれより淡色のまだら模様がある
- 顎、耳の内側の縁、後ろ足の大腿部の内側は白っぽく、喉の両側に白斑がある場合もある

牙である雄の上顎の犬歯の長さは約 7.5cm、雌の犬歯はこれよりも短い



Credit: WWF-Canon / Grigori MAZMANIAN

取引形態：麝香(伝統薬用)は、麝香囊(のう) そのものや加工品 (大半はオイルやスプレー、薬用軟膏、麝香の原料粉末) として取引される

麝香囊(のう)
Credit: TRAFFIC



麝香囊(のう)：

- 3 歳を超える雄のジャコウジカの臍(へそ)と生殖器の間にある
- 取引されるのは、縦 4 - 6cm、横 3.5 - 4.5cm、高さ 4 - 5cm 程度のもの
- 麝香囊を体から取り出し、乾燥させる
- 内部の分泌物が粒状(赤褐色から黒色)や粉状になる

麝香製品の包装例
Credit: TRAFFIC



伝統薬の製品の包装におけるジャコウジカの一般的な表記

	Musk Deer ジャコウジカ	Musk 麝香
中国語表記：	鹿麝	麝香
ピン音式： (中国語のローマ字表記)	Lu She	She Xiang
ラテン語表記：	Moschus, Cervi	Moschus

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Felidae ネコ科 (1) - ネコ類

Cats

身体的特徴： 頭胴長：37 - 280cm まで様々
尾長：5.1 - 110cm
体重：1.5 - 306kg

国際的な保全状況：^α

ネコ科全種が **CITES 附属書 I あるいは II** に掲載
(イエネコを除く)

「種の保存法」による指定状況： 東南アジアを原産とする *Panthera tigris* トラ、*P. pardus* ヒョウ、*Uncia uncia* ユキヒョウ、*Neofelis nebulosa* ウンピョウ、*Catopuma temminckii* アジアゴールデンキャット、*Pardofelis marmorata* マーブルキャット、*Prionailurus planiceps* マライヤマネコ、*P. bengalensis bengalensis* (ベンガルヤマネコの基亜種) は国際希少野生動植物種 (2011年12月時点)



ベンガルヤマネコの子
Credit: WWF-Canon / Alain COMPOST

顕著な特徴：



ヒョウ
Credit: WWF-Canon / Martin HARVEY

頭部： 丸みを帯び、短頭
体： しなやかで、筋肉質で、引き締まっていて、胸部が厚い
乳頭数 (乳首)： 2 - 4
足： 前-5 指、後-4 指、肉球は無毛



イエネコのかぎ爪
Credit: Claire Beastall

かぎ爪：
切り裂くのに
適している

舌：
かみ裂くのに
適している



トラ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



アジアゴールデンキャット
Credit: WWF-Canon / Gerald S. CUBITT

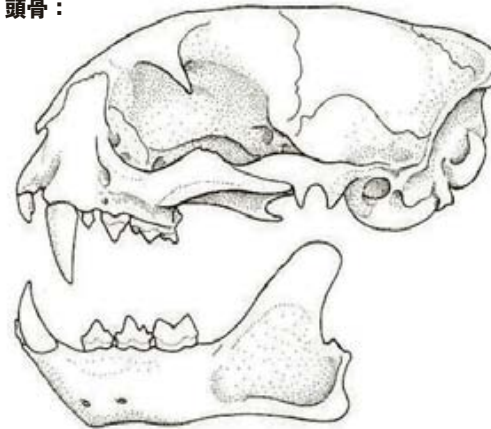
耳： 先端がとがったものや丸みを帯びたものがある

目： 瞳孔は縦に収縮する



ジャングルキャット
Credit: WWF-Canon / Roger HOOPER

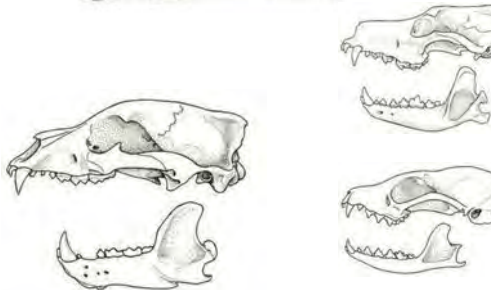
頭骨：



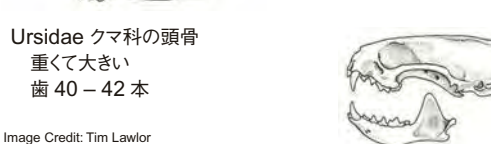
Felidae ネコ科の頭骨
丸みを帯び、短頭
歯 28 - 30 本



Panthera tigris トラの頭骨
Credit: Chris Shepherd/TSEA



Canidae イヌ科の頭骨
細長い
歯 42 本



Viverridae ジャコウネコ科の頭骨
長くて平ら
歯 32 - 40 本

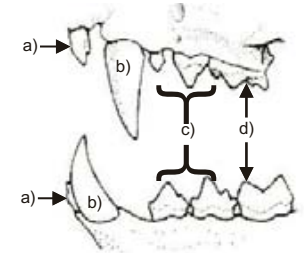
Ursidae クマ科の頭骨
重くて大きい
歯 40 - 42 本

Image Credit: Tim Lawlor



Mustelidae イタチ科の頭骨
頑丈で短顔
歯 28 - 38 本

歯：



- a) 前歯 (門歯)：小さくて一列に並んでいる (上 3 本、下 3 本) × 2
- b) 犬歯 (犬歯)：長くて鋭く、少し湾曲している (上 1 本、下 1 本) × 2
- c) 小臼歯 (裂肉歯を含む)：大きい (上 2 - 3 本、下 2 本) × 2
- d) 大臼歯：上顎の大臼歯は小さい (上 1 本、下 1 本) × 2

Image Credit: Tim Lawlor

取引形態：

皮、骨、肉、歯、爪、伝統薬の成分、生体

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Felidae ネコ科 (2) - CITES 附属書 I に掲載されている東南アジアのネコ科動物

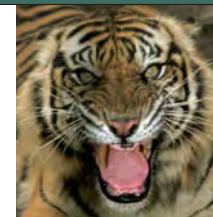
Southeast Asian Cats

Cats listed in **CITES Appendix I**

ネコ科の他の種はすべて（イエネコを除く）**CITES 附属書 II** に掲載されている

国際的な保全状況：^a

「種の保存法」による指定状況：*Panthera tigris* トラ *P. pardus* ヒョウ *Uncia uncia* ユキヒョウ *Neofelis nebulosa* ウンピョウ *Catopuma temmincki* アジアゴールデンキャット *Pardofelis marmorata* マーブルキャット *Prionailurus planiceps* マライヤマネコ *P. bengalensis bengalensis*（ベンガルヤマネコの基亜種）は国際希少野生動植物種（2011年12月時点）



Credit: Chris Shepherd/TSEA

Panthera tigris トラ

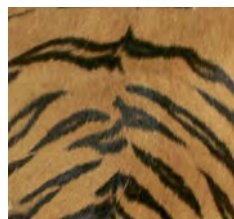


Credit: WWF-Canon / Mike GRIFFITHS

頭胴長：140 - 180cm
尾長：60 - 95cm
体重：180 - 245kg



Credit: Julia Ng/TSEA



Panthera pardus ヒョウ



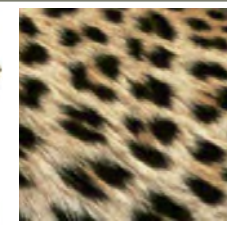
Credit: WWF-Canon / Gerald S. CUBITT

頭胴長：91 - 191cm
尾長：45 - 78cm
体重：45 - 65kg

一部地域には体毛が黒いヒョウが生息する（日光の下では斑点が見える）。

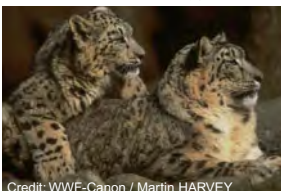


Credit: TSEA



Credit: WWF-Canon / Martin HARVEY

Uncia uncia ユキヒョウ



Credit: WWF-Canon / Martin HARVEY

頭胴長：100 - 130cm
尾長：80 - 100cm
体重：30 - 55kg

体毛は東南アジアのネコ類の中でもっとも長く、腹部では密生している。



Credit: Chris Shepherd/TSEA



Neofelis nebulosa ウンピョウ

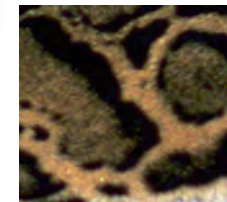


Credit: WWF-Canon / Gerald S. CUBITT

頭胴長：61 - 106cm
尾長：55 - 91cm
体重：15 - 23kg



Credit: Chris Shepherd/TSEA



Credit: WWF-Canon / Gerald S. CUBITT

Catopuma temmincki アジアゴールデンキャット



Credit: WWF-Canon / Gerald S. CUBITT

- － 体毛は比較的無地。
- － 被毛の色は様々（金褐色から明るい褐色、灰色がかったもの、黒まで）。
- － 一般的に背骨沿いは黒みを増し、腹側は白っぽい。
- － 尾は、背側が黒っぽく腹側は白っぽい。先端は黒みを帯びていることが多い。

注：ミャンマーの個体には黒っぽい斑点や縞が体に広がっているものもいる。顔面や尾は通常の形態と同じ。

頭胴長：76 - 84cm
尾長：43 - 50cm
体重：12 - 15kg

Pardofelis marmorata マーブルキャット

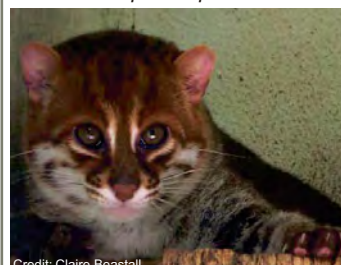


Credit: WWF-Malaysia / Ken SCRIVEN

- － 体毛は非常に濃い。
- － ウンピョウに似ているが、それよりも小型で四肢の黒斑が多い。

頭胴長：45 - 53cm
尾長：47 - 55cm
体重：2 - 4kg

Prionailurus planiceps マライヤマネコ

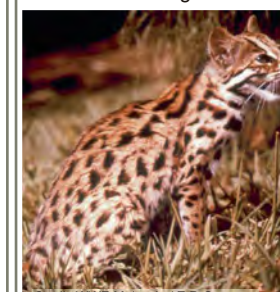


Credit: Claire Beasall

- － 耳が小さく、頭頂部は平らで長い。
- － 被毛は深紅色に見える。背側の毛は茶色で、灰色や淡黄褐色の細かい斑点がある。

頭胴長：44 - 50cm
尾長：13 - 17cm
体重：1.5 - 2.2kg

Prionailurus bengalensis ベンガルヤマネコ



Credit: WWF-Malaysia / E/P. Gee

- － 背側は尾を含め、赤褐色や黄色を帯び、黒斑がある。腹側は白く、黒斑がある。
- － *Prionailurus viverrinus* スナドリネコ（頭胴長：72 - 78cm）に似ているが、体はかなり小さい。

頭胴長：40 - 55cm
尾長：23 - 29cm
体重：3 - 5kg

注：バングラデシュ、インド、タイの個体群のみCITES 附属書 I。他の個体群はすべてCITES 附属書 II。

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Felidae ネコ科 (3) - よくみられる部分と派生物

Felidae (Cats) - Parts and Derivatives commonly found in Trade

取引形態： 骨、肉、歯、かぎ爪、伝統薬の成分

(皮の識別の詳細は [CITES 附属書 I] に掲載されている東南アジアのネコ科動物) を参照)

国際的な保全状況：^a

ネコ科全種（イエネコを除く）が

CITES 附属書 I あるいは II に掲載されている

「種の保存法」の対象となっているネコ科の部分（毛、皮、歯、爪、（トラの）骨、（雄のトラの）生殖器）やこれらの加工品が対象とされている
(2011 年 12 月時点)



ベンガルヤマネコの子
Credit: WWF-Canon / Alain COMPOST

骨：

骨全体として…



Panthera tigris トラの頭骨
Credit: Chris Shepherd/TSEA



押収されたトラの骨
Credit: Chris Shepherd/TSEA

もしくは伝統薬の成分として…

伝統薬の製品の包装における
トラの骨およびヒョウの骨の一般的な表記

中国語表記：ピン音式：
(中国語のローマ
字表記)

トラの骨 虎骨 Hu Gu

ヒョウの骨 豹骨 Bao Gu

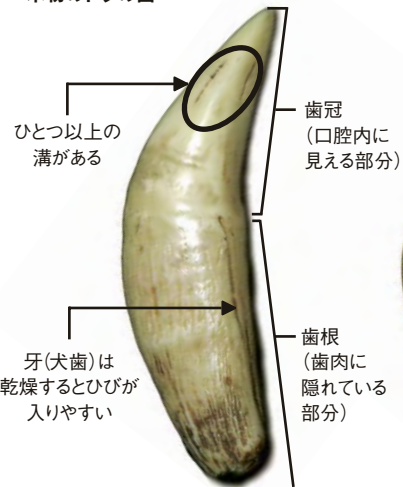
虎骨製品の包装例
Credit: TRAFFIC



歯：

本物のトラの歯

偽物のトラの歯



トラの歯—本物と偽物
Credit: Chris Shepherd/TSEA



歯に彫刻がほどこされることもある。
Credit: Chris Shepherd/TSEA



皮は本物で、歯は偽物。
おそらく本物の歯は別売りされた。
Credit: Chris Shepherd/TSEA

かぎ爪：

ほぼ半円形
色は黄白色か琥珀色

半透明のものもある
骨側の端に目立つ構造
(爪をしまうため)



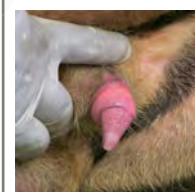
Credit: USFWS Photo

骨側の端に目立つ構造
(爪をしまうため)

ペニス：

明らかに偽物とわかるトラのペニスは……

1. 先端が一目でそれとわかる硬い毛やとげで覆われている
2. X 線で映る大きな陰茎骨がある
3. 長さが 20cm 以上ある



トラのペニス
Credit: C. Beasall

本物のトラのペニス
に硬い毛はほとんど
見られない



殺されたばかりの
ヒョウからとられたペニス
Credit: Chris Shepherd/TSEA



偽物のトラのペニス
Credit: Leong/TSEA



^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

東南アジアのカワウソ類

Southeast Asian Otters

他の呼称： Memerang [メラン] (マレーシア)

身体的特徴： 茶色、薄茶色の喉、密な毛皮、細長い体、水かきのある足、筋肉質の長い尾
東南アジアのカワウソ類—頭胴長：36 - 80cm、尾長：22.5 - 48cm

顕著な特徴：

Aonyx cinerea
コツメカワウソ

CITES 附属書 II
IUCN : VU

頭胴長：36 - 55cm
尾長：25 - 35cm

- 小さい
- 濃茶色から灰褐色
- 喉と首の側面は白っぽい
- かぎ爪は非常に小さく、指先からはみ出さない



Credit: Gerald S CUTBITT/WWF-Canon

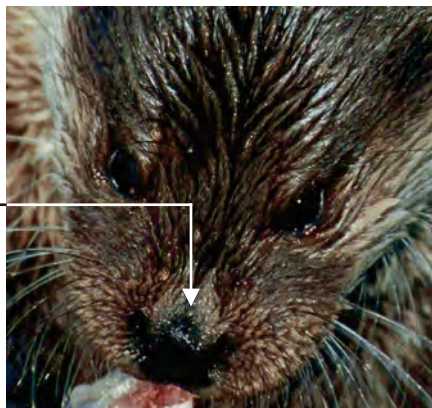
分布：アジア(東南アジアはブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)

Lutra lutra
ユーラシアカワウソ

CITES 附属書 II
IUCN : NT

頭胴長：55 - 72cm
尾長：37.5 - 48cm

- 顔の毛と毛のない鼻の境目は「W」の形をしている
- 短い体毛に白っぽい長い毛が混じり、灰色を帯びて見える
- 尾の先端の横断面は円形



Credit: Sanchez & Lopez/WWF-Canon

分布：ヨーロッパおよびアジア
(東南アジアはカンボジア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム)

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I に掲載の *Lutra lutra* ユーラシアカワウソを除き、
Lutrinae spp. カワウソ亜科全種が CITES 附属書 II

「種の保存法」による指定状況：*Lutra lutra* ユーラシアカワウソのみ国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)

Lutra sumatrana
スマトラカワウソ

CITES 附属書 II
IUCN : EN

頭胴長：50 - 80cm
尾長：37 - 50cm

- 背側は首の側面も含めて濃茶色
- 顎と喉に不規則な斑点
- 尾の横断面は円形
- 鼻の先端は毛で覆われている



Credit: Annette Olsson/CI Cambodia

分布：カンボジア、マレーシア、タイ、ベトナム

Lutra perspicillata
ビロードカワウソ

CITES 附属書 II
IUCN : VU

頭胴長：65 - 75cm
尾長：40 - 45cm

- 体毛は滑らかで光沢がある
- 喉と首の側面は白っぽい
- 顔の毛と毛のない鼻の境目はまっすぐ
- 尾の横断面はやや扁平



Credit: Claire Beastall

分布：バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、イラク、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、タイ、ベトナム



Lutra perspicillata ビロードカワウソ
Credit: Claire Beastall

取引形態：
皮、および生体がペット取引に



カワウソ類の皮—右：*Lutra sumatrana* スマトラカワウソ、
左：*Lutra perspicillata* ビロードカワウソ
Credit: Annette Olsson/CI Cambodia

類似種：

Cynogale benettii キノガール

CITES 附属書 II
IUCN : EN

- 全体が濃茶色
- 短い尾
- 両目の上にかすかに白っぽい斑点がある
- 白い口、頬には非常に長い白いひげ



Credit: WWF-PHKA_VATech

頭胴長：57.5 - 68cm
尾長：12 - 20.5cm

分布：ブルネイ、インドネシア、マレーシア、タイ
(中国、シンガポール、ベトナムでの存在は不確実)

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Helarctos malayanus - マレーグマ

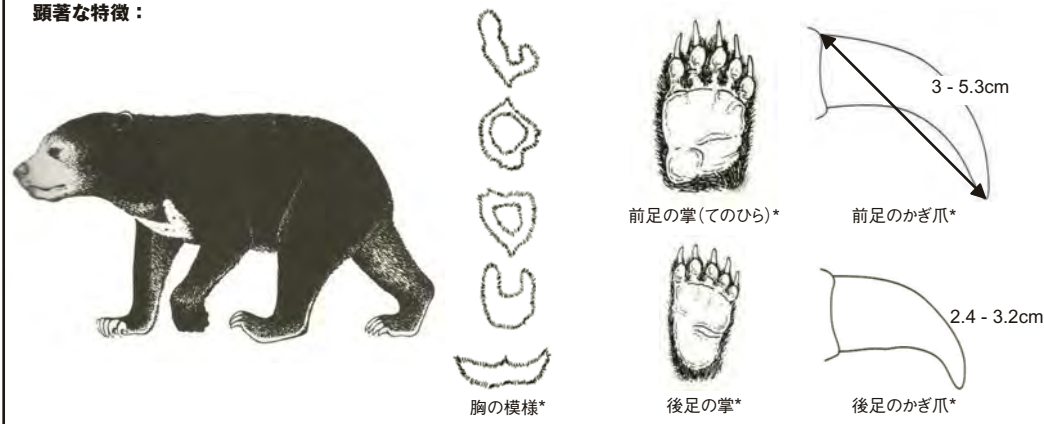
Sun Bear

他の呼称： Malay weh wan [マレーウェーウォン] (ミャンマー)

分布： バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア（スマトラ島、カリマンタン島）、ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ

身体的特徴： 頭胴長：100 - 140cm、尾長：3 - 7cm

顕著な特徴：



類似種：

Ursus thibetanus アジアクロクマ (ツキノワグマ)

CITES 附属書 I



頭胴長：120 - 150cm
尾長：6 - 10cm

胸の模様*

後足の掌*

後足のかぎ爪*

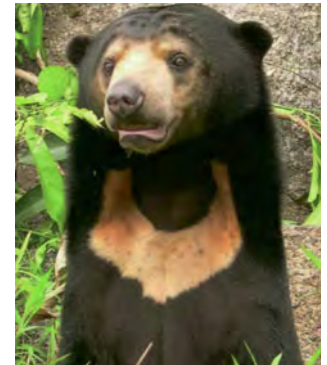
国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: Gabriella Fredriksson

取引形態：生体、剥製、肉、かぎ爪、掌、歯、皮、胆嚢、胆汁



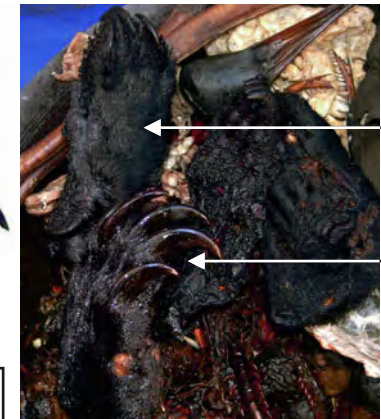
マレーグマの掌

Credit: Chris Shepherd/TSEA



マレーグマの掌

Credit: Klote



アジア
クロクマ

マレー
グマ

クマの掌や他の部分から油が抽出されている

Credit: Chris Shepherd/TSEA



マレーグマの胆嚢

Credit: Mei Hsiu Hwang

クマの胆汁を表すのに使われる
一般的な表記

中国語表記：熊胆

ピン音式：Xiong Dan
(中国語のローマ字表記)



マレーグマのかぎ爪

Credit: Mei Hsiu Hwang



マレーグマの剥製

Credit: Chris Shepherd/TSEA

Ursus thibetanus - アジアクロクマ (ツキノワグマ)

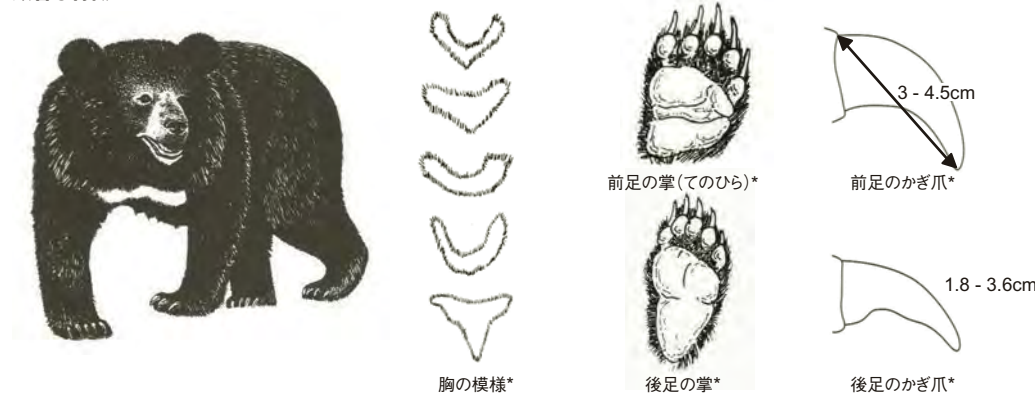
Asiatic Black Bear

他の呼称： Weh wan gyi [ウェーワンギイー] (ミャンマー)

分布： アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、インド、イラン、日本、韓国、北朝鮮、ラオス、ミャンマー、ネパール、パキスタン、ロシア、台湾、タイ、ベトナム

身体的特徴： 頭胴長：120 - 150cm、尾長：6 - 10cm

顕著な特徴：



類似種：

Helarctos malayanus マレーグマ

CITES 附属書 I



頭胴長：100 - 140cm

尾長：3 - 7cm

* Image Source: Environment Canada

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

IUCN : VU (イランおよびパキスタンに生息する亜種は **CR**)

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



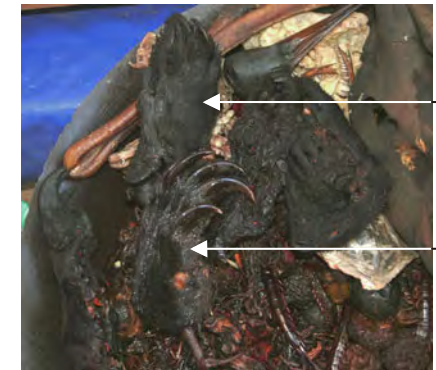
Credit: Claire Beasall

取引形態：生体、肉、かぎ爪、掌、歯、皮、胆嚢、胆汁



クマの掌と胆嚢

Credit: Chris Shepherd/TSEA



アジア
クロクマ
の掌

マレー
グマの掌

クマの掌や他の部分から油が抽出されている

Credit: Chris Shepherd/TSEA



クマの胆嚢

Credit: Chris Shepherd/TSEA

クマノイ(熊胆)を表すのに使われる一般的な表記

中国語
表記：熊胆
ピン音式：Xiong Dan
(中国語のローマ字表記)



クマの仔の胆嚢をとったところ

Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Hemigalus derbyanus - タイガーシベット Chrotogale owstoni - オーストンヘミガルス

Banded Palm Civet (タイガーシベット)

他の呼称： Musang belang [ムサンベラン] (マレーシア)

分布： ブルネイ (?), インドネシア (カリマンタン島、スマトラ島)、マレーシア、ミャンマー、タイ

身体的特徴： 頭胴長：45 - 56cm、尾長：25 - 36cm

顕著な特徴：

Hemigalus derbyanus タイガーシベット

CITES 附属書 II

IUCN : VU

- 体色は一般的に淡黄褐色から金褐色で、腹側は白っぽい
- 背中には濃茶色や黒のはっきりとした横縞
- 首と顔には黒っぽい縦縞
- 尾は大部分が濃茶色で、付け根にのみ縞模様



Credit: Chan Ah Lak

Owston's Civet (オーストンヘミガルス)

他の呼称： Cây vằn [ケイヴァン] (ベトナム)

分布： カンボジア (?), 中国、ラオス、ベトナム

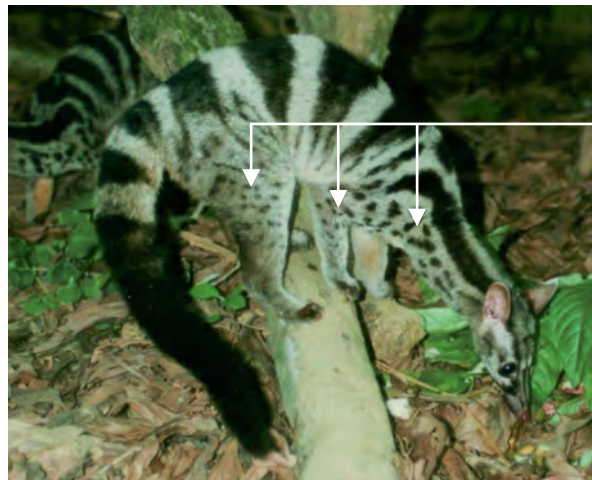
身体的特徴： 頭胴長：51 - 63cm、尾長：38 - 48cm

Chrotogale owstoni オーストンヘミガルス

CITES 掲載なし

IUCN : VU

- 体色は灰白色から淡黄褐色まで様々で、腹側は白っぽい
- 背中には幅広の黒い横縞
- 首と顔には縦縞
- 模様は個体によって様々
- 尾は付け根に縞模様があり、先端は黒っぽい



首の両側と四肢に
黒っぽい斑点

Credit: Scott Robertson

「種の保存法」による指定状況：なし
(2011 年 12 月時点)

取引形態：

生体、毛皮取引、
土産用の剥製



Credit: Barney Long/FFI Vietnam

Prionodon pardicolor - ブチリンサン *Prionodon linsang* - オビリンサン

Spotted Linsang (ブチリンサン)

他の呼称： Cây gấm [ケイガム] (ベトナム)

分布： カンボジア、中国、インド、ラオス、ミャンマー、ネパール、タイ、ベトナム

身体的特徴： 頭胴長：35 - 37cm、尾長：31 - 34cm

顕著な特徴：

Prionodon pardicolor ブチリンサン

CITES 附属書 I
IUCN : LC

- 色は白っぽいものから淡褐色や橙淡黄色
- 背中や体の両側に多数の不ぞろいの黒斑
- 首の側面に黒っぽい線
- 斑点はそれぞれが離れていることが多い



Credit: Barney Long/WWF

尾には8~9本の
黒っぽい環状の
縞模様

背中と体の
両側に斑点

Banded Linsang (オビリンサン)

他の呼称： Linsang [リンサン] (マレーシア)

分布： ブルネイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、タイ

身体的特徴： 頭胴長：35 - 45cm、尾長：30 - 42cm

Prionodon linsang オビリンサン

CITES 附属書 II
IUCN : LC

- 色は白っぽいものから金色または淡黄褐色
- 黒褐色の大きな斑点模様が結合してできた黒っぽい横縞が背側に5本ほどあり、首の両側には縦縞が入っている
- 尾には環状に黒色の縞模様が7本



Credit: Sergio Baffoni

「種の保存法」による指定状況：
Prionodon pardicolor ブチリン
サンのみ国際希少野生動植物種
(2011年12月時点)

取引形態：
毛皮取引、土産用の剥製

Arctictis binturong - ビントロング

Binturong

他の呼称： Bear Cat [ベアキャット] (英名)

分布： バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、タイ、ベトナム

身体的特徴： 頭胴長：65 - 95cm、尾長：50 - 80cm
体重：6 - 9kg

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 III (インド)

IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況：なし
(2011年12月時点)



Credit: David Lawson/WWF-Canon

顕著な特徴：

- 長くて粗い黒の毛皮に白や赤の毛が少し混じる
- 明るい色の毛は大半が頭部にあるため、頭部が体よりも明るく見える



Credit: Claire Beastall

巻き付けるのに適した尾
(物をつかむことができる)

尾は長く、特に付け
根近くは毛が濃い



Credit: Claire Beastall

耳は白く縁取られて丸みを帯び、
先端には長い房毛がある

取引形態：

皮、および生きた若い個体がペット取引に



Credit: TRAFFIC Southeast Asia

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Rhinocerotidae spp. - サイ科

Rhinoceros

他の呼称： Badak [バダック] (マレーシア)

3 種がアジアに生息：

Dicerorhinus sumatrensis スマトラサイ：インドネシア（カリマンタン島、スマトラ島）、マレーシア、タイ

Rhinoceros sondaicus ジャワサイ：インドネシア（ジャワ島）、マレーシア（絶滅?）、ベトナム

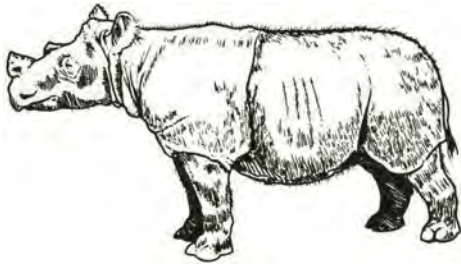
Rhinoceros unicornis インドサイ：ブータン、インド、ネパール

2 種がアフリカに生息：

Diceros bicornis クロサイおよび *Ceratotherium simum* シロサイ

身体的特徴：肩高：100 - 180cm、体重：0.6 - 2.7 t

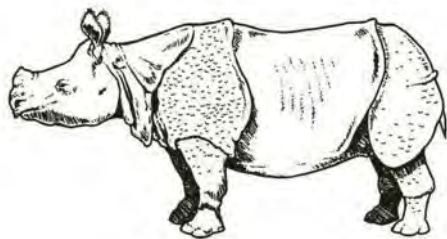
顕著な特徴：全身の場合、他のいかなる動物とも間違えることはない



Dicerorhinus sumatrensis
スマトラサイ

肩高：100 - 150cm
体重：0.6 - 0.95 t

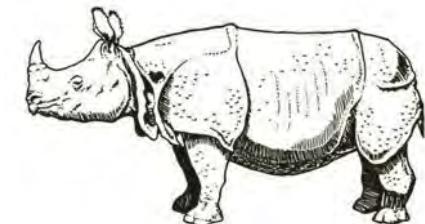
角は 2 本：前角 25 - 79cm、
後角は通常 10cm 未満



Rhinoceros sondaicus
ジャワサイ

肩高：150 - 170cm
体重：0.9 - 2.3 t

角は 1 本：雄は 25cm、
雌は雄より短い、角を持たない



Rhinoceros unicornis
インドサイ

肩高：175 - 200cm
体重：1.8 - 2.7 t

角は 1 本：20 - 61cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

Ceratotherium simum simum ミナミシロサイの
南アフリカとスワジランドの個体群は**附属書 II**

IUCN：スマトラサイ、ジャワサイ

クロサイは **CR**、インドサイは **VU**、

シロサイは **NT** (シロサイの北部個体群：**CR**)

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Dicerorhinus sumatrensis スマトラサイ
Credit: Claire Beastall

取引形態：角、皮、トロフィー (狩猟の獲物)

注：取引業者は本物である証拠として少し皮のついた角を好む場合が多い。

サイ類の角はケラチンでできている (毛や爪と同じ)。

サイ類の皮の厚さは最大 5cm になる場合もある。

伝統薬の製品の包装におけるサイ類の角の一般的な表記

サイ類の角

中国語
表記

犀牛角

犀角



Ceratotherium simum シロサイの足
Credit: Environment Canada



Ceratotherium simum simum ミナミシロサイの角。
角の摩耗部分の外観に注目
Credit: WWF-Canon / Martin HARVEY



押収されたサイ類の角
Credit: WWF-Canon / Mark ATKINSON



イエメンではサイ類の角が短剣の柄の製造に使われる
Credit: WWF-Canon / Esmond Bradley MARTIN

Image Source: Environment Canada

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Manis spp. - センザンコウ属

Pangolin

他の呼称： Thing kway jut [スィンクエイジュト] (ミャンマー)、Tê Tê [テテ] (ベトナム)

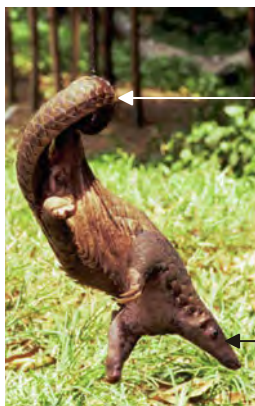
分布： アフリカおよびアジア

身体的特徴： 頭胴長：425 - 550mm、尾長：160 - 470mm、体重 5-7kg

顕著な特徴：



Credit: WWF-Malaysia / Stephen Hogg



Credit: Chris Shepherd/TSEA

巻き付けるのに
適した尾

歯はない

円錐形の頭部

類似種：他の分類群にはいない

センザンコウ類は 8 種。うち 4 種がアフリカ、1 種が南アジアに生息。
東南アジア原産は 3 種。

注：Manis javanica マレーセンザンコウと Manis culionensis との区別は難しい。

Manis pentadactyla ミミセンザンコウ

- 前足のかぎ爪の長さは後足の 2 倍未満
- 尾の縁に沿って 20 以下の鱗がある

分布：カンボジア、中国、香港、インド、
ラオス、ミャンマー、ネパール、台湾、
タイ、ベトナム

Manis javanica マレーセンザンコウおよび Manis culionensis* (Palawan/Philippine Pangolin)

- 前足のかぎ爪の長さは後足の 2 倍以上
- 尾の縁に沿って 20 枚以上の鱗

分布：ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、
ミャンマー、シンガポール、タイ、ベトナム

* 分布：パラワン島およびクリオン島 (フィリピン)

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II：輸出割当ゼロ：
商業目的で野生から捕獲されたアジアのセン
ザンコウ類の国際取引は認められていない

IUCN：もっとも絶滅のおそれの高いもので
EN まで様々

「種の保存法」による指定状況：なし

(2011 年 12 月時点)



Credit: Chris Shepherd/TSEA

取引形態：通常は生体として輸送されるが、全身を冷凍したものや、鱗、なめした皮、胎児、肉、薬
も見られる



センザンコウの押収

Credit: Royal Thai Polic



皮から鱗を取っている

Credit: TRAFFIC SEA



センザンコウの鱗

Credit: Julia Ng/TSEA



センザンコウの胎児

Credit: Chris Shepherd/TSEA



センザンコウの革のバッグ

Credit: James Compton/TSEA

センザンコウを表すのに使われる
一般的な表記

中国語
表記： 穿山甲

ピン音式：
(中国語のローマ字表記) Chuan Shan Jia



^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Primates - サル目（霊長目）

Primates

国際的な保全状況：^α

全種が **CITES 附属書 II** または **CITES 附属書 I** に掲載
CITES 附属書 I 掲載の東南アジアのサル目（霊長目）については以下を参照

顕著な特徴：

サル目（霊長目）全種共通：

- 目は正面を向いている
- 短い鼻、平らな顔
- かぎ爪ではなく平爪



Nycticebus coucang
スローロリス
Credit: Claire Beastall



Trachypithecus cristatus
シルバールトン
Credit: Claire Beastall



Macaca nemestrina
ブタオザル
Credit: WWF Malaysia / Chew Yen Fook



Nomascus gabriellae
Buff-cheeked Gibbon
Credit: Claire Beastall



Pongo abelii スマトラオランウータンの若い個体
Credit: Chris Shepherd/TSEA

テナガザル類および
オランウータン類には尾がない

CITES 附属書 I に掲載されている東南アジアのサル目（霊長目）：

Nycticebus spp. スローロリス属全種
 IUCN：もっとも絶滅のおそれが高いもので EN まで様々
 分布：バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム

Presbytis potenziani メンタウェールトン
 IUCN：EN
 分布：インドネシア（ムンタワイ諸島）

Simias concolor メンタウェーコバナテングザル
 IUCN：CR
 分布：インドネシア（ムンタワイ諸島）

Nasalis larvatus テングザル
 IUCN：EN
 分布：ブルネイ、インドネシア（カリマンタン島）、マレーシア（サバ州およびサラワク州）

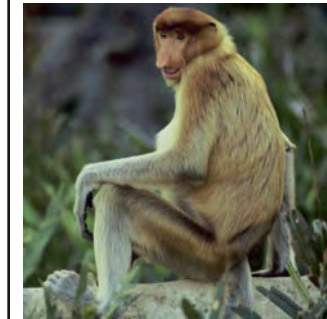
Rhinopithecus spp. シシバナザル属全種
 IUCN：もっとも絶滅のおそれが高いもので CR まで様々
 分布：中国、ベトナム、ミャンマー

Pygathrix spp. ドウクモンキー属全種
 IUCN：もっとも絶滅のおそれが高いもので CR まで様々
 分布：カンボジア、ラオス、ベトナム

Hylobatidae spp. テナガザル科全種
 IUCN：もっとも絶滅のおそれが高いもので CR まで様々
 分布：バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム

Hominidae spp. ヒト科（オランウータンを含む）
Pongo spp. オランウータン属（スマトラ / ボルネオオランウータン）
 IUCN：もっとも絶滅のおそれが高いもので CR まで様々
 分布：インドネシア（スマトラ島およびカリマンタン島）、マレーシア（サバ州およびサラワク州）

取引形態：生体、肉、頭骨、体の部分が薬品に



Nasalis larvatus テングザル
 Credit: WWF - Canon / Alain COMPOST



市場のフクロテナガザル
 Credit: Chris Shepherd/TSEA



Pygathrix nemaeus
アカアシドクモンキー
 Credit: WWF - Canon / Martin HARVEY



テーマパークのオランウータン
 Credit: Chris Shepherd/TSEA



販売されるサルの頭骨
 Credit: Claire Beastall

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Nycticebus spp. - スローロリス属

Loris

他の呼称： Kongkang [コンカン] (マレーシア)、Culi [クリ] (ベトナム)

分布： バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム

身体的特徴： 頭胴長：21 - 38cm、尾長：最大 2.5cm

顕著な特徴：



Credit: Claire Beasall

大きな目
目の周りの黒っぽい輪
湿った鼻
小さな耳
足の指は 5 本ずつ
尾は短い、あるいは見えない



Credit: WWFM / MPS

類似種：

Tarsius spp.
メガネザル属
CITES 附属書 II

頭胴長：9.5 - 15cm
尾長：最大 20 - 24cm

分布：ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン



Credit: WWF-Canon / Jürgen FREUND

非常に大きな目
非常に大きな耳
足の指は 5 本ずつ
尾が体よりもはるかに長い

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

**IUCN：絶滅のおそれのもっとも高いもので
EN まで様々**

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: WWFM / M. Kavanagh

取引形態：生体、食用や伝統薬用に皮を剥がれたものや処理されたもの



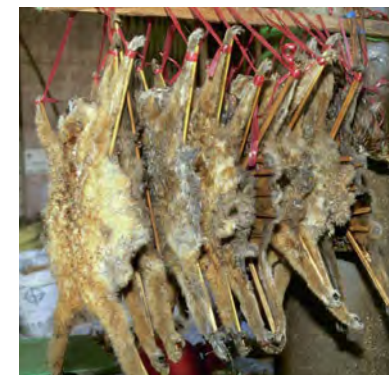
伝統薬用に処理されたロリス類
Credit: Chris Shepherd/TSEA



市場のロリス類
Credit: Chris Shepherd/TSEA



ロリス類の皮
Credit: Chris Shepherd/TSEA



伝統薬用に処理されたロリス類
Credit: Chris Shepherd/TSEA



市場のロリス類
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Macaca fascicularis - カニクイザル

Long-tailed Macaque

他の呼称： Kera[ケラ] (マレーシア)、Mioo tangar[ミエオタンガー] (ミャンマー)

分布： バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、香港、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モーリシャス、ミャンマー、パラオ、フィリピン、シンガポール

身体的特徴： 頭胴長：38 - 65cm、尾長：40 - 55cm、
成体の体重：雄：4.7 - 8.3kg、雌：2.5 - 5.7kg

顕著な特徴：



Credit: WWFM / Stephen Hogg

頭頂部の毛が後ろ向きに生えている (そのため毛冠が見られることも多い)

ピンクがかった顔

長い尾

雄：頬や口の周りにひげ

雌：顎にひげ

赤ちゃん：生まれた時は黒色

被毛：灰色から赤褐色まで様々で、腹部は色が薄い



Credit: WWFM / Gerald Cubitt

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : LC

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Credit: WWFM / Chew Yen Fook

取引形態：生体 (しばしば若い個体) がペット取引に。食肉にも。



カニクイザルの赤ちゃん

Credit: Chris Shepherd/TSEA



成体と幼体がかごに入れられて輸送されることもある

Credit: Chris Shepherd/TSEA

類似種：東南アジアに生息する茶色の体毛を持つ他のマカク類

Macaca arctoides ベニガオザル



Credit: Tilo Nadler

尾長：1.4 - 6.9cm

尾：ほとんど毛がない

顔：毛がなく、深紅と黒のまだら状

幼体：生まれた時は白

成体の体重：
雄：4.7 - 8.3kg
雌：2.5 - 5.7kg

Macaca assamensis アッサムザル



Credit: Tilo Nadler

尾長：20 - 29cm

被毛は黄色を帯びたものから黒みを帯びた茶色まで様々

顔：毛がなく、成体は薄赤色

後軀：灰色を帯びている

成体の体重：
雄：7.9 - 15kg
雌：4.9 - 8.6kg

Macaca mulatta アカゲザル



Credit: WWF-Canon / Martin HARVEY

尾長：19 - 30cm

被毛は茶色

顔は薄赤色、臀部は赤

成体の体重
雄：5.6 - 10.9kg
雌：4.4 - 10.9kg

Macaca nemestrina ミナミブタオザル (写真) および
Macaca leonina キタブタオザル



Credit: WWFM / Stephen Hogg

尾長：13 - 24.5cm

尾：たいいてい丸まったままで、薄い毛に覆われている

被毛：背側は茶色、腹側は白

頭部：濃茶色

成体の体重：
雄：6.2 - 14.5kg、
雌：4.7 - 10.9kg

Elephas maximus - アジアゾウ

Loxodonta africana - アフリカゾウ

Elephant

他の呼称： Gajah[ガジャー] (ミャンマー)、Voi[ボイ] (ベトナム)

分布：
Elephas maximus バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、ベトナム
Loxodonta africana アンゴラ、ベナン、ボツワナ、ブルキナファソ、カメルーン、中央アフリカ、チャド、コンゴ、コンゴ民主共和国、コートジボワール、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガボン、ガーナ、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、リベリア、マラウイ、マリ、モザンビーク、ナミビア、ニジェール、ナイジェリア、ルワンダ、セネガル、シエラレオネ、ソマリア、南アフリカ、スーダン、タンザニア、トーゴ、ウガンダ、ジンバブエ

身体的特徴： 肩高：最大 4 m、体重：最大 10 t

類似種： 生きた個体として類似する動物はいない

牙や彫刻を施したものの類似品：

天然の代替品： マンモスの牙 (1 万年前に絶滅)、イッカクの牙、セイウチの牙や歯、クジラ類の歯、イボイノシシの牙、カバの歯、骨、オナガサイチョウの角質突起 (カスク)、アイボリーナッツ

人工の代替品： 樹脂、カゼイン

象牙と代替品との識別：

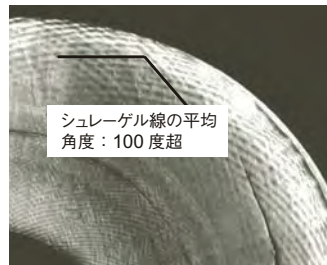
紫外線照射：

- マンモス牙と象牙は白や青の蛍光色に見える
- マンモス牙には、茶色や青みを帯びた緑色の染みが見える場合がある
- 象牙には見えない

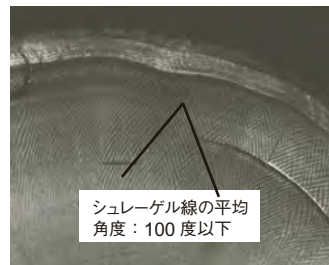
シュレーゲル線：

天然の象牙やマンモス牙の光沢のある横断面でのみ観察できる、自然にできた複数の線。牙の先端のシュレーゲル線を使って象牙とマンモス牙の区別をおこなう。

1. コピー機で牙の画像を撮る。
2. コピー画像と拡大レンズの間に透明シートを置き、画像をより鮮明に拡大する。
3. 角を選択してコピー上に印をつけ、測定できるように拡大する。
4. このように角をいくつか測り、平均値を算出する。



象牙



マンモス牙

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

ボツワナ、ナミビア、南アフリカ、ジンバブエのアフリカゾウの個体群は CITES 附属書 II**

IUCN：Elephas maximus アジアゾウ - EN
Loxodonta africana アフリカゾウ - NT

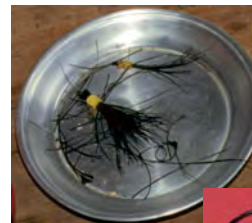
「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: Chris Shepherd/TRAFFIC Southeast Asia

取引形態： 生体 (トレッキング・観光産業用)、牙や象牙加工品、歯、頭骨や他の骨、毛、皮、トロフィー



ゾウ類の毛と
ゾウ類の毛の指輪

Credit: Chris Shepherd/TSEA



ゾウ類の歯

Credit: Chris Shepherd/TSEA



ゾウ類の皮

Credit: Chris Shepherd/TSEA



象牙の箸

Credit: Chris Shepherd/TSEA



全形象牙

Credit: Chris Shepherd/TSEA



彫刻を施したゾウ類の牙

Credit: Chris Shepherd/TSEA

象牙彫刻品の土産物

Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

** 厳格な条件が適用されるため、www.cites.org にて CITES 附属書を確認のこと。

Dendrocygna javanica - リュウキュウガモ

Dendrocygna arcuata - オオリュウキュウガモ

Lesser Whistling Duck

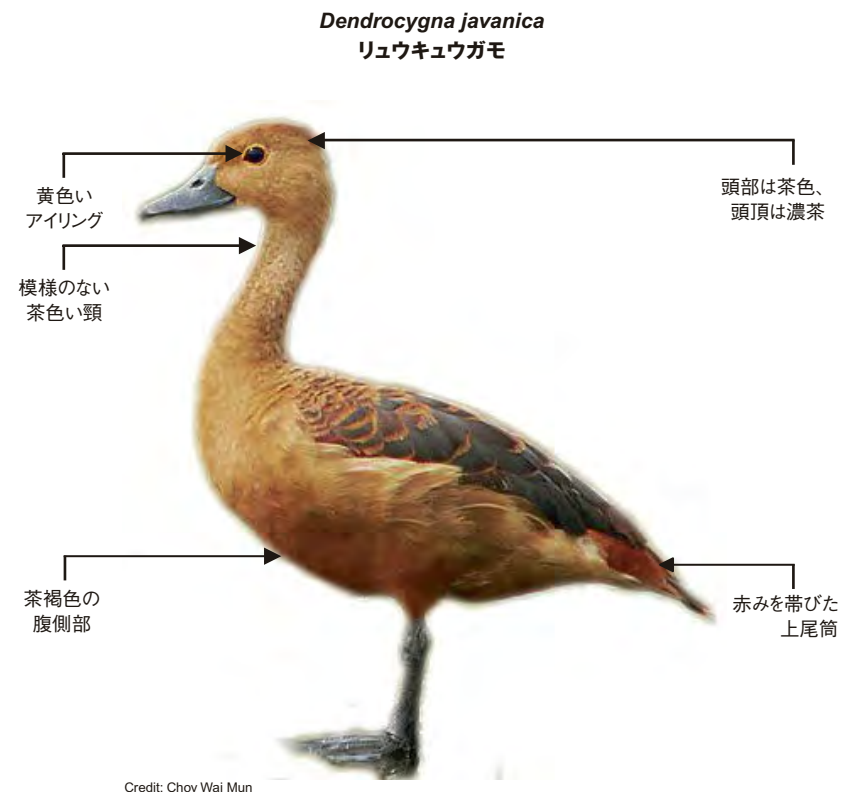
(リュウキュウガモ)

他の呼称: Itek Belibis [イテク・ベリビス]、Belibis Kembang [ベリビス・ケンバン] (マレーシア)

分布: ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、ベトナム

身体的特徴: 全長: 38 - 41cm

顕著な特徴:



Wandering Whistling Duck

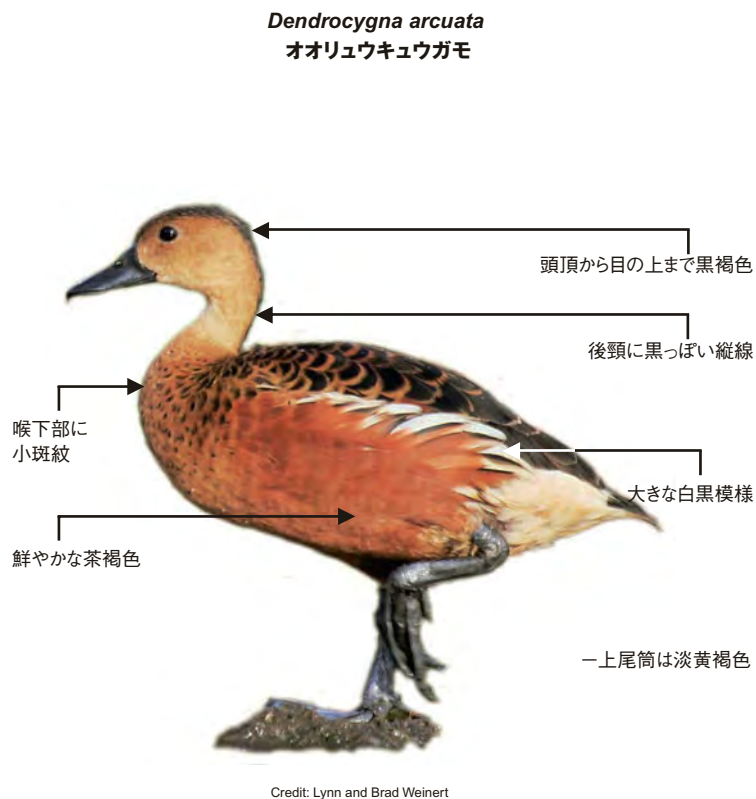
(オオリュウキュウガモ)

他の呼称:

分布: オーストラリア、インドネシア、パプアニューギニア、ニューブリテン島 (パプアニューギニア)、フィリピン、シンガポール

身体的特徴: 全長: 40 - 45cm

顕著な特徴:



国際的な保全状況: *

CITES 掲載なし

IUCN: *Dendrocygna javanica*
リュウキュウガモ: **LC**
Dendrocygna arcuata
オオリュウキュウガモ: **LC**

「種の保存法」による指定状況: なし
(2011年12月時点)

取引形態:

生体



Dendrocygna javanica リュウキュウガモ
Credit: Chris Shepherd/TSEA

Leptoptilos spp. - ハゲコウ属

Greater Adjutant Stork (オオハゲコウ)

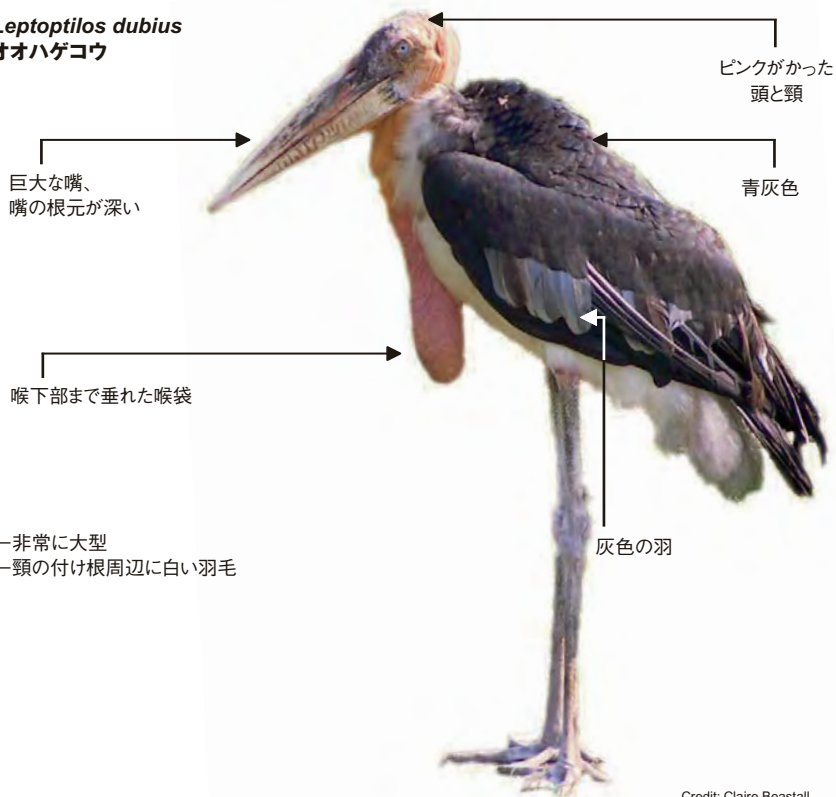
他の呼称: Gio dầy lớn [ジオ・ダイー・ローン] (ベトナム)

分布: カンボジア、インド
迷鳥: バングラデシュ、ネパール、タイ、ベトナム
絶滅の可能性あり: ラオス、ミャンマー

身体的特徴: 全長: 145 - 150cm

顕著な特徴:

Leptoptilos dubius
オオハゲコウ



Lesser Adjutant Stork (コハゲコウ)

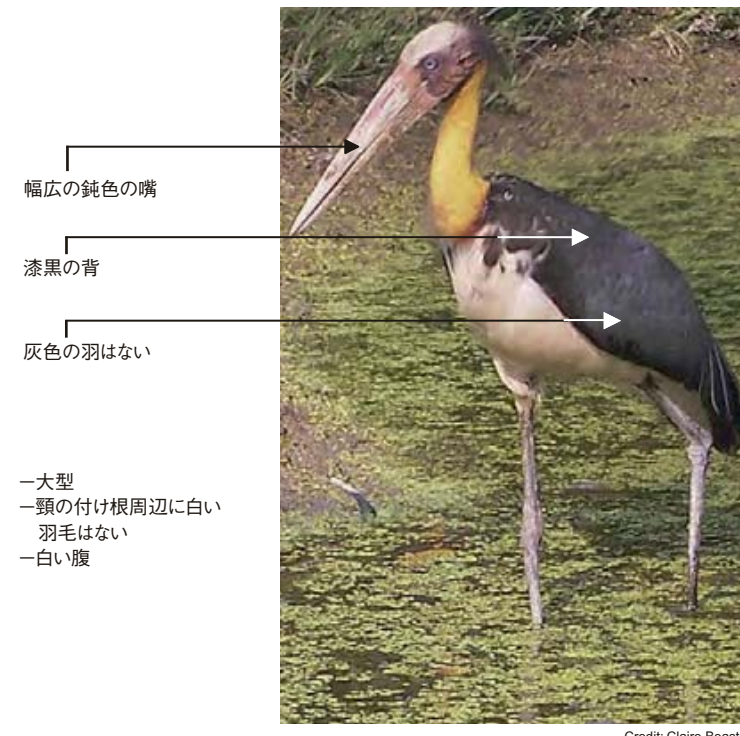
他の呼称: Botak Kecil [ボタク・ケチル] (マレーシア)、Gio dầy giava [ジオ・ダイー・グラヴァー] (ベトナム)

分布: バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、ベトナム

身体的特徴: 全長: 122.5 - 129cm

顕著な特徴:

Leptoptilos javanicus
コハゲコウ



国際的な保全状況: “

CITES 掲載なし

IUCN: *Leptoptilos dubius*
オオハゲコウ: **EN**
Leptoptilos javanicus
コハゲコウ: **VU**

「種の保存法」による指定状況: なし
(2011年12月時点)

取引形態:

生体



Leptoptilos javanicus
コハゲコウ
Credit: Chris Shepherd/TSEA

Bucerotidformes - サイチョウ類

Hornbills

他の呼称：

分布： アフリカとアジア

身体的特徴： 全長：最長 120cm

顕著な特徴：



Anthracoscerus albirostris
キタカサギサイチョウ
Credit: Claire Beastall

類似種： オオハシ類——すべて南米産



Ramphastos toco オニオオハシ **CITES 附属書I**
Credit: WWF-Canon / Michel GUNTHER

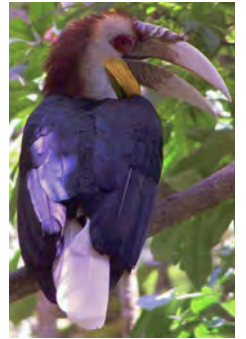
国際的な保全状況：^a

4種の東南アジアのサイチョウ類が **CITES 附属書I** に掲載。
その他の東南アジアのサイチョウ類全種が **CITES 附属書II** に掲載。

「種の保存法」による指定状況：

Aceros nipalensis ナナミゾサイチョウ、*Buceros bicornis* オオサイチョウ、*Rhinoplax vigil* オナガサイチョウ、*Rhyticeros subruficollis* ムジシワコブサイチョウ (チャガシラサイチョウ) が国際希少野生動植物種 (2011年12月時点)

Rhyticeros undulatus
シワコブサイチョウ
Credit: Claire Beastall
(喉袋の模様は一部隠れていることが多い)



CITES 附属書I に掲載されている
東南アジアのサイチョウ類4種

Rhinoplax vigil
オナガサイチョウ
IUCN: NT



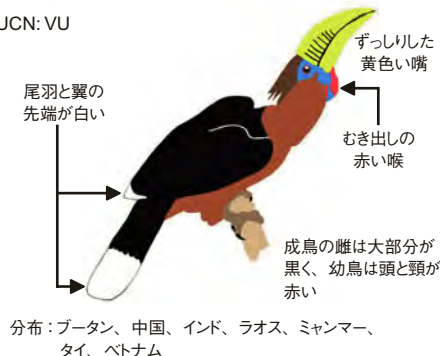
Buceros bicornis
オオサイチョウ
IUCN: NT



Rhyticeros (またはAceros) subruficollis
ムジシワコブサイチョウ
IUCN: VU



Aceros nipalensis
ナナミゾサイチョウ
IUCN: VU



取引形態：

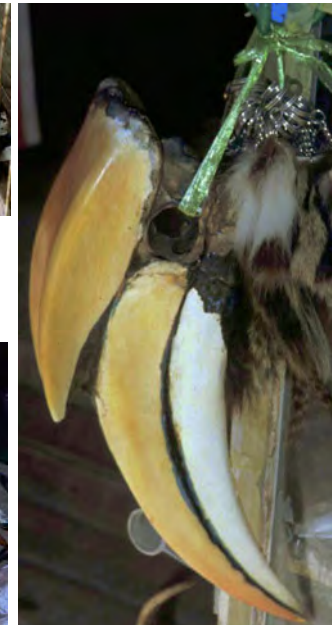
カスク、および生体がペット取引に



Anthracoscerus albirostris
キタカサギサイチョウ
Credit: TRAFFIC Southeast Asia



販売される *Buceros bicornis* オオサイチョウのカスク
Credit: Chris Shepherd/TRAFFIC Southeast Asia



Buceros bicornis オオサイチョウのカスク
Credit: Chris Shepherd/TRAFFIC SEA

^a現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよびwww.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

Copsychus malabaricus - アカハラシキチョウ

White-rumped Shama

他の呼称： Murai Hutan [ムライ・フタン] (マレーシア、サバ州)

分布： バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナム (米国ハワイ州に導入)

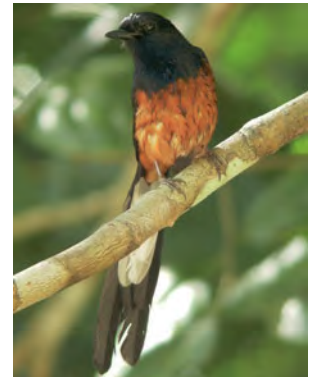
身体的特徴： 全長：最大 25cm

国際的な保全状況：^α

CITES 掲載なし

IUCN: LC

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Credit: John Steed

顕著な特徴：

- 白い腰
- 雄：漆黒、腹は栗色
- 雌：灰色、腹は栗色



アカハラシキチョウの雌
Credit Suppalak Klabdee



アカハラシキチョウの雄
Credit Lee Kip Yang



アカハラシキチョウの雄
Credit Suppalak Klabdee

取引形態：生体が鳴き鳥として

注：雌はさえずらないため、ほとんど取引されない。



生きた *C. malabaricus* アカハラシキチョウなどの鳴き鳥を米国に密輸し逮捕

Credit: US Fish & Wildlife Service

類似種：

Copsychus saularis
シキチョウ
IUCN: LC;
CITES 掲載なし

- 漆黒
- 腹と下尾筒が白い
- 翼に白い筋

全長：最大 21.6cm

分布：バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナム



Credit: John Steed

Trichixos pyrropyga
コシアカシキチョウ

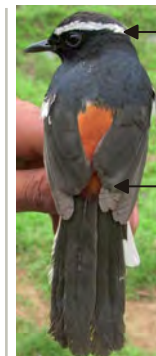
IUCN: NT;
CITES 掲載なし

全長：最大 21 - 22.5cm

分布：ブルネイ、インドネシア、マレーシア、タイ



Credit: Lim Kim Chye



Credit: Wouter Thijs

Copsychus luzoniensis
マジロシキチョウ
IUCN: LC;
CITES 掲載なし

ほとんど取引されない

全長：最大 18cm
分布：フィリピン

- 白い眉斑
- 腰は白くない

Falconiformes - タカ目

Birds of Prey

タカ類、ワシ類、ハゲワシ類、ハヤブサ類、トビ類などを含む

他の呼称：

分布： 世界中

身体的特徴： 体高：14 - 118cm、翼開長：26 - 300cm、体重：35g - 14kg

顕著な特徴：

- 直立姿勢
- 鋭い爪（かぎ爪）
- かぎ状の嘴
- 鈍色が多い

かぎ状の嘴

鋭い爪（かぎ爪）



Spizaetus bartelsi ジャワクマタカ(幼鳥)
Credit: TRAFFIC Southeast Asia



注：
雛の同定は非常に難しい。

国際的な保全状況：^α

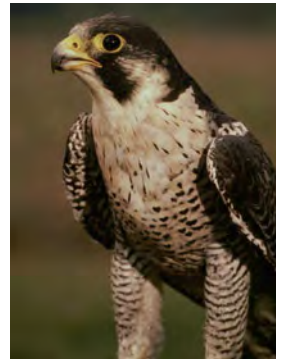
CITES 附属書 I に掲載された 15 種(亜種)(そのうち以下の 5 種が東南アジアで見られる)を除き、全種が **CITES 附属書 II** に掲載されている *
Aquila heliaca カタジロワシ、*Haliaeetus albicilla* オジロワシ、*Pithecophaga jefferyi* フィリピンワシ、*Falco jugger* ラガーハヤブサ、*Falco peregrinus* ハヤブサ
* コンドル類：1 種が附属書 III に掲載されているが、他の 4 種は掲載なし

IUCN：種により様々——絶滅のおそれが高いため CR

「種の保存法」による指定状況：(2011 年 12 月時点)

国際希少野生動植物種：CITES 附属書 I 掲載 15 種(亜種)(*Falco peregrinus fruitii* シマハヤブサ、*F. p. japonensis* ハヤブサを除く) および *Buteo solitarius* ハワイノスリ、*Gypaetus barbatus aureus* ヨーロッパバゲワシ、*Rostrhamus sociabilis plumbeus* フロリダタニシダカ、*Haliaeetus leucocephalus leucocephalus* アメリカハクトウワシ。

国内希少野生動植物種：*Accipiter gentilis fuyijamae* オオタカ、*Aquila chrysaetos japonica* イヌワシ、*Buteo buteo oshiroi* ダイトウノスリ、*B. b. toyoshimai* オガサワラノスリ、*Haliaeetus albicilla albicilla* オジロワシ、*H. pelagicus pelagicus* オオワシ、*Spilornis cheela perplexus* カンムリワシ、*Spizaetus nipalensis orientalis* クマタカ、*Falco peregrinus fruitii* シマハヤブサ、*F. p. japonensis* ハヤブサ

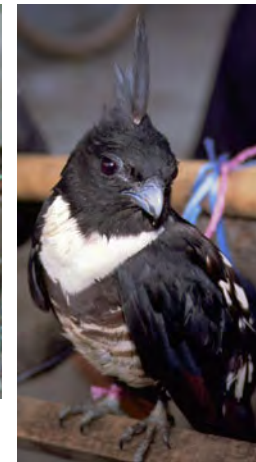


Falco peregrinus ハヤブサ
Credit: WWF-Canon / John S. MITCHELL

取引形態：生体、および体の部分を伝統的な薬／魔術に



市場で販売される *Elanus caeruleus* カタ
グロトビ (ハイロトビ)
Credit: Chris Shepherd/TSEA



市場で販売される
Aviceda leuphotes クロカッ
コウハヤブサ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



市場で販売される猛禽
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよびwww.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

Pycnonotus zeylanicus - キガシラヒヨドリ

Straw-headed Bulbul

他の呼称： Cangkurawa [チャンクラワ] (インドネシア)、Barau-barau [バラウバラウ] (マレーシア、サバ州)

分布： ブルネイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ

身体的特徴： 体高：30cm —— ヒヨドリ科で最大

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

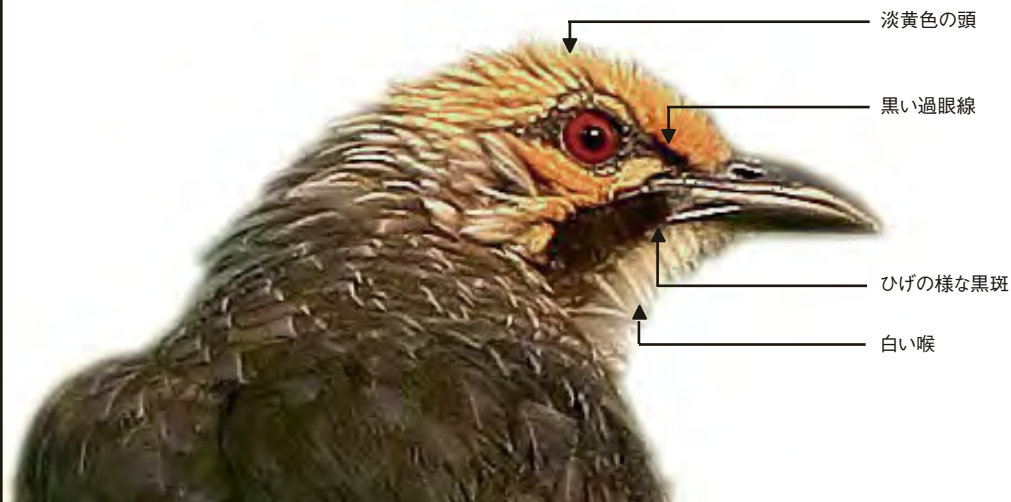
IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Credit: Mervin Quah

顕著な特徴：



Credit: Mervin Quah

類似種： ヒヨドリ科の他種

この種がヒヨドリ科で最大
頭が淡黄色なのは、この種だけ

取引形態： 生体が鳴き鳥およびペットとして



市場のキガシラヒヨドリ
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよび
www.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

Gracula religiosa - キュウカンチョウ

Hill Mynah

他の呼称： Tiong Emas [ティオング・エマス] (マレーシア)

分布： ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナム

身体的特徴： 体高：30cm、体重：400g

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN: LC

「種の保存法」による指定状況：なし

(2011年12月時点)



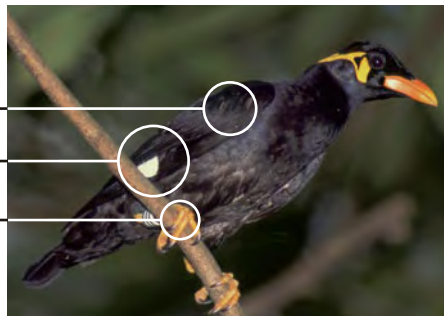
Credit: WWF-Malaysia / Oon Swee Hock

顕著な特徴：

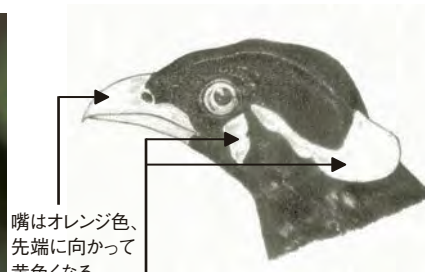
漆黒の玉虫色の羽毛で被われている

翼に白い筋

黄色い足



Credit: WWF-Malaysia/Azwad MN



嘴はオレンジ色、先端に向かって黄色くなる

鮮黄色の肉垂

Illustration: Chew Ming Yee

類似種：

Mino dumonti
キガオムクドリ

目の回りが黄色
——肉垂はない



Credit: Brent Stilton / Getty Images / WWF-UK

Acridotheres tristis
インドハッカ

目の回りが黄色
——肉垂はない

茶色い胸

尾羽の先端が白い



Credit: Yen Loong Lean

取引形態：生体がペット取引に



市場のキュウカンチョウ

Credit: Chris Shepherd/TSEA



市場のキュウカンチョウ

Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよびwww.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

Psittaciformes spp. - オウム目

Parrots

他の呼称：

分布： アフリカ、中南米、アジア、オセアニア

オウム類の顕著な特徴： 体高：8cm から最大 100cm。大半の種が主に緑色だが、白や赤、青色の種もいる。

頭：大きい

頸：短い

脚：短い

嘴：根元が幅広

上嘴：
大きく曲がり、
先端が鋭い

下嘴：
彫刻刀のような
鋭い刃先

趾(あしゆび)：後ろ向きに 2 本
前向きに 2 本

CITES に掲載されていないオウム類：

Agapornis roseicollis
コザクラインコ

分布：アフリカ南西部
全長：16cm

野生種の色彩：
— 嘴の上に赤い帯 (1)
— 嘴は淡色 (2)
— 桃色の頬 (3)
— 緑色の後頭 (4)
— 青い腰 (5)

注：飼育繁殖させた個体では、色のバリエーションが多い—— 背は白や黄色、青の場合もある。

非常によく似たオウム目の種が保護対象となっている。不確かな場合は、助言を求められたい。

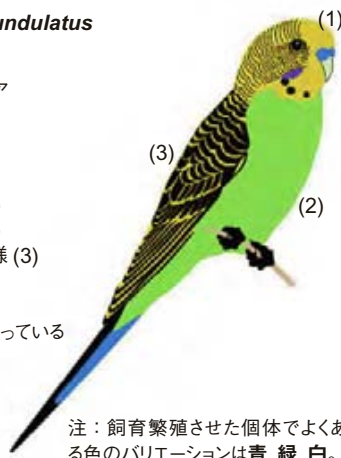


Melopsittacus undulatus
セキセイインコ

分布：オーストラリア
全長：18cm

通常の色：
— 模様のない額 (1)
— 模様のない胸 (2)
— 翼と後頭に縞模様 (3)
顕著な特徴：
— 小型
— 翼と尾の先がとがっている

注：飼育繁殖させた個体でよくある色のバリエーションは青、緑、白。



国際的な保全状況：^α

オウム目の全種が CITES 附属書 I または附属書 II に掲載されている。

ただし、以下の 4 種は保護対象ではない。

Agapornis roseicollis コザクラインコ
Melopsittacus undulatus セキセイインコ
Nymphicus hollandicus オカメインコ
Psittacula krameri ホンセイインコ

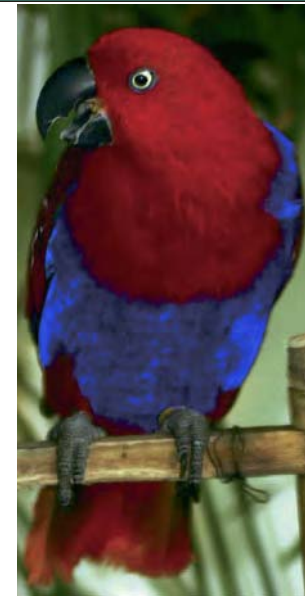
「種の保存法」による指定状況：

多数の CITES 条約附属書 I 掲載種、および

Cacatua pastinator pastinator オオテンジクバタン

Nestor productus キムネカカインコ

Calyptorhynchus baudinii graptogyne ビクトリアオジロクロオウム
が国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



オオハナインコの雌
Credit: Chris Shepherd/TSEA

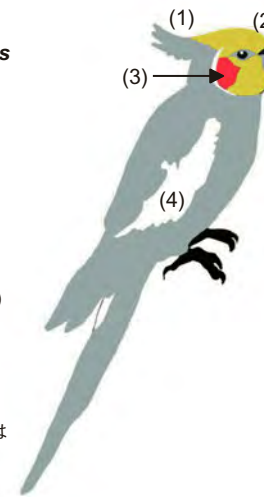
取引形態：生きた個体や卵（密輸者が身につけて）をペット取引に

Nymphicus hollandicus
オカメインコ

分布：オーストラリア
全長：29 - 33cm

色彩：
— 上向きに曲がった冠羽 (1)
— 黄色い顔 (2)
— オレンジ色の斑 (3)
— 翼に白い模様が目立つ (4)
顕著な特徴：
— 翼と尾の先がとがっている

注：飼育繁殖させた個体では色のバリエーションがある。



Psittacula krameri
ホンセイインコ

分布：アフリカ、アジア
全長：40cm

野生種の色彩：
— 淡草色の体 (1)
— 緑色の頭 (2)
— 腮(あご)は黒く、頸に黒・ピンクの輪があり、頭頂は薄紫色(雄の成鳥のみ) (3)
— 尾は青く、先が黄色い (4)

顕著な特徴：
— 尾の先がとがっている
— 肩にえび茶色の模様はない

注：飼育繁殖させた個体の色は、青や黄色のバリエーションがある。
非常によく似たオウム目の種が保護対象となっている。不確かな場合は、助言を求められたい。



Cacatua spp. - オウム属

White Cockatoos

他の呼称： Kakatua [カカトゥア] (インドネシア)

分布： オーストラリア、インドネシア、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィリピン、シンガポール、ソロモン諸島

身体的特徴： 白または淡いサーモンピンクの羽。中型から大型で、短く角張った尾と、先端がまるまった長い翼。雌雄とも似ている。体高：最大 51cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I — 4 種

CITES 附属書 II — その他全種

「種の保存法」による指定状況：CITES 附属書 I 掲載種の 4 種 (*Cacatua goffiniana* シロビタイムジオウム、*C. haematuropygia* フィリピンオウム、*C. moluccensis* オオバタン、*C. sulphurea* コバタン) および *C. pastinator pastinator* オオテンジクバタンが国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)

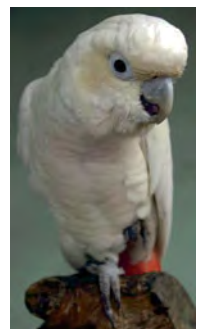
取引形態：生体および卵 (密輸者が身につけて) がペット取引に



市場のシロビタイムジオウム
Credit: Chris Shepherd/TSEA



コバタン
Credit: Chris Shepherd/TSEA

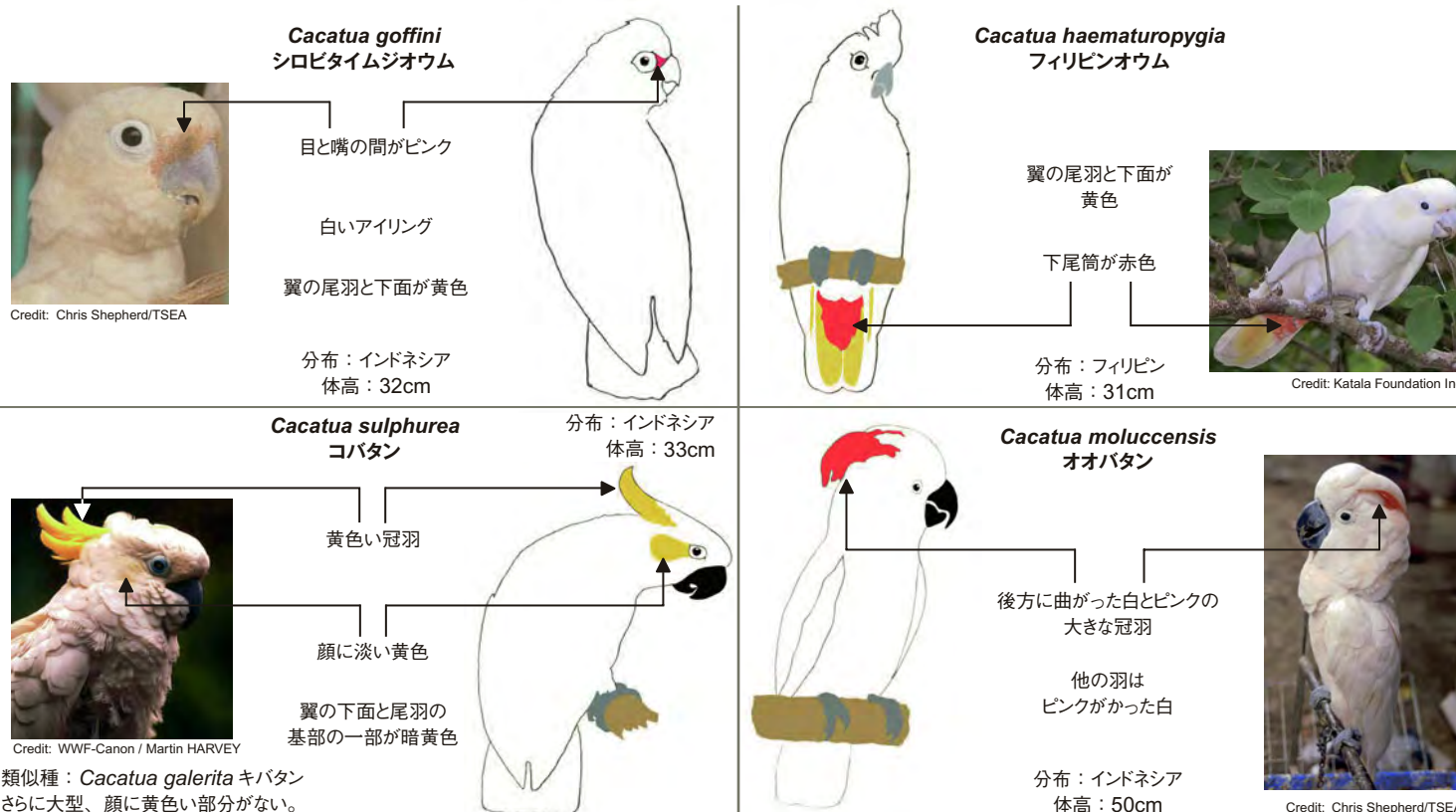


フィリピンオウム
Credit: Chris Shepherd/TSEA



オオバタン
Credit: Chris Shepherd/TSEA

CITES 附属書 I に掲載されている 4 種の顕著な特徴：



類似種： *Cacatua galerita* キバタン
さらに大型、顔に黄色い部分がない。
Drawing adapted from: Environment Canada

^α現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよびwww.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

January 2008



Probosciger aterrimus - ヤシオウム

Palm Cockatoo

他の呼称： Kakatua raja [カカトゥア・ラジャ]、Kakatua hitam [カカトゥア・ヒタム] (インドネシア)

分布： オーストラリア、インドネシアの西バプアおよびアルー諸島、バプアニューギニア

身体的特徴： 頭胴長：51 - 64cm

顕著な特徴：

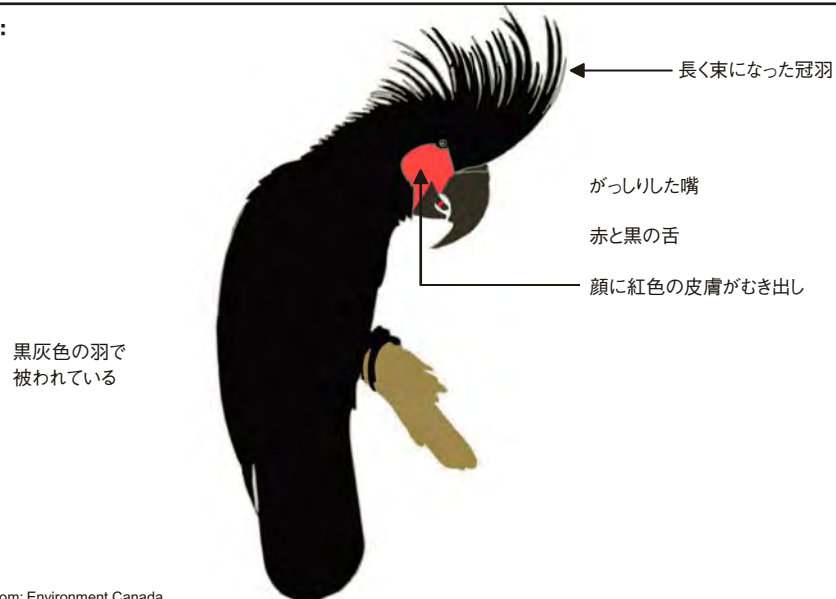


Image Adapted from: Environment Canada

類似種：

他のクロオウム類 CITES 附属書 II

オーストラリアのみに生息

顔に紅色の皮膚がむき出しになっていない

模様のない黒灰色の羽ではない

他のクロインコ類 CITES 附属書 II

マダガスカル、コモロ諸島、セーシェルにのみ生息

顔に紅色の皮膚がむき出しになっていない

冠羽や黒い嘴はない

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

IUCN : LC

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: Mark Auliya/TSEA

取引形態：生体および卵（密輸者が身につけて）がペット取引に



市場でみられた若いヤシオウム

Credit: Chris Shepherd/TSEA



ヤシオウムの成鳥

Credit: Mark Auliya/TSEA

^α現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよびwww.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

Eos spp. - ヒンコ属

Indonesian Lorries

他の呼称： Nuri Sangir[ヌリ・サンギル] (ヤクシャインコのこと、インドネシア)

分布： インドネシア東部

身体的特徴： 全長：24 - 31cm

国際的な保全状況：^α

Eos histrio ヤクシャインコは **CITES 附属書 I**

その他 **CITES 附属書 II**

IUCN : LC

「種の保存法」による指定状況：*Eos histrio* ヤクシャインコが国際希少野生動植物種（2011年12月時点）



アオスジヒンコ
Credit: Chris Shepherd/TSEA

顕著な特徴：

取引形態：生体がペット取引に

<i>Eos histrio</i> ヤクシャインコ CITES 附属書 I IUCN: EN 頭：1. 頭の後ろに青紫色の帯 (大きさは異なる場合がある) 胴：2. 胸に幅広の青い帯 尾：3. 上から見ると赤紫色 分布：インドネシアの、サンギル島およびタラウド諸島やナマサ諸島の島々	<i>Eos bornea</i> ヒンコ CITES 附属書 II IUCN: LC 頭：1. 目の周りが青く、それ以外に頭に紫の部分はない 胴：2. 体に青い部分はなく、尾の基部の下が青い 翼：3. 両翼に小さな青い斑 分布：インドネシアのブル島、セラム島、および周辺の島々、カイ諸島を含むマルク諸島	<i>Eos semilarvata</i> ホオアオインコ CITES 附属書 II IUCN: LC 頭：1. 頬上部から耳部分、頸側にかけて、すみれ色 胴：2. 腹と尾の下が青色 分布：インドネシアのセラム島	<i>Eos squamata</i> コムラサキインコ CITES 附属書 II IUCN: LC 頭：1. 頸の周りにすみれ色の環—色が非常に淡い個体もある 胴：2. 腹と尾の下が青色 分布：インドネシアのマルク諸島北部および、西バブア周辺の島々	<i>Eos cyanogenia</i> クラカケヒンコ CITES 附属書 II IUCN: VU 頭：1. 目から頸側にかけて青紫色の帯 胴：2. 黒い脇と腿 翼：3. 翼に黒斑 分布：インドネシア、西バブアの Geelvink Bay に浮かぶ島々	<i>Eos reticulata</i> アオスジヒンコ CITES 附属書 II IUCN: NT 頭：1. 目から頸の付け根にかけて青紫色の帯 胴：2. 背上部は暗青色で、すみれ色の筋 分布：インドネシアのタニンバル諸島
---	---	---	---	---	---

Loriculus galgulus - サトウチョウ

Blue-crowned Hanging Parrot

他の呼称： Burung Serindit [ブルング・セリンディット] (マレーシア)

分布： ブルネイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ

身体的特徴： 全長：12cm

顕著な特徴：

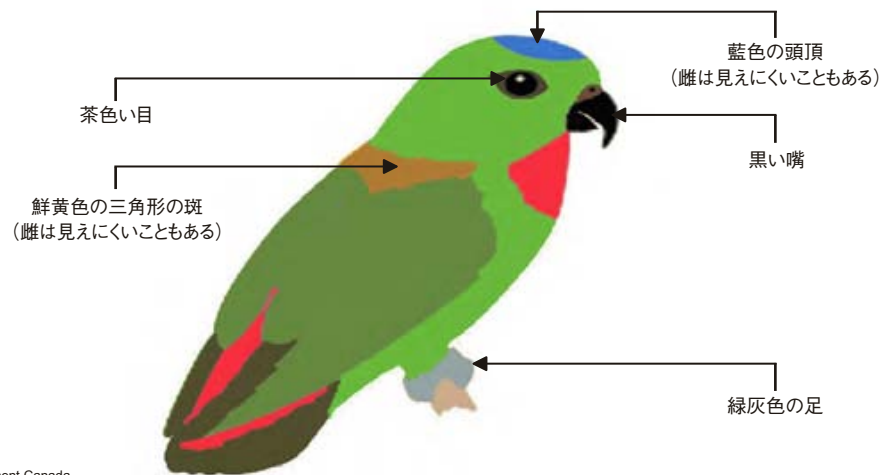


Image Source: Environment Canada

類似種：

他のサトウチョウ類
CITES 附属書 II

頭頂が藍色ではない

肩羽に鮮黄色の三角形の斑がない

Melopsittacus undulatus
セキセイインコ

全長：18cm

書類に Budgerigar と記載されていることがある



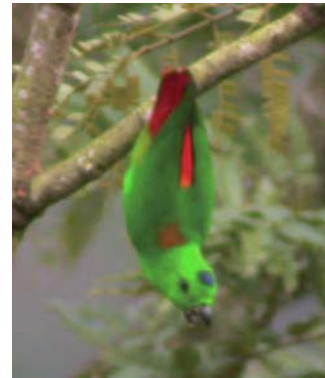
Image Source: Environment Canada

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN: LC

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Credit: Yen Loong Lean

取引形態：生体がペット取引に



Credit: Chris Shepherd/TSEA

Lorius garrulus - ショウジョウインコ

Chattering Lory

他の呼称： Nuri Ternate [ヌリ・テルナテ] (インドネシア)

分布： *Lorius garrulus garrulus* ショウジョウインコ — インドネシアのハルマヘラ島、ウェダ、テルナテ
Lorius garrulus flavopalliatu ルイチガイショウジョウインコ — インドネシアのパチャン島、オビ島
Lorius garrulus morotaianus モロタイショウジョウインコ — インドネシアのモロタイ島、ラウ島

身体的特徴： 全長：30cm

顕著な特徴：

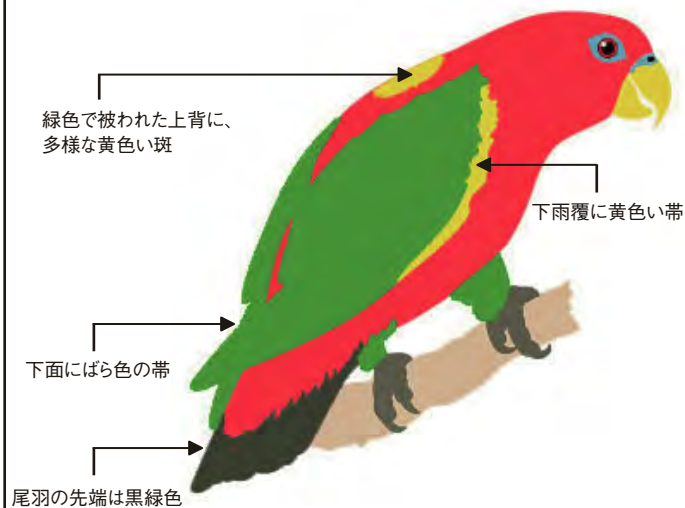


Image Source: Environment Canada (改作)

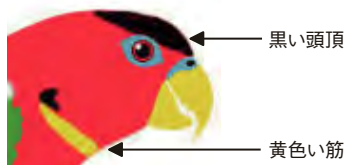
Lorius garrulus garrulus
ショウジョウインコ——上背の黄色い斑はいくぶん緑色で被われる。上背の黄色い斑の大きさは様々。

Lorius garrulus flavopalliatu
ルイチガイショウジョウインコ——*Lorius garrulus garrulus* に比べ、上背の黄色い斑は大きい、上背の緑色は薄い。

Lorius garrulus morotaianus
モロタイショウジョウインコ——上背の小さな黄色い斑は緑色で被われる。

類似種：

Lorius chlorocercus
ヨダレカケスグロインコ
CITES 附属書 II

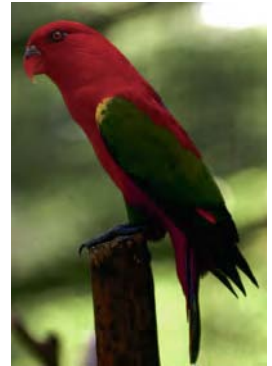


国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II

IUCN: EN

「種の保存法」による指定状況：なし（2011年12月時点）



Credit: Chris Shepherd/TSEA

取引形態：生体がペット取引に



Credit: Chris Shepherd/TSEA



Kredit Foto: Mark Auliya/TSEA

^a現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよびwww.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

Lorius lory - スグロオトメインコ

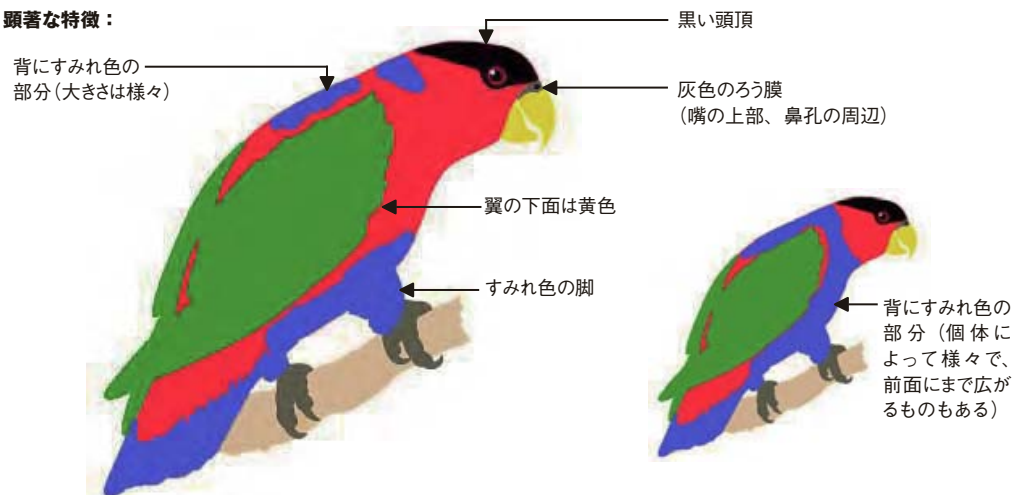
Black-capped Lory

他の呼称：

分布： インドネシアのニューギニア島西部、パプアニューギニア

身体的特徴： 全長：31cm

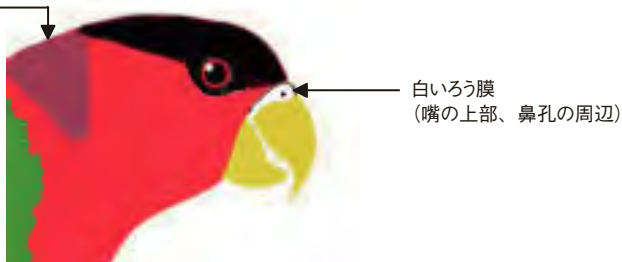
顕著な特徴：



類似種： *Lorius hypoinochrous* スグロオビロインコ

CITES 附属書 II

暗赤色



国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II

IUCN: LC

「種の保存法」による指定状況：なし(2011年12月時点)

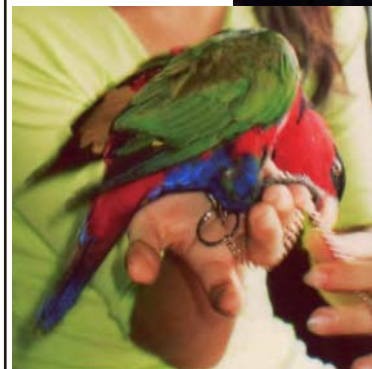


Credit: Brent Stirton - Getty Images - WWF-UK

取引形態：生体がペット取引に



市場のスグロオトメインコ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



スグロオトメインコ
Credit: James Compton/TSEA

Strigiformes - フクロウ目

Owls

他の呼称： Burung Hantu [ブルング・ハントウ] (インドネシア、マレーシア)

分布： 世界中（南極を除く）

身体的特徴： 体高：16 - 84cm、翼開長：38 - 160cm、体重：40g - 1.8kg

顕著な特徴：

- 柔らかな羽毛で被われる
- 直立姿勢
- 大きな丸い頭
- 短い尾
- 長い脚（羽毛で隠れている場合もある）
- 第4趾は前後に可動——前向きにも後ろ向きにもなる
- 鈍色が多い



注：
フクロウの雛の
種の識別は非
常に難しい。



Credit: Chris Shepherd/TSEA

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 I に掲載された 5 種(亜種)を除き、全種が **CITES 附属書 II** に掲載
Heteroglaux blewitti モリコキンメフクロウ (インド)、*Mimizuku gurneyi* オニコノハズク (フィリピン)、*Ninox natalis* クリスマスアオバズク (クリスマス島)、*Ninox novaeseelandiae undulata* ニュージーランドアオバズク (ノーフォーク島)、*Tyto soumagnei* マダガスカルメンフクロウ (マダガスカル)

IUCN：種により様々——絶滅のおそれが高いために CR

「種の保存法」による指定状況：CITES 附属書 I 掲載 5 種(亜種)および、*Ninox novaeseelandiae albaria* ロードハウアオバズク、*Otus podargina* カキイロゾクが国際希少野生動植物種。*Ketupa blakistoni blakistoni* シマフクロウ、*Bubo bubo borrisowii* ワシミミズクが国内希少野生動植物種（2011 年 12 月時点）



Bubo sumatranus マレーワシミミズク
Credit: Claire Beasall

取引形態：生体、および体の部分が伝統的な薬／魔術に



市場で販売される *Tyto alba* メンフクロウ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



市場で販売される
Ninox scutulata アオバズク
Credit: Chris Shepherd/TSEA

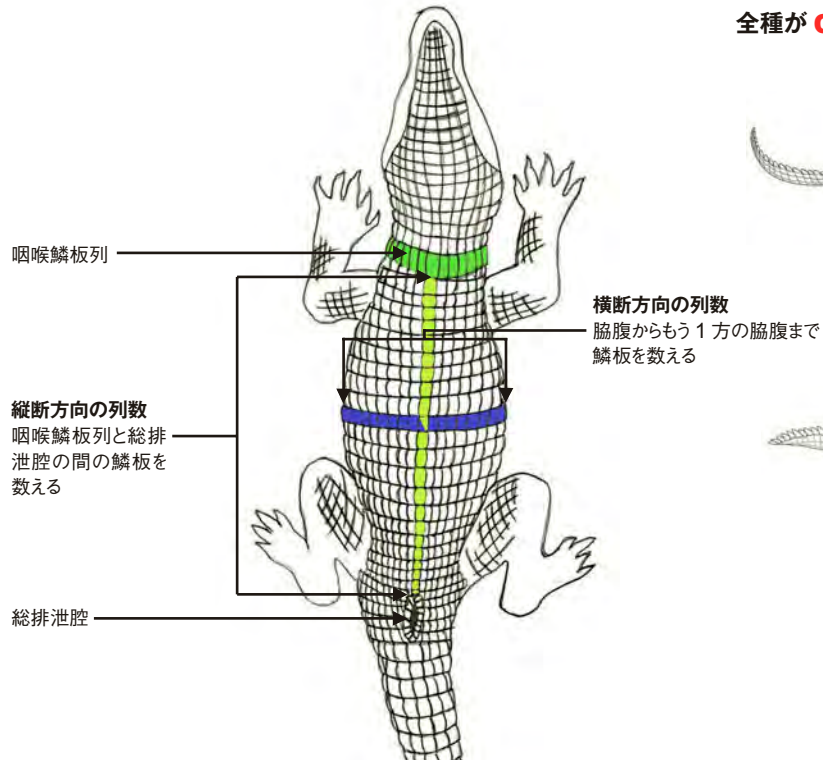


市場で販売される
Ketupa ketupu マレーウオシミズク
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^a現在の保全状況はwww.cites.orgおよびwww.iucnredlist.orgおよび
www.birdlife.org/datazone/search/species_search.htmlにて確認のこと。

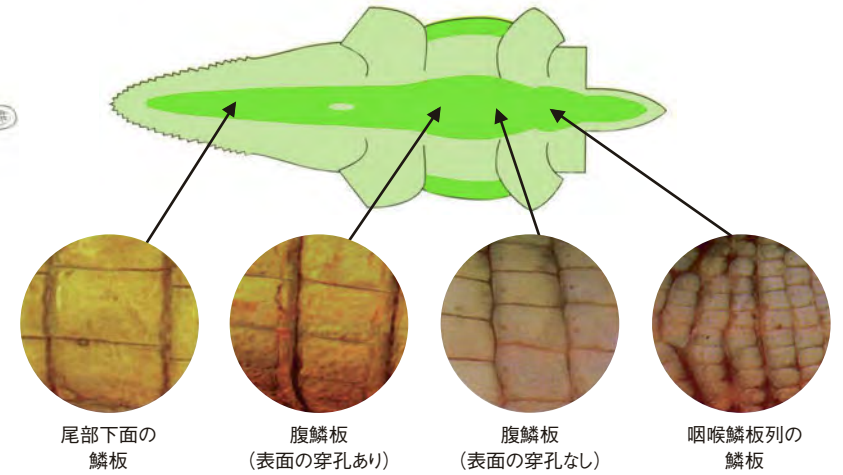
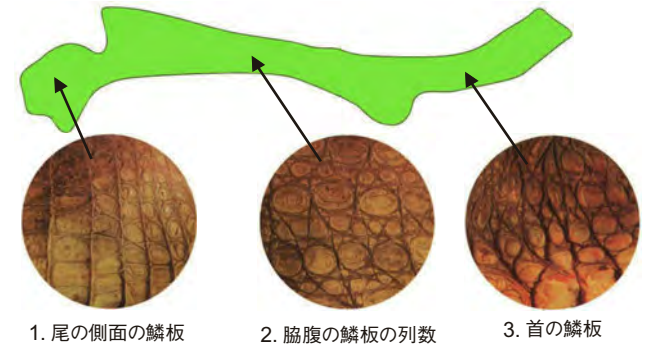
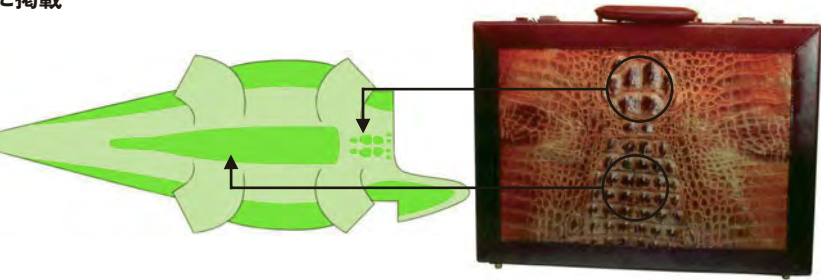
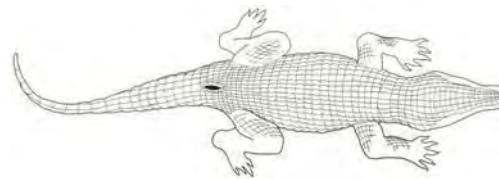
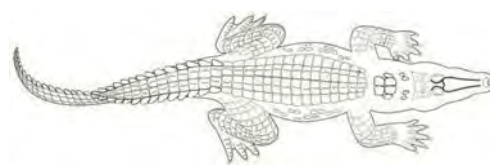
Crocodylia spp. ワニ目 - 皮革

全種が **CITES 附属書 I** または **CITES 附属書 II** に掲載



ワニ類の皮の識別

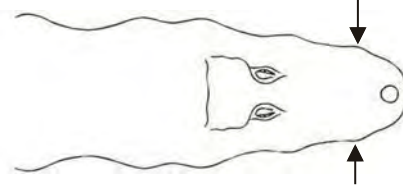
種	縦断方向の 列数	横断方向の 列数
<i>Alligator mississippiensis</i> アメリカアリゲーター	29 - 34	12 - 14
<i>Caiman crocodilus</i> メガネカイマン	20 - 24	12 - 14
<i>Crocodylus niloticus</i> ナイルワニ	26 - 30	14 - 20
<i>Crocodylus novaeguineae</i> ニューギニアワニ	22 - 28	12 - 18
<i>Crocodylus mindorensis</i> ミンドロワニ	22 - 25	12 - 14
<i>Crocodylus porosus</i> イリエワニ	31 - 35	16 - 19
<i>Crocodylus siamensis</i> シャムワニ	30 - 34	14 - 16
<i>Tomistoma schlegelii</i> ガビアルモドキ	22 - 24	12 - 14



Alligators and Caimans - アリゲーター類、カイマン類

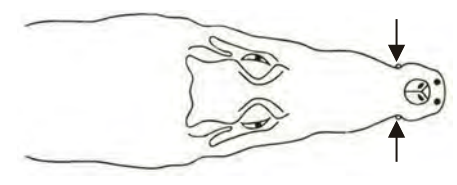
Alligators and Caimans アリゲーター類とカイマン類

口を閉じたときに下顎の4番目の歯が上顎の内側の溝に隠れ、外から見えない。



Crocodiles クロコダイル類

口を閉じたときに下顎の4番目の歯が上顎の外側の溝に収まり、外から見える。



Alligator mississippiensis アメリカアリゲーター

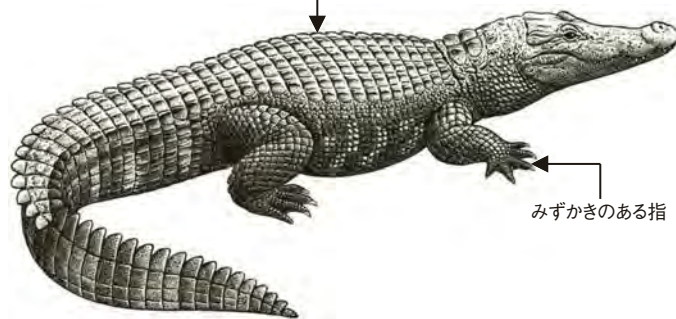
CITES 附属書 II
IUCN : LC

他の呼称 : American Alligator、Gator (英名)

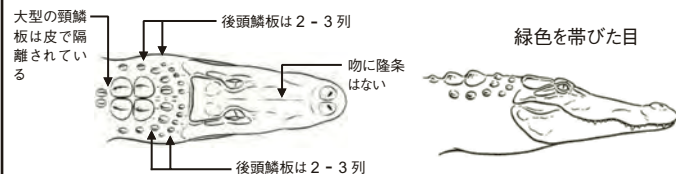
分布 : 米国

身体的特徴 : 全長 : 最大 6m、通常 4.8m

背鱗板は横断方向に 8 - 10 枚



みずかきのある指



緑色を帯びた目

Alligator sinensis ヨウスコウアリゲーター

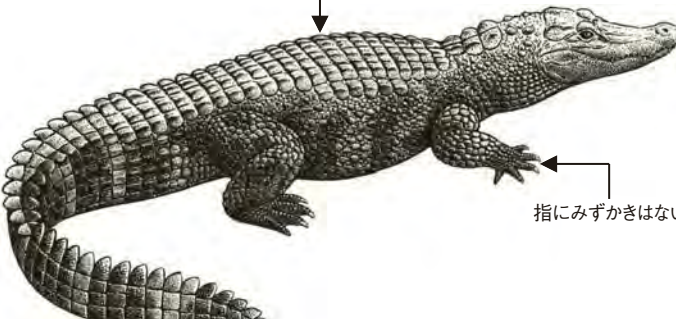
CITES 附属書 I
IUCN : CR

他の呼称 : Chinese Alligator (英名)、Yangtze Alligator (英名)、
E Yu [エユ]、T'uo [トゥオ]、Tou Lung [トゥラン]、
Yow Lung [ヨーラン] (中国)

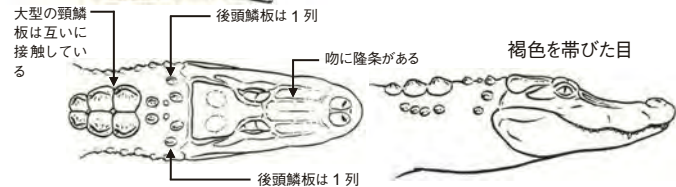
分布 : 中国 (安徽省、江蘇省、浙江省)

身体的特徴 : 全長 : 最大 1.8m

背鱗板は横断方向に 6 枚



指にみずかきはない



褐色を帯びた目

Caiman crocodilus メガネカイマン

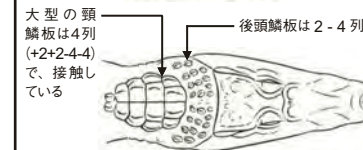
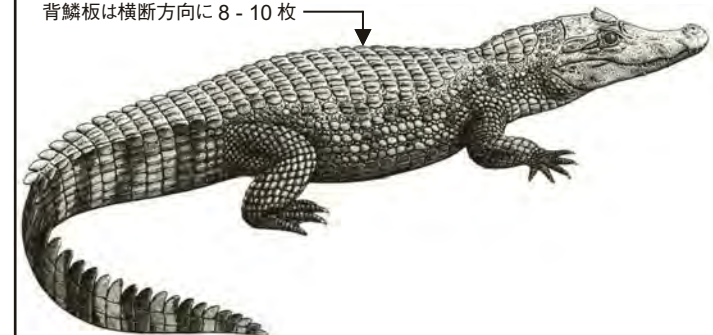
CITES 附属書 II
IUCN : LR

他の呼称 : Spectacled Caiman、Common Caiman (英名)

分布 : ブラジル、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、エルサルバドル、仏領ギアナ、グアテマラ、ガイアナ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマ、ペルー、スリナム、トリニダード・トバゴ、ベネズエラ

身体的特徴 : 全長 : 最大 2.7m

背鱗板は横断方向に 8 - 10 枚



まぶたに小さなこぶ

咽喉鱗板は 1 列

***Crocodylus novaeguinae* - ニューギニアワニ**
***Crocodylus mindorensis* - ミンドロワニ**

Crocodylus novaeguineae
ニューギニアワニ

CITES 附属書 II

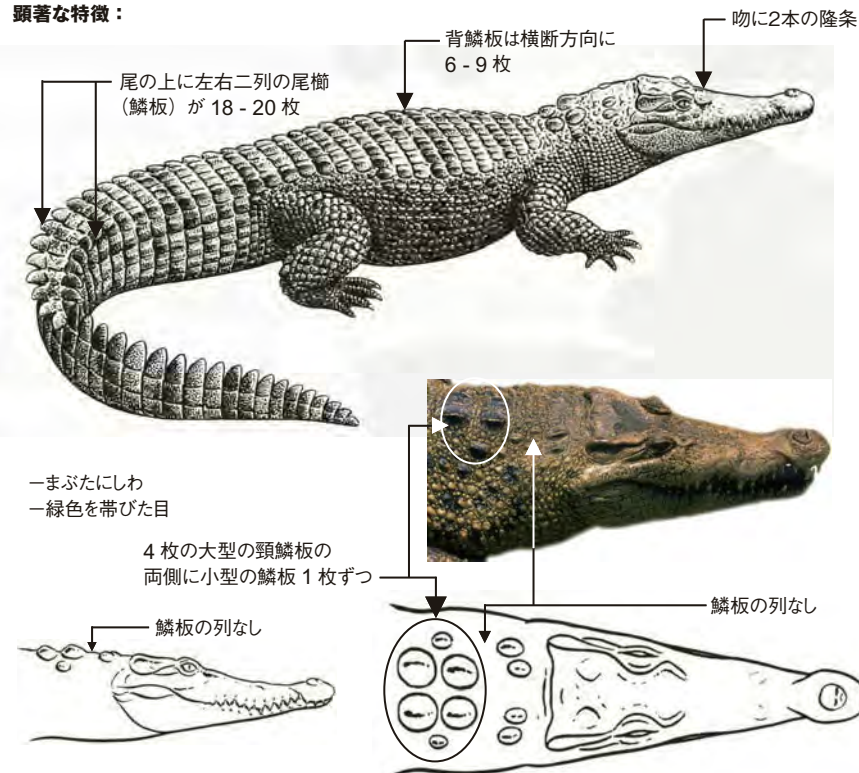
IUCN : LC

他の呼称： New Guinea Crocodile (英名)、Buaya air tawar [ブアヤ・アイル・タワル]、Pukpuk [プクプク]、Wahne huala [ワハネ・フアラ] (インドネシア、パプアニューギニア)

分布：インドネシア（ニューギニア島西部）、パプアニューギニア

身体的特徴：全長：最大 3.5m

顕著な特徴：



All Images Credit: Environment Canada

Crocodylus mindorensis
ミンドロワニ

CITES 附属書 I

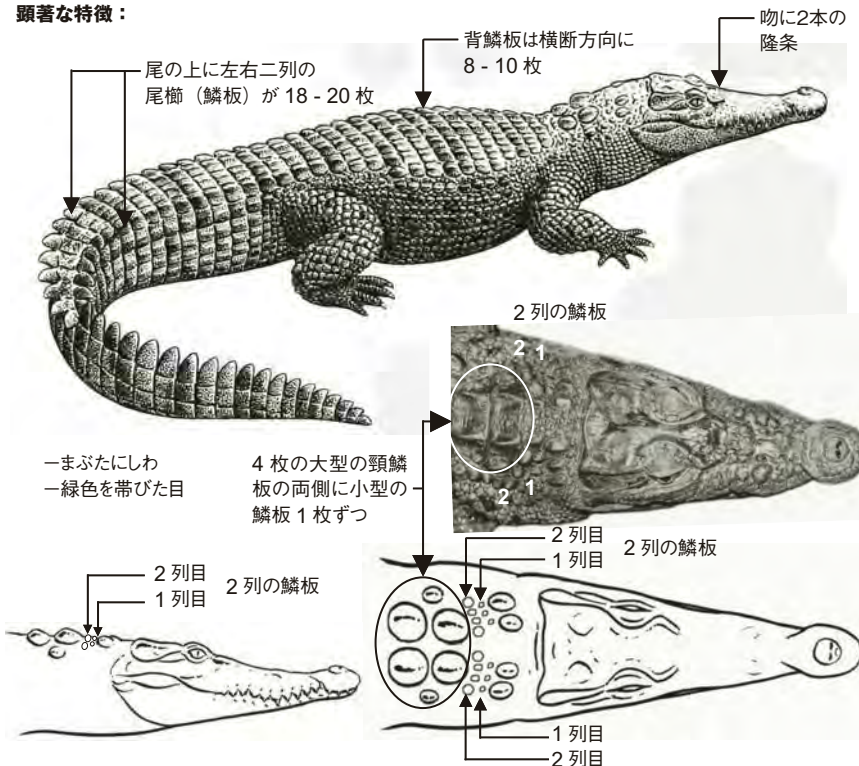
IUCN : CR

他の呼称： Philippine Crocodile (英名)

分布： フィリピン

身体的特徴： 全長：最大 3m

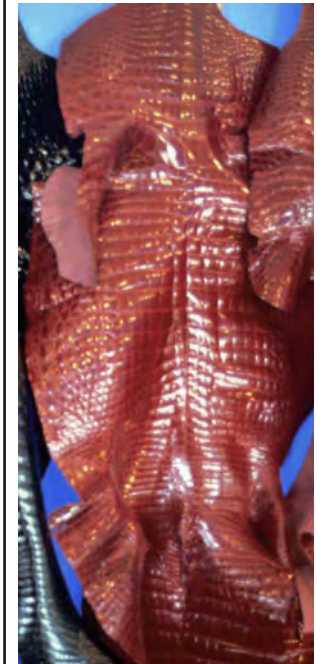
顕著な特徴：



「種の保存法」による指定状況：
Crocodylus mindorensis
ミンドロワニは国際希少野生動植物種（2011年12月時点）

取引形態：

皮、および生体がペット取引に



販売されるワニ皮
Credit: TRAFFIC Southeast Asia

Crocodylus porosus - イリエワニ Crocodylus siamensis - シャムワニ

Crocodylus porosus イリエワニ

CITES 附属書 I

CITES 附属書 II に掲載されている、オーストラリア、インドネシア、パプアニューギニアの個体群を除く

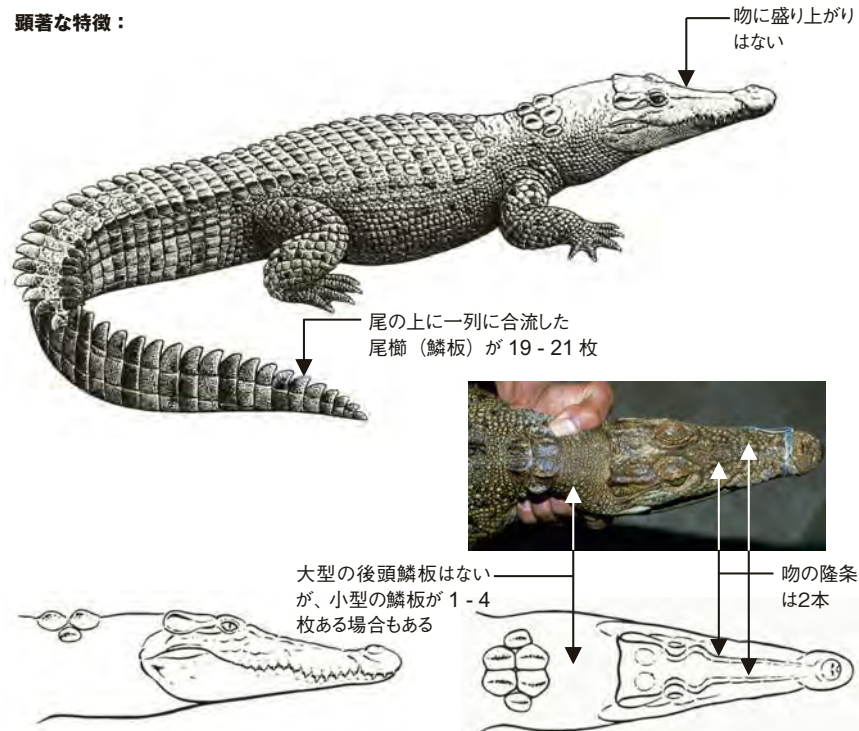
IUCN : LC

他の呼称： カワグチワニ（日本）、Estuarine Crocodile、Saltwater Crocodile（英名）、Buaya muara [ブアヤ・ムアラ]（インドネシア）、Baya [バヤ]、Pukpuk [プクプク]、Kone huala [コネ・フアラ]（パプアニューギニア）、Jara Kaenumkem [ジャラ・キーナムケム]（タイ）

分布： オーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、パラオ、パプアニューギニア、フィリピン、シンガポール、ソロモン諸島、スリランカ、タイ、バヌアツ、ベトナム

身体的特徴： 全長：最大 7m

顕著な特徴：



Crocodylus siamensis シャムワニ

CITES 附属書 I

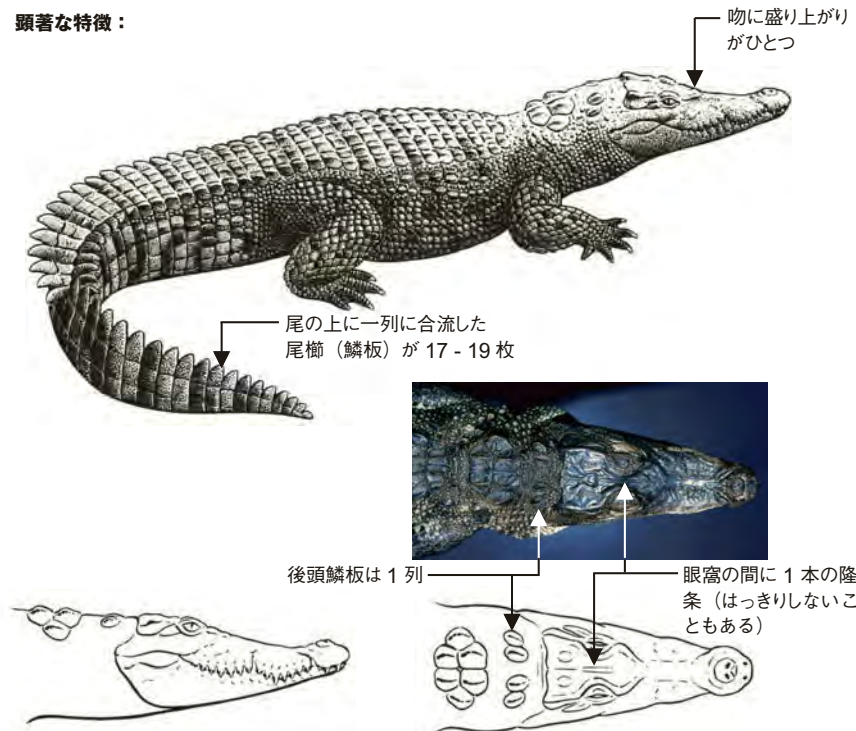
IUCN : CR

他の呼称： Siamese Crocodile（英名）、Buaya kodok [ブアヤ・コドク]（インドネシア）、Jara Kaenumchued [ジャラ・キーナムチュード]（タイ）

分布： カンボジア、インドネシア（カリマンタン島）、ラオス、マレーシア（サラワク州）、タイ、ベトナム

身体的特徴： 全長：最大 4m

顕著な特徴：



「種の保存法」による指定状況：
国際希少野生動植物種

(2011 年 12 月時点)

取引形態：

皮、および生体がペット取引に



市場で販売されるクロコダイルの幼体
Credit: TRAFFIC Southeast Asia



ワニ革のバッグ
Credit: Mark Auliya

Tomistoma schlegelii - ガビアルモドキ(マレーガビアル)

False Gharial

他の呼称： ニセガビアル (日本)、Tomistoma (英名)、Buaya sumpit [ブアヤ・スンピット] (インドネシア)、Julong julong [ジュロング・ジュロング] (マレーシア)、Takong [タカング] (タイ)

分布： インドネシア (カリマンタン島、スマトラ島)、マレーシア (マレー半島、サラワク州)

身体的特徴： 全長：最大 5m

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 I

IUCN : EN

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: Mark Auliya

顕著な特徴：



Credit: Mark Auliya/TSEA

一緑色がかった褐色の地色に、吻から尾にかけてはっきりした黒斑点 (年齢とともに薄れる場合もある)



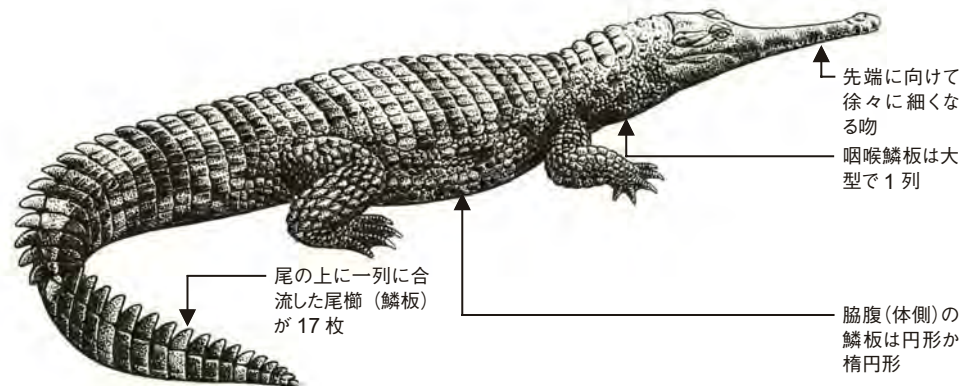
一黄色を帯びた褐色の目

Credit: Mark Auliya/TSEA

小型の後頭鱗板が 2 列



2 対の大型の頸鱗板が 3 列



先端に向けて徐々に細くなる吻
咽喉鱗板は大型で 1 列

脇腹 (体側) の鱗板は円形か楕円形

下顎の歯は 19 - 20 本

取引形態：生体がペット取引に (通常は若い個体)



ガビアルモドキ (マレーガビアル) の若い個体

Credit: WWF-Canon / Alain COMPOST



ガビアルモドキ (マレーガビアル) の成体 (雌)

Credit: Claire Beastall

Uromastix spp. - トゲオアガマ属

Spiny-tailed Lizards

他の呼称： Dab Lizard、Mastigure (英名)

分布： インド北西部からアジア南西部、アラビア半島からアフリカ・サハラ

身体的特徴： 全長：最大 91.5cm

国際的な保全状況：^α

トゲオアガマ属全種が **CITES 附属書 II**

IUCN：CR から LR/LC まで様々

「種の保存法」による指定状況：なし

(2011 年 12 月時点)



Credit: Mark Auliya/TSEA

顕著な特徴：



鼻孔から吻の
先端までの距離が
非常に短い

—比較的平らでトゲのある尾

—比較的平らな胴体

—側面に皮膚のひだがある場合もある



Credit: Mark Auliya/TSEA

取引形態：

生体をペット取引、および伝統薬用取引



Credit: Mark Auliya/TSEA

類似種：

アメリカ大陸やマダガスカルの
トゲオイグアナ類、プキオトカ
ゲ類



Credit: Anthony B. RATH/WWF-Canon

オーストラリアのアガマ類

上記の特徴を併せ持つことはない。



Credit: Claire Beastall



Credit: Mark Auliya/TSEA

Phelsuma spp. - ヒルヤモリ属

Day Gecko species

他の呼称： マダガスカルミドリヤモリ（日本）

分布： アンダマン諸島（インド）、コモロ諸島、ケニア、マダガスカル、モーリシャス島、レユニオン島、ロドリゲス島、セーシェル、タンザニア

身体的特徴： 全長：7.6 - 30.5cm

国際的な保全状況：^a

ヒルヤモリ属全種が **CITES 附属書 II**

IUCN：CR から LR/LC まで様々

「種の保存法」による指定状況：なし

（2011 年 12 月時点）

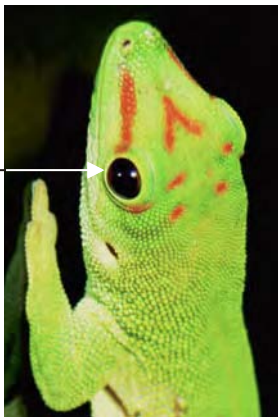


Credit: Eugène Bruins

顕著な特徴：

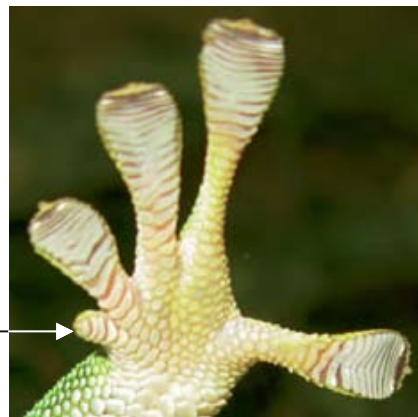
- 多くは鮮やかな色で、通常緑色
- 主に昼行性
- 大きな目で、黒っぽく丸い瞳孔
- 内側の指は短い

大きな目で、
黒っぽく丸い
瞳孔



Credit: Eugène Bruins

内側の
指は短い

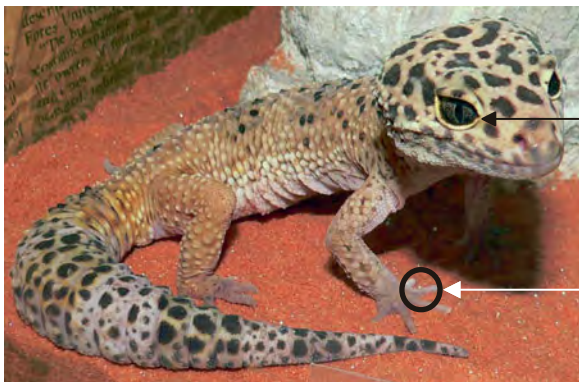


Credit: Eugène Bruins

類似種：

その他のヤモリ

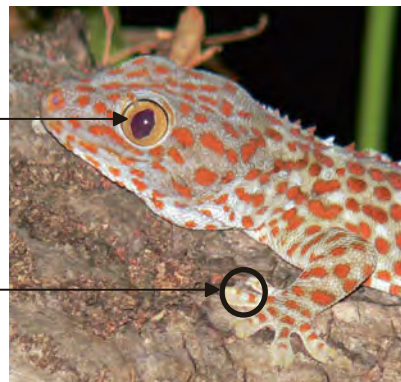
- 通常は鈍色
- 主に夜行性
- 丸くない瞳孔
- 内側の指がそれほど短くはない



Eublepharis macularius ヒョウモンタカゲモドキ Credit: Mark Auliya/TSEA

丸くない瞳孔

内側の指が
さほど短くない



Gekko gecko トッケイヤモリ Credit: Mark Auliya/TSEA

取引形態：

生体がペット取引に



ペットショップで購入可能な *Phelsuma* spp. ヒルヤモリ属の品ぞろえ

Credit: Mark Auliya/TSEA



ペットショップで販売される *Phelsuma quadriocellata* ヨツメヒルヤモリ

Credit: Mark Auliya/TSEA

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Gekko gecko - トッケイヤモリ

Tokay Gecko

他の呼称： トッケイ、オオヤモリ（日本）、Tokay（英名）

分布： 熱帯アジア東部全域

身体的特徴： 全長：20 - 40cm、体重：150 - 300g

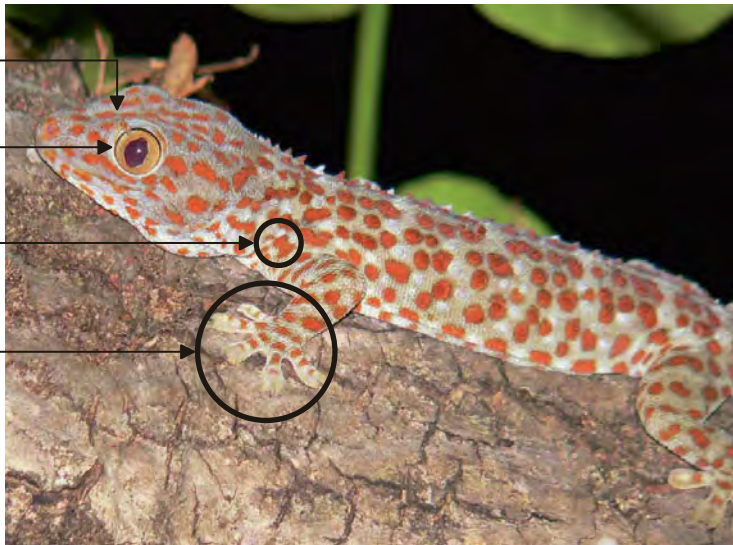
顕著な特徴：

淡い青灰色の皮膚

大きな目で、縦に
細長い瞳孔

オレンジと白の斑点

幅広の平らな指



Credit: Mark Auliya/TSEA

類似種：

その他のヤモリ——その他のヤモリには、くっきりとしたオレンジ色の斑点はない
トッケイヤモリはヤモリ類の中で2番目に大きな種

国際的な保全状況：^a

掲載なし

「種の保存法」による指定状況：なし

(2011年12月時点)



Credit: Mark Auliya/TSEA

取引形態：伝統薬用に乾燥もしくは液体漬け



伝統薬用のトッケイヤモリ

Credit: TRAFFIC Southeast Asia



酒に漬けたトッケイヤモリ

Credit: TRAFFIC Southeast Asia



伝統薬用のトッケイヤモリ

Credit: TRAFFIC Southeast Asia



伝統薬用のトッケイヤモリ

Credit: Mark Auliya/TSEA



^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Varanus spp. - オオトカゲ属

Monitor Lizards

他の呼称： Biawak [ピアワク] (マレーシア)

分布： アフリカ、アラビア、南アジア、東南アジア、東インド諸島、オーストラリア、マーシャル諸島、カロリン諸島、フィジー諸島

身体的特徴： 全長：15cm - 3m の間

顕著な特徴：



Varanus salvator ミズオオトカゲの成体 Credit: Claire Beasall



V. salvator ミズオオトカゲの幼体 Credit: Claire Beasall

一筋肉質の尾

一力強い四肢と鋭い爪

一長い首

一細い頭部と、先がとがった吻

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II (CITES 附属書 I に掲載の *Varanus bengalensis* ベンガルオオトカゲ、*V. flavescens* キイロオオトカゲ、*V. griseus* サバクオオトカゲ、*V. komodoensis* コモドオオトカゲ、*V. nebulosus* ヒガシベンガルオオトカゲを除く)

IUCN：3 種のみ掲載 - *Varanus komodoensis* コモドオオトカゲ、*V. olivaceus* グレイオオトカゲ：**VU**、*V. flavescens* キイロオオトカゲ：**LR**

「種の保存法」による指定状況：

CITES 附属書 I 掲載 5 種が国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: Mark Auliya

取引形態：皮、および生体がペット取引に



オオトカゲ類の背の皮のクローズアップ写真
鱗の実際の大きさ：幼体で 1mm、成体で 2 - 3mm

背には特徴的なキール（隆条）と呼ばれる隆起した鱗があり、それぞれ小さな粒状の鱗に囲まれている

オーストラリア、インドネシア（ニューギニア島西部）、パプアニューギニアの *Varanus prasinus* ミドリホソオオトカゲは、ペット取引でよく見られる。



取引される *V. Prasinus* ミドリホソオオトカゲ
Credit: Mark Auliya/TSEA

全長：最大 80cm

V. salvator ミズオオトカゲの皮はよく取引される



ミズオオトカゲの皮
Credit: TRAFFIC Southeast Asia

オオトカゲ類の皮で作られた靴
Credit: TRAFFIC Southeast Asia



酒に漬けられたミズオオトカゲ
Credit: Claire Beasall



取引されるミズオオトカゲ
Credit: Mark Auliya

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Ptyas mucosus - ナンダ

Oriental Rat Snake

他の呼称： Banded Ratsnake (英名)

分布： アフガニスタン、バングラデシュ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、イラン、ラオス、ネパール、マレーシア、ミャンマー、パキスタン、台湾、タイ、トルクメニスタン、ベトナム

身体的特徴： 全長：最大 320cm

顕著な特徴：



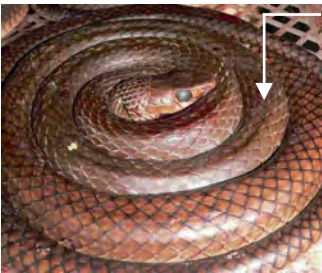
体は帯状縞模様
(黒みの強い個体では見えにくい)



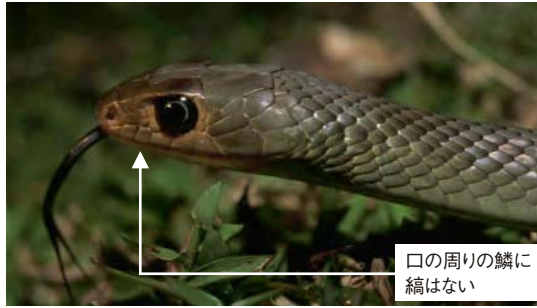
口の周りの鱗に
縞がある

類似種： *Ptyas korros* ヒメナンダ (サイモンナンダ、インドシナラッスネーク)

CITES 掲載なし



体に帯状縞
模様はない



口の周りの鱗に
縞はない

分布： バングラデシュ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN：掲載なし

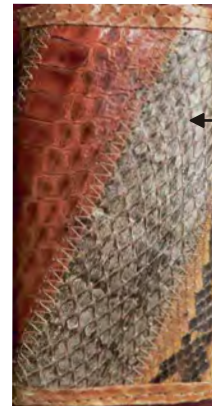
「種の保存法」による指定状況：なし

(2011 年 12 月時点)



Ptyas mucosus ナンダ
Credit: Mark Auliya/TSEA

取引形態：皮、肉、伝統薬用の胆嚢



P. mucosus ナンダの革
Credit: Mark Auliya/TSEA



P. mucosus ナンダの皮
Credit: Mark Auliya/TSEA



P. mucosus ナンダの肉
Credit: Mark Auliya/TSEA



P. mucosus ナンダの胆嚢
Credit: Mark Auliya/TSEA

Ophiophagus, Naja spp. - コブラ類

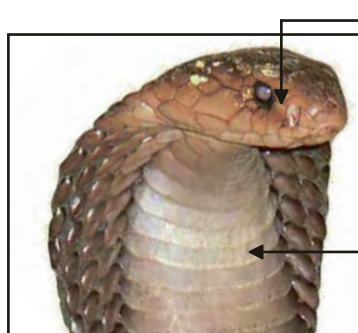
Cobras

他の呼称： メガネヘビ（日本）、眼鏡蛇（中国）

分布： アフリカ、アジア

身体的特徴： 全長：最大 585cm

顕著な特徴：



Credit: Mark Auliya

コブラ類、アマガサヘビ類、サンゴヘビ類は、目の前（眼球前方）の鱗（眼前板）が鼻板（鼻孔のある鱗）に接している（他のヘビより目と鼻孔が近い）

コブラ類、アマガサヘビ類、サンゴヘビ類には、眼前板と鼻板の間の頬板がない

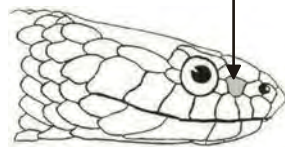
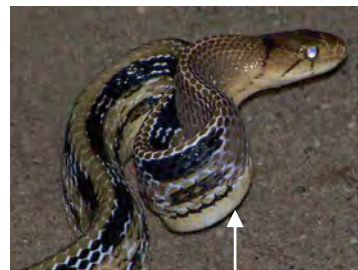


Image adapted from: US Fish and Wildlife Service

このように首を扁平にできるのはコブラ類のみ



Coelognathus (または *Elaphe*) *radiata*
ホウシャナメラは、首を背側から腹側まで側偏させてコブラの擬態をする
Credit: Claire Beastall



Credit: Mark Auliya

頭部の非常に大きな鱗が *Ophiophagus hannah* キングコブラの特徴



Naja kaouthia タイコブラの後頭部の模様は様々
Credit: Mark Auliya

国際的な保全状況：^α

以下の東南アジアのコブラ類は **CITES 附属書 II**

Ophiophagus hannah キングコブラ、
Naja kaouthia タイコブラ（モノクルコブラ）、
Naja mandalayensis ビルマドクフキコブラ、
Naja philippinensis フィリピンコブラ、
Naja samarensis ミナミフィリピンコブラ、
Naja siamensis タイドクフキコブラ、
Naja sputatrix インドネシアドクフキコブラ、
Naja sumatrana スマトラドクフキコブラ

IUCN：掲載なし

「種の保存法」による指定状況：なし（2011 年 12 月時点）



Naja sputatrix インドネシアドクフキコブラ
Credit: Mark Auliya

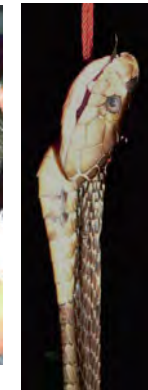
取引形態：皮、肉、伝統薬用の胆嚢



コブラ類の皮を剥ぐ



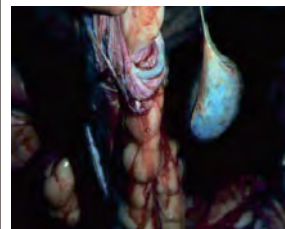
Ophiophagus hannah キングコブラの血を集める



市場の死んだコブラ類



コブラ類の皮



コブラ類の胆嚢（取り出したばかり）



コブラ類の胆嚢（乾燥品）

All photographs credit to: Mark Auliya/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Pythonidae - ニシキヘビ科

Pythons

他の呼称：

分布： アフリカ、アジア、オーストラリア（旧世界のみに生息）

身体的特徴： 全長：最大 10m

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II、(**CITES 附属書 I** に掲載された *Python molurus molurus* テンジクニシキヘビを除く)

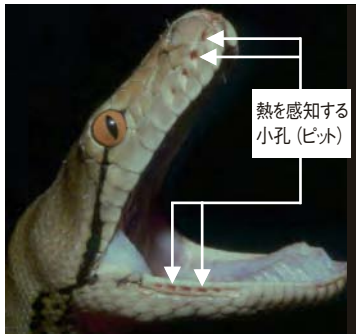
IUCN：*Python molurus* インドニシキヘビ - **LR**

「種の保存法」による指定状況：*Python molurus molurus* テンジクニシキヘビが国際希少野生動植物種（2011 年 12 月時点）

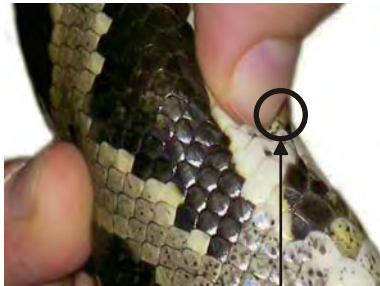


Python breitensteini ボルネオアカニシキ
Credit: Mark Auliya

顕著な特徴：



Credit: Mark Auliya



Credit: Mark Auliya

総排出腔(尾の付け根にある開口部)の両側に2つの小さな突起(あしの痕跡)が見られる

取引形態：皮、肉、生体がペット取引に



食肉として取引される *Python reticulatus* アミメニシキヘビ
Credit: Bounma Vongxay



ニシキヘビ類の革靴
Credit: TRAFFIC Southeast Asia



オーストラリア、インドネシア（ニューギニア島西部）、パプアニューギニアの *Morelia viridis* ミドリニシキヘビはペット取引でよく見られる
Credit: WWF-Canon / Martin HARVEY



Python reticulatus アミメニシキヘビは皮取引でよく見られる
Credit: Chris Shepherd/TSEA



Python curtus アカニシキヘビと *Python brongersmai* マレーアカニシキ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



押収されたニシキヘビの皮
Credit: TRAFFIC Southeast Asia

類似種：Boidae ボア科

ボア科のうち6種は **CITES 附属書 I** に掲載され、その他はすべて **CITES 附属書 II** に掲載されている。中南米、マダガスカル、インド - 太平洋のみに生息する。

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Carettochelys insculpta - スッポンモドキ

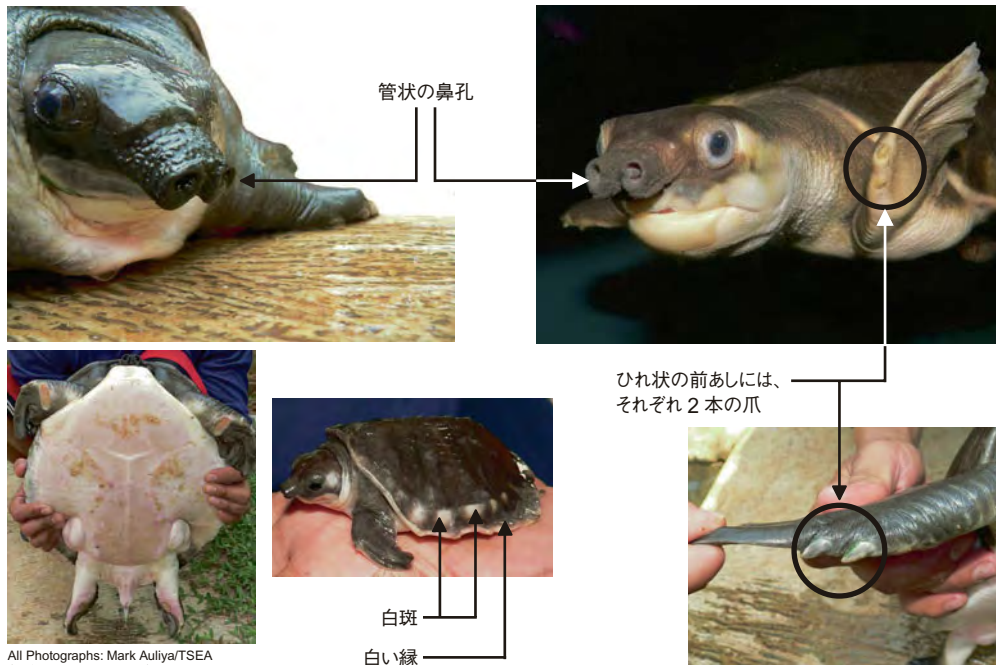
Pig-nosed Turtle

他の呼称： ニューギアスッポン（日本）、Labi-labi moncong babi [ラビラビ・モンチョン・バビ]（インドネシア）、
Budus Sisa [ブドゥッサ]（フライ川流域、パプアニューギニア）、
Garr [ガル]（モアヘッド川流域、パプアニューギニア）

分布： ニューギア島南部の川（インドネシア、パプアニューギニア）、北部準州（オーストラリア）

身体的特徴： 背甲長：最大 55cm

顕著な特徴： 皮で覆われた背甲（甲羅）



All Photographs: Mark Auliya/TSEA
(別途記載されていない場合)

類似種： スッポン類

スッポン類には、管状の鼻孔や、2本の爪のついたひれ状の前あしはない

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II

IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況： なし（2011年12月時点）



Credit: Chris Shepherd/TSEA

取引形態： 生体がペット取引に（幼体の場合も多い）食肉用もある。



孵化したてのスッポンモドキ
Credit: James Compton/TSEA



孵化したてのスッポンモドキ
Credit: Mark Auliya/TSEA



スッポンモドキの肉
Credit: James Compton/TSEA



スッポンモドキの垂成体
Credit: Chris Shepherd/TSEA



スッポンモドキの成体
Credit: Mark Auliya/TSEA

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Chelus fimbriatus - マタマタ

Matamata Turtle

Chelidae ヘビクビガメ科

他の呼称：

分布： ボリビア、ブラジル、ガイアナ、コロンビア、エクアドル、仏領ギアナ、ペルー、スリナム、ベネズエラ

身体的特徴： 背甲長：最大 44.9cm

国際的な保全状況：^α

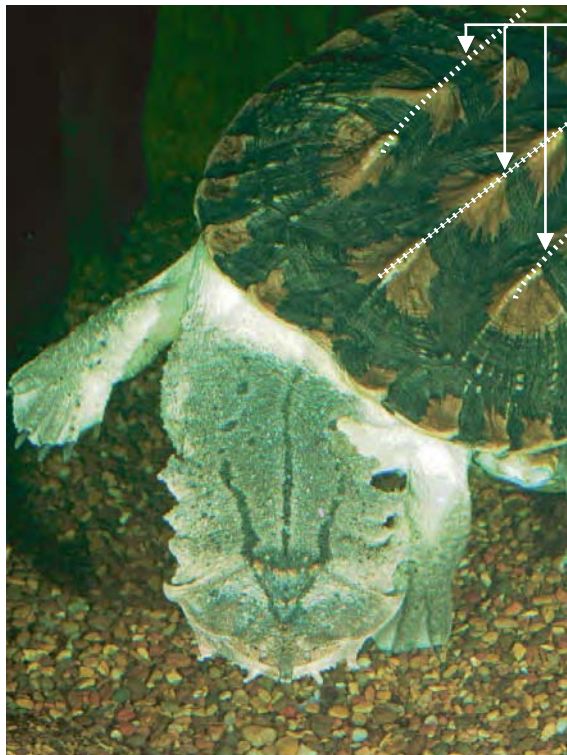
CITES 掲載なし

IUCN：掲載なし

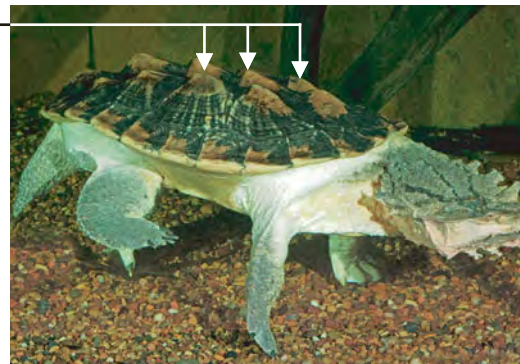
「種の保存法」による指定状況：なし（2011 年 12 月時点）



顕著な特徴：



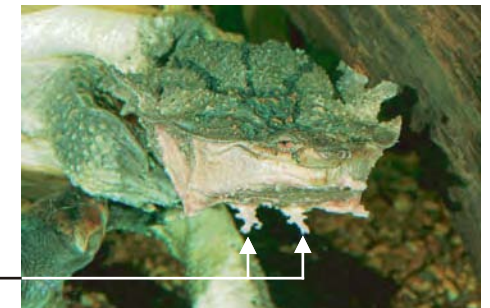
背甲に 3 条の隆起した
キール（隆条）が走る



- 背甲は茶色か黒
- 甲羅後部はギザギザの多い鋸歯状
- 成体では頭、首、四肢、尾が灰褐色

取引形態：

生体がペット取引に



顎にひげ状突起が 2 本

類似種：特になし

Cheloniidae - ウミガメ科 Dermochelyidae - オサガメ科

Marine Turtles

5 種が東南アジアで見られる：

Dermochelidae オサガメ科 : *Dermochelys coriacea* オサガメ

Cheloniidae ウミガメ科 : *Eretmochelys imbricata* タイマイ
Chelonia mydas アオウミガメ
Caretta caretta アカウミガメ
Lepidochelys olivacea ヒメウミガメ

身体的特徴：背甲長：最大 150cm、体重：最大 950kg

国際的な保全状況：^α

ウミガメ類全種が **CITES 附属書 I**

IUCN : CR - EN

「種の保存法」による指定状況：

Cheloniidae ウミガメ科全種および *Dermochelys coriacea* オサガメが国際希少野生動植物種
(2011 年 12 月時点)



Credit: WWF-Canon / Jürgen FREUND

顕著な特徴：

一四肢のうち前あしはへら状

一爪（有する場合）は前あしの前縁にある

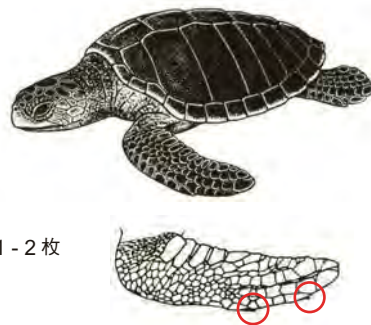
一頭部と四肢は甲羅に引っ込まない

ウミガメ科

甲羅は甲板に覆われている

前あしの前端に爪が 1 - 2 枚

Image Source: Environment Canada



オサガメ科

背甲には 7 条のキール（隆条）があり、皮で覆われている

前あしに爪はない

Image Source: Environment Canada



孵化したての幼体



オサガメ
Credit: WWF-Malaysia / Ken Scriven



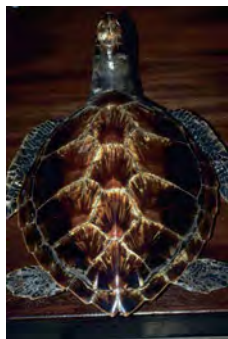
アオウミガメ
Credit: WWF-Malaysia / Ken Scriven



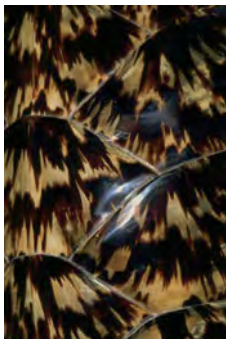
タイマイ
Credit: Chris Shepherd / TSEA

取引形態：

生体、肉、卵、全身の剥製、装身具や眼鏡フレームなどの甲羅製品（タイマイの甲羅はべっ甲として知られる）



タイマイの剥製
Credit: Chris Shepherd/TSEA



タイマイの甲羅
Credit: Chris Shepherd/TSEA



べっ甲製品
Credit: Julia Ng/TSEA



販売される孵化したてのアオウミガメの幼体
Credit: Chris Shepherd/TSEA



ウミガメ類の肉
Credit: James Compton/TSEA



販売されるウミガメ類の卵
Credit: Chris Shepherd/TSEA

卵：

丸くて白い（ピンポン球状）

卵の直径：

<i>Dermochelys coriacea</i> :	5.1 - 5.5cm
<i>Chelonia mydas</i> :	4.0 - 4.6cm
<i>Caretta caretta</i> :	3.9 - 4.3cm
<i>Lepidochelys olivacea</i> :	3.7 - 4.2cm
<i>Eretmochelys imbricata</i> :	3.2 - 3.6cm

Eretmochelys imbricata - タイマイ

Hawksbill Turtle

他の呼称： ベッコウガメ（日本）、Penyu Karah [ベニユ・カラ]（マレーシア）、Penyu Sisik [ベニユ・シジ]（インドネシア）

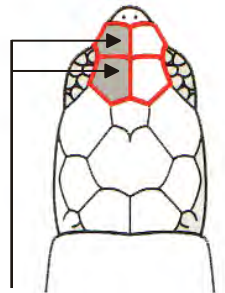
分布： 大西洋：東中央部、北東部、北西部、南東部、南西部、西中央部
インド洋：東部、西部
地中海、黒海
太平洋：東中央部、北東部、南東部、南西部、西中央部

身体的特徴： 背甲長：62 - 114cm、体重：35 - 127kg

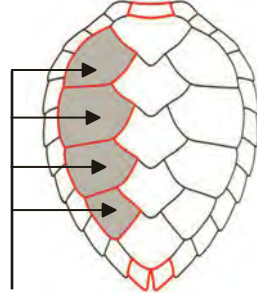
顕著な特徴：



くちばし状の上顎[#]



2 対の前額板（両眼の間）*

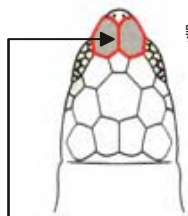


4 対の肋甲板*

背甲には厚い鱗板が重なり合っている*

類似種：

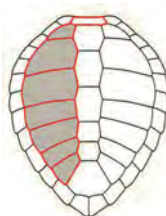
Chelonia mydas アオウミガメ
CITES 附属書 I



顎はくちばし状になっていない

前額板は 1 対のみ（両眼の間）*

Lepidochelys olivacea ヒメウミガメ
CITES 附属書 I



肋甲板が 6 対以上*
縁甲板は重なり合っていない*

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

IUCN : CR

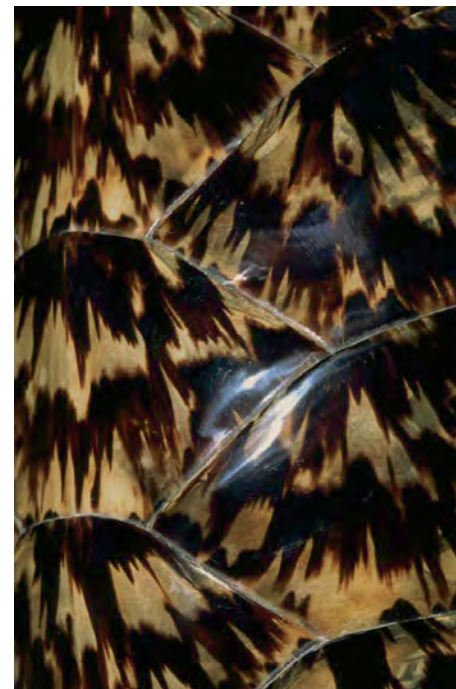
「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種（2011 年 12 月時点）



Credit: WWF-Canon / Cat HOLLOWAY

取引形態： 生体、肉、卵、全身の剥製、装身具や眼鏡フレームなど甲羅製品（特にタイマイの甲羅製品はべっ甲として知られる）



タイマイの甲板の拡大写真
Credit: Chris Shepherd/TSEA



若いタイマイの剥製
Credit: Chris Shepherd/TSEA



タイマイ（成体）の剥製
Credit: Chris Shepherd/TSEA



べっ甲の扇子
Credit: Julia Ng/TSEA



べっ甲の櫛
Credit: Julia Ng/TSEA

Batagur spp. - バタグールガメ属

Batagur baska ヨツユビガメ (バタグールガメ)

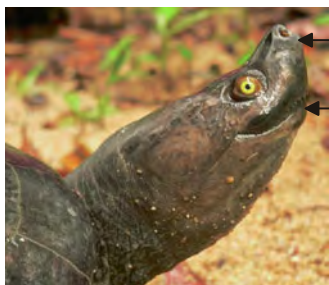
他の呼称： Four-toed Terrapin (英名)、Tuntong [トゥントン]、Tuntong Laut [トゥントン・ラウ] (マレーシア)、Tungtung [トゥントウン] (インドネシア)

分布： バングラデシュ、カンボジア、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー (シンガポール、タイ、ベトナムでは絶滅)

身体的特徴： 背甲長：最大 60cm

顕著な特徴：

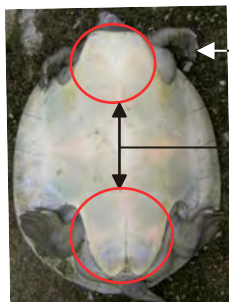
- 前あしに 4 本の爪
- 背甲の色は暗灰色から黒まで様々、雌は茶色の場合もある
- 頭部は黒灰色 (赤みはなし)



上向きの吻

ギザギザの顎

Credit: Mark Auliya/TSEA



前あしに
4 つの爪

腹甲の前部
と後部が狭
くなっている

Credit: Sabine Schoppe

腹甲



Credit: Mark Auliya/TSEA

背甲

Batagur (または *Callagur*) *borneoensis* カラグールガメ

他の呼称： Three-striped Batagur (英名)、Beluku [ベルク] (ボルネオ島のイバン語)、Tuntong Sungei [トゥントン・スンガイ] (マレーシア)、Biuku [ビウク]、Sulong [スロン]、Tuntong Semangka [トゥントウン・セマンカ] (インドネシア)、Kura-kura jidat merah [クラクラ・ジダ・メラ] (インドネシアの西カリマンタン州)、Tumtum [トゥムトゥム] (インドネシアの東カリマンタン州)

分布： ブルネイ、インドネシア、マレーシア、タイ

身体的特徴： 背甲長：最大 60cm

顕著な特徴：

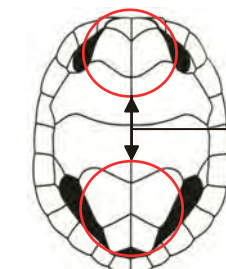
- 前あしに 5 本の爪
- 背甲の色は様々
- 頭部の色は様々



上向きの吻

ギザギザ
の顎

B. borneoensis カラグールガメの雌
Credit: Mark Auliya/TSEA



腹甲の前部
と後部が狭
くなっている

腹甲

Image Credit: Environment Canada

雌 (左側の写真参照)

頭部：オレンジがかった茶色

背甲：茶色、かすかに模様がみられる場合
もある

雄—非繁殖期



頭部：灰色にオレンジ
がかった茶色の縞

背甲：黒茶色、幅広い黒の 3 本線、縁甲板には
黒い模様がみられる場合もある



Credit: Mark Auliya/TSEA

雄—繁殖期



頭部：白、黒い縁取り
のある細長い赤い模様

背甲：乳白色、表面は
なめらか。非繁殖期の
雄と同様、黒い模様
〔取引形態〕の項の写
真参照)

B. borneoensis
カラグールガメの雄—繁殖期
Credit: Mark Auliya/TSEA

国際的な保全状況：^α

B. baska ヨツユビガメ：
CITES 附属書 I

B. borneoensis カラグールガメ：
CITES 附属書 II

IUCN : CR

「種の保存法」による指定状況：

Batagur affinis、*Batagur baska* ヨツ
ユビガメが国際希少野生動植物種

(2011 年 12 月時点)

取引形態：

卵、および生体がペット取引に



婚姻色の雄の *B. borneoensis* カラグールガメ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



Credit: TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Geoclemys hamiltonii - ハミルトンガメ

Black Pond Turtle

Geoemydidae インガメ科

他の呼称： Black Spotted Turtle、Hamilton's Terrapin、Spotted Pond Turtle (英名)

分布： バングラデシュ、インド、ネパール、パキスタン

身体的特徴： 背甲長：最大 39cm

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 I

IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



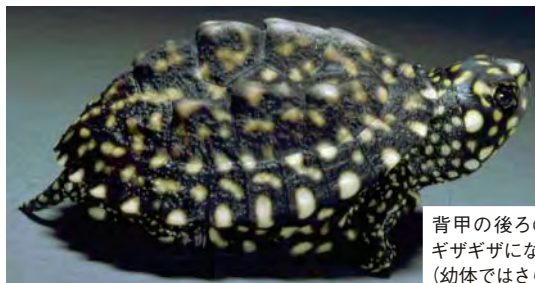
Credit: Peter Praschag

顕著な特徴：



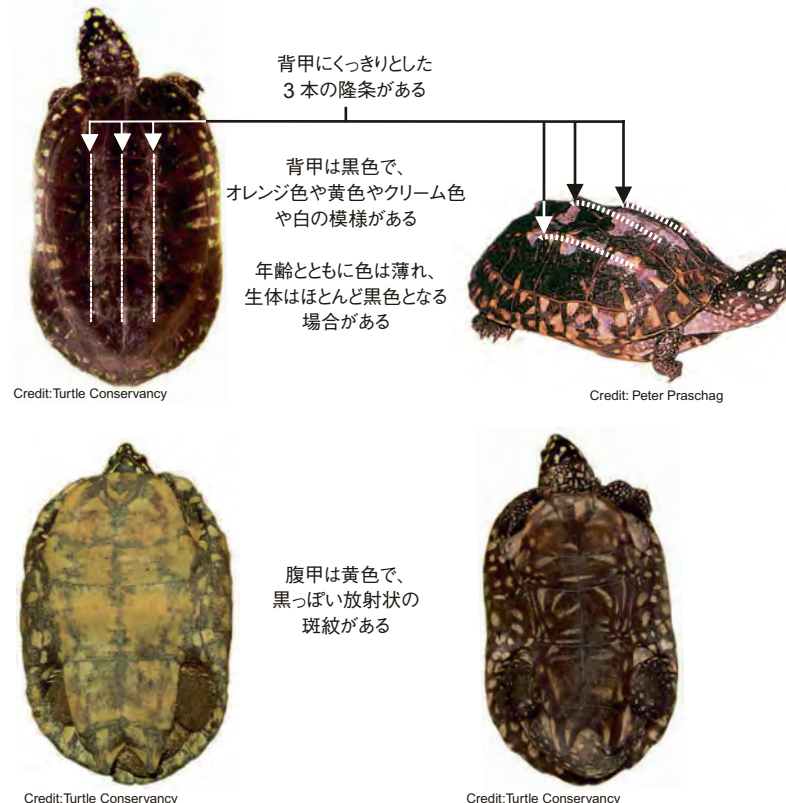
頭部は黒、目立つ黄色い斑点がある

Credit: Peter Paul van Dijk



背甲の後ろの部分ギザギザになっている (幼体ではさらに顕著)

Credit: Peter Paul van Dijk



Credit: Turtle Conservancy

Credit: Peter Praschag

Credit: Turtle Conservancy

Credit: Turtle Conservancy

取引形態：

生体がペット取引に

類似種：

Clemmys guttata
キボシイシガメ
CITES : 掲載なし
IUCN : VU



Credit: Olivier Caillabet

一背甲に黄色い斑点

一頭部には黄色い斑点はない

一背甲にギザギザはない

背甲長：8.9 - 13.6cm

分布：米国

Cuora spp. - アジアハコガメ属

Asian Box Turtle species

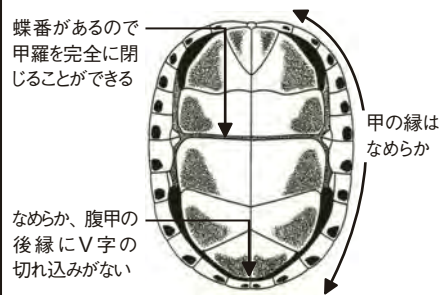
他の呼称：

分布： 南アジア、東南アジア

身体的特徴： 背甲長：最大 30cm

顕著な特徴：

- 腹甲に蝶番（ちょうつがい）
- *Cuora*（または *Pyxidea*）*mouhotii*を除き甲の縁はなめらか（ギザギザではない）
- 背甲は比較的高いドーム状
- 腹甲の後縁に V 字の切れ込みがない



腹甲
Cuora amboinensis
マレーハコガメ

比較的高いドーム状

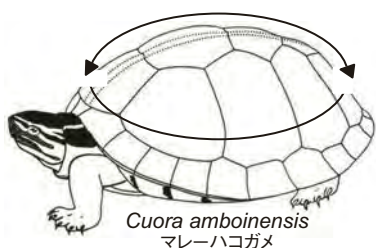


Image Source: Environment Canada

東南アジアでもっとも一般的に取引されている *Cuora* spp. アジアハコガメ属

Cuora amboinensis
マレーハコガメ
IUCN：VU

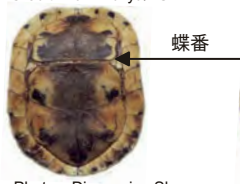


Credit: Mark Auliya/TSEA



Credit: Mark Auliya/TSEA

黒色の頭部に
3本の黄色い
線がある



Photos: Dinonyus Shama

甲長：22 - 25cm

分布：バングラデシュ、カンボジア、インド、
インドネシア、マレーシア、ミャンマー、
フィリピン、タイ、ベトナム

Cuora galbinifrons
モエギハコガメ
IUCN：CR



Credit: Mark Auliya/TSEA



Credit: Mark Auliya/TSEA

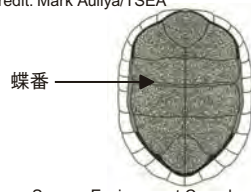
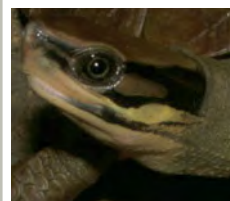


Image Source: Environment Canada

甲長：最大 19.8cm

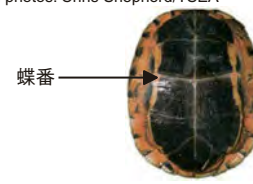
分布：カンボジア (?), 中国、ラオス、
ベトナム

Cuora trifasciata
ミスジハコガメ
IUCN：CR



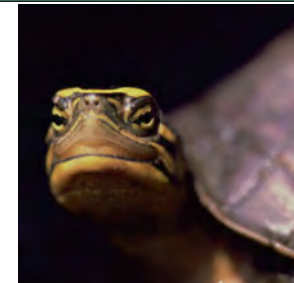
All photos: Chris Shepherd/TSEA

褐色を帯びた
頭部に3本の
黒い縞（幼体
にはない）



甲長：最大 20.3cm

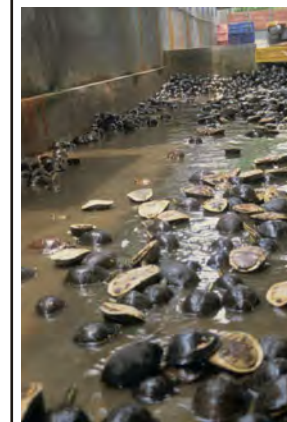
分布：中国、ラオス、ミャンマー (?),
ベトナム



Credit: Chris Shepherd/TSEA

取引形態：

生体を主に食肉用として（大量取引が多い）。ペット取引もおこなわれる。



C. amboinensis マレーハコガメ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



C. amboinensis マレーハコガメ
Credit: Mark Auliya/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Leucocephalon yuwonoi - シロアゴヤマガメ

Sulawesi Forest Turtle

Geoemydidae イシガメ科

他の呼称: Kura-kura daun [クラクラ・ダウン] (インドネシア)

分布: インドネシア

身体的特徴: 背甲長: 最大 25 - 28cm

国際的な保全状況:^α

CITES 附属書 II

IUCN : CR

「種の保存法」による指定状況: なし (2011 年 12 月時点)

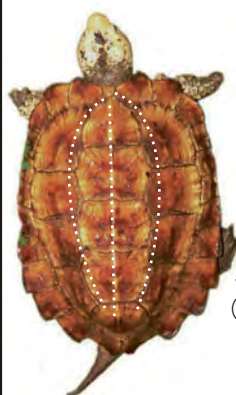


Credit: Ian Ives

取引形態: 肉、生体がペット取引に

顕著な特徴:

背甲



Credit: Mark Auliya/TRAFFIC

頭部に縞はない

3 条のよく発達した
キール (隆条)

背甲後部はギザギザ
(幼体ではさらに顕著)



Credit: Ian Ives

椎甲板 5 枚



Credit: Sabine Schoppe



Mark Auliya/TRAFFIC



Credit: Ian Ives



Credit: Sabine Schoppe

類似種:

Cyclemys dentata

ノコヘリマルガメ

CITES : 掲載なし

IUCN : NT



Mark Auliya/TRAFFIC

頭と首が黒っぽく、頭から首の付け根の側面にオレンジ色から薄い赤褐色の縞がある

背甲:

- 色は茶色から黒
- 1 条のキール (隆条) (老齢になると目立たなくなる)
- 椎甲板 5 枚

腹甲:

- 黄色または明るい褐色に、濃茶から黒の濃色の放射模様紋がある。

分布: バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国 (?), インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、シンガポール、タイ、ベトナム

Notochelys platynota

ムツイタガメ

CITES : 附属書 II

IUCN : VU



Credit: Sabine Schoppe

背甲:

- 緑褐色から黄褐色または赤褐色
- 平らだが、キール (隆条) が 1 条ある
- 椎甲板 6 枚

腹甲:

- 黄色からオレンジ色。どの甲板にも黒っぽい大きな模様があり、ほとんど黒色の個体もある。

分布: ブルネイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー (?), タイ、ベトナム

Platysternon megacephalum - オオアタマガメ

Big-headed Turtle

Platysternidae オオアタマガメ科

他の呼称：

分布：カンボジア、中国、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム

身体的特徴：背甲長：最大 20cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : EN

「種の保存法」による指定状況：なし（2011 年 12 月時点）



Credit: Peter Paul van Dijk

顕著な特徴：

非常に特徴のある淡水ガメ

頭：非常に大きく、甲羅に収まらない
1 枚の大きな鱗で覆われている

尾：背甲とほぼ同じくらいの長さ
大きな鱗で覆われている



成体



取引形態：生体をペット取引、食肉

類似種：特になし

幼体



幼体の腹甲はオレンジ色で、中央部に黒い模様



Orlitia borneensis - ボルネオカワガメ

Malaysian Giant Turtle

他の呼称： Bajuku [バジュク]、Biukuk [ビウクック] (インドネシア)、
Juku juku besar [ジュク・ジュク・ピサル]、
Baning dayak [バニン・ダヤク] (マレーシア)

分布： インドネシア、マレーシア

身体的特徴： 背甲長：最大 80cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

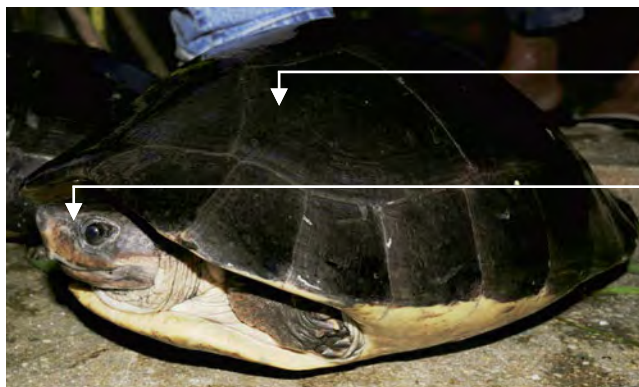
IUCN : EN

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Credit: Mark Auliya/TSEA

顕著な特徴：

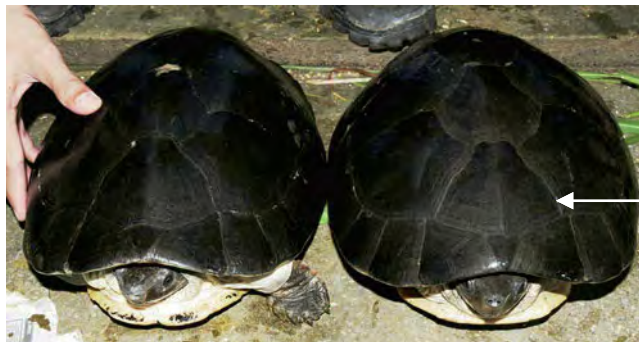


Credit: Mark Auliya/TSEA

背甲は灰色や
茶色、黒

頭部は茶色か黒

目の周囲に肥厚した鱗



Credit: Mark Auliya/TSEA



第1椎甲板は
上部が幅広で、
底部が狭い

Credit: Mark Auliya/TSEA

腹甲の後縁に鋭い切れ込み



Credit: Mark Auliya/TSEA

取引形態：

生体が食肉取引に (大量取引が多い)



Credit: Chris Shepherd/TSEA



Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Siebenrockiella leytenensis - フィリピンヤマガメ

Philippine Forest Turtle

Geoemydidae イシガメ科

他の呼称： レイテヤマガメ (日本)、Bakoko[バココ]、Bakuku[バクク] (フィリピン)、Philippine Pond Turtle、Leyte Pond Turtle、Necktie Turtle (英名)

分布： フィリピンのパラワン島およびドゥマラン島

身体的特徴： 背甲長：最大 30cm、体重：最大 3.5kg 以上

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : CR

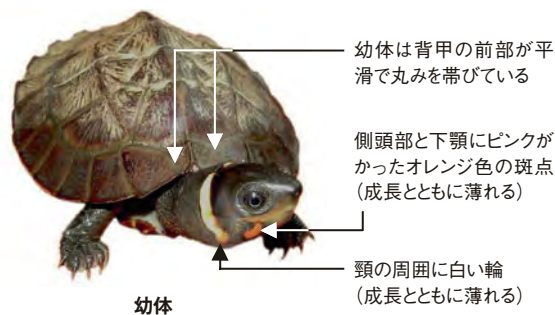
「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



取引形態：

生体がペット取引、食用、伝統薬に

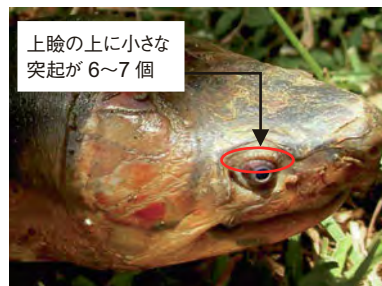
顕著な特徴：



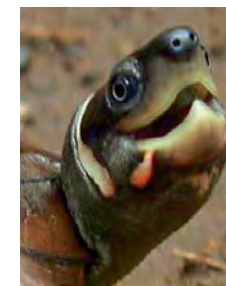
幼体



孵化したばかりの幼体



成体



幼体

上顎はわずかに
かぎ状になっている

大きな頭部

頭部の色は
成長とともに薄れる



成体

背甲

腹甲

色は黄色を帯びたものや淡褐色から
濃茶や黒で、線は 1 本もない



幼体

老齢の個体は、左右の第 1 縁甲板 2 枚が前方に突き出る

背甲の後縁はギザギザしている (老齢の雌は滑らか)



成体



幼体



成体

類似種：

Siebenrockiella crassicollis

ホオジロクロガメ

CITES 附属書 II

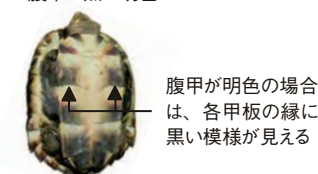
IUCN: VU



口の両端が上を向いているので「笑っている」ように見える

頭部と頸部は黒や灰色で、黄色または白の斑点がある (雄の成体ではわかりづらい)

腹甲は黒か明色



腹甲が明色の場合は、各甲板の縁に黒い模様が見える

分布： カンボジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ、ベトナム

身体的特徴： 背甲長：最大 20cm

Photo credit: Mark Auliya/TSEA

Trachemys scripta elegans - ミシシippアカミミガメ

Red-eared Slider

他の呼称： Kura-kura Telinga merah [クラクラ・テリंगा・メラ]、Kura-kura ninja [クラクラ・ニンジャ] (インドネシア)、Kura terlinga-merah [クラ・テリंगाメラ] (マレーシア)

分布： 米国
注：ブルネイ、インドネシア、マレーシア、バプアニューギニア、フィリピン、シンガポールほか、世界中の温帯・熱帯・亜熱帯の国々に人為移入。

身体的特徴： 背甲長：最大 30cm

国際的な保全状況：^α

CITES：掲載なし

IUCN：掲載なし

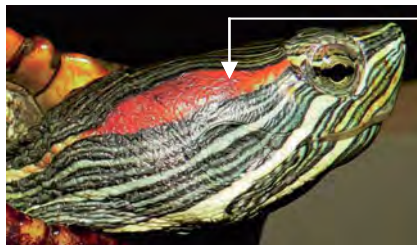
「種の保存法」による指定状況：なし

(2011年12月時点)



Credit: Mark Auliya

顕著な特徴：

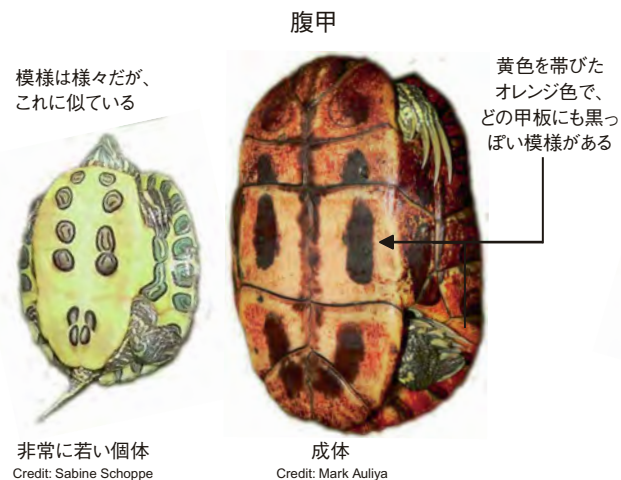


Credit: Mark Auliya

長い赤斑

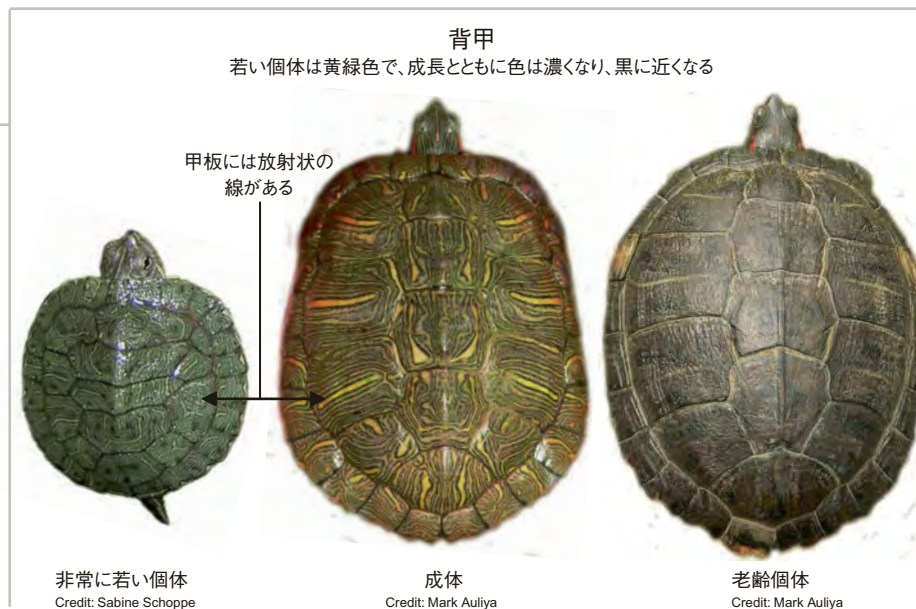
頭部は深緑色で、黄色の縞模様がある

- 一甲羅の色(背甲・腹甲ともに)は年齢によって様々
- 一頭部の配色は年齢によって変化しない
- 一目の後ろの側頭部の赤斑は常にある
- 一雄の成体には長い爪がある



非常に若い個体
Credit: Sabine Schoppe

成体
Credit: Mark Auliya



非常に若い個体
Credit: Sabine Schoppe

成体
Credit: Mark Auliya

老齢個体
Credit: Mark Auliya

取引形態：

生体が食肉およびペット取引に。ペット取引向けの個体は幼体で販売されることが多い。



Credit: Sabine Schoppe

注：

毎年、飼育繁殖させた何百万匹ものミシシippアカミミガメが合法的に取引されている。

密輸者は、書類にこの種を記載し、積荷には別の種のカメを入れる場合が多い。

Testudinidae spp. - リクガメ科

Tortoise species

他の呼称：

分布： アフリカ（マダガスカルを含む）、アメリカ大陸、ヨーロッパ、アジア

身体的特徴： 背甲長：10 - 135cm、体重：140g - 300kg

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I 掲載の以下の 8 種を除き、
すべて **CITES 附属書 II** * に掲載

Astrochelys (または *Geochelone*) *radiata* ホウシャガメ(マダガスカルホシガメ)

Astrochelys (または *Geochelone*) *yniphora* ヘサキリクガメ(イニホーラリクガメ)

Chelonoidis (または *Geochelone*) *nigra* ガラバゴスゾウガメ

Gopherus flavomarginatus メキシコゴファーガメ、*Psammobates geometricus* ホシヤブガメ

Pyxis arachnoides クモノスガメ、*Pyxis planicauda* ヒラオリクガメ

Testudo kleinmanni エジプトリクガメ

IUCN：もっとも絶滅のおそれの高いもので CR まで様々

「種の保存法」による指定状況：

CITES 附属書 I 掲載 8 種が国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Manouria impressa インプレッサムツアシガメ

Credit: Doug Hendrie

顕著な特徴：

背甲は硬く、ドーム型の
ものが多い

甲板の成長輪は、非常に鮮明で
明確に特定できる場合が多い

大きな切り株のような、
もしくは「ゾウのような」後あし



Credit: Mark Auliya/TSEA

ほとんどの種が、骨
質の甲羅に頸部と
四肢を完全に収納
できる

最大で体重 300kg
の巨体に成長する
種もある



Credit: Chris Shepherd/TSEA

注：

リクガメ科全種が陸上に
生息する。

生きた標本には飲用水と
して真水を与えなくてはな
らないが、溺れる可能性
があるため、水の中に置
いてはいけない。

* 注： *Geochelone sulcata* ケヅメリクガメは CITES 附属書 II に掲載。
野生から採取され、主として商業目的で取引される標本は、年間セロの
輸出割当が設定されている。

取引形態：

生体がペット取引および食肉に、また甲羅が医
薬品や装飾品に



カメの生体の押収

Credit: Hartmut JUNGIUS / WWF-Canon



楽器製造に使われるカメの甲羅

Credit: Hartmut JUNGIUS / WWF-Canon

類似種：淡水ガメおよびウミガメ

淡水ガメ



水かきのあるあし

Trachemys scripta elegans ミシシippアカミガメ
Credit: Mark Auliya/TSEA

ウミガメ



ひれ状のあし

Eretmochelys imbricata タイマイ
Credit: Cat HOLLOWAY / WWF-Canon

注：

淡水ガメおよびウミガメは
大半が水中で生活する。

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Astrochelys (または Geochelone) radiata - ホウシャガメ

Radiated Tortoise

他の呼称： マダガスカルホシガメ (日本)

分布： マダガスカル、モーリシャス島およびレユニオン島に移入

身体的特徴： 背甲長：最大 40cm

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 I

IUCN : CR

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



顕著な特徴：

星形の黒い放射模様が甲板の4分の1ほどに扇状に広がる



腹甲には黒い三角模様

取引形態：生体がペット取引に（若い個体の場合も多い）



ホウシャガメの甲羅の模様



ホウシャガメの甲羅の模様

類似種：

Geochelone elegans インドホシガメ

CITES 附属書 II

星形の黒い放射模様が全方向に広がっている

成体は各甲板の頂部の角が鋭い



背甲長：最大 38cm



腹甲

Geochelone platynota ビルマホシガメ

CITES 附属書 II

黒っぽい放射模様は他に比べると少なく、甲羅の地色は乳白色

星形の中心を結ぶ線はない



Credit: Mark Auliya/TSEA

背甲長：最大 26cm



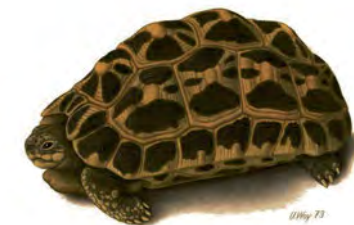
Credit: Jérôme Maran

腹甲

Pyxis arachnoides クモノスガメ

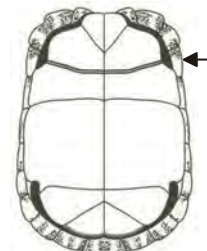
CITES 附属書 I

蝶番（ちょうつがい）を持つ個体もいる



Credit: WWF-Canon / Urs WOY

背甲長：最大 15cm



腹甲*

* Image Source: Environment Canada

All Photographs: Chris Shepherd/TSEA (別途記載されていない場合)

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Astrochelys yniphora* - ヘサキリクガメ

Ploughshare Tortoise

他の呼称： Angonoka [アングノカ] (マダガスカル)

*学名は *Angonoka yniphora* あるいは *Geochelone yniphora* と記載される場合もある

分布： マダガスカル

身体的特徴： 背甲長：最大 48cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

IUCN : CR

「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: WWF-Canon / Meg GALLER

顕著な特徴：

若い個体には角ばった模様がある。

甲板の中央部分はきれい（線や斑点がない）

老成の個体は色が薄くなる場合がある

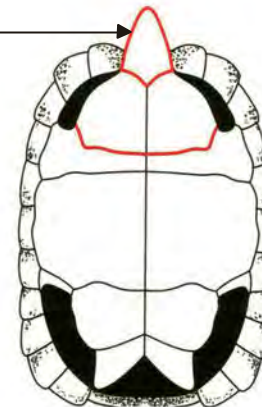


Credit: Kathrin Schmidt



Credit: WWF-Canon / Martin HARVEY

腹甲の喉甲板は大きく伸びて、上に向かって突き出ている——雄の成体で特に長い



* Image Source: Environment Canada

取引形態：生体(若い個体および成体)がペット取引に



取引され、押収されたヘサキリクガメの成体

Credit: Mark Auliya/TSEA

類似種：成体の場合は間違えようがないが、孵化したばかりや幼体では *Geochelone sulcata* ケヅメリクガメと似ている。

ケヅメリクガメの若い個体は：

—ドーム型の甲羅の膨らみが小さい

—色が薄い

—甲羅の外縁がギザギザしている



Credit: Mark Auliya/TSEA

Chelonoidis (または Geochelone) carbonaria - アカアシガメ

Red Footed Tortoise

Testudinidae リクガメ科

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

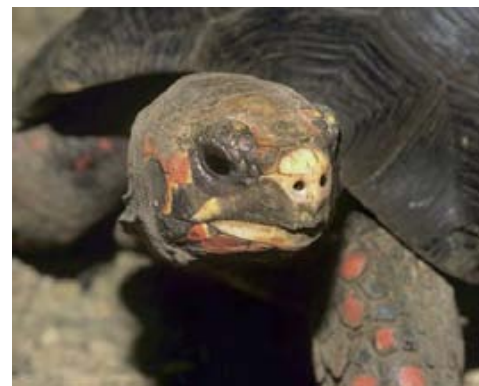
IUCN : 掲載なし

他の呼称 : South American Red-footed Tortoise、Cherry-headed Tortoise (英名)

分布 : アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、コロンビア、仏領ギアナ、パナマ、パラグアイ、ベネズエラ

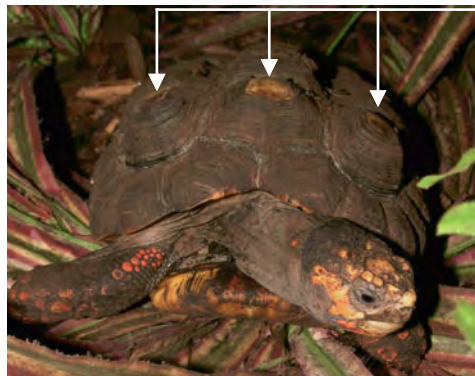
身体的特徴 : 背甲長 : 最大 51cm

「種の保存法」による指定状況 : なし (2011 年 12 月時点)



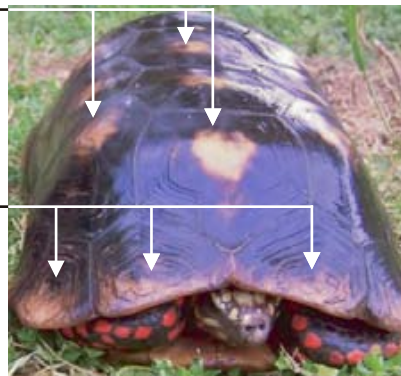
Credit: David Lawson/WWF-UK

顕著な特徴 :



*Credit: Deborah Bardowicks/Twycross Zoo

背甲は黒で、
各甲板の頂部に
黄色から赤みがかった
オレンジ色の模様がある



Credit: Matt Morris

背甲の
縁甲板の縁には、
黄色から赤みがかった
オレンジ色の模様がある

前あしの先は赤い大きな鱗で覆われている

頭部の前額板は分かれていない

頭部の鱗は黄色や赤、オレンジ色

取引形態 :

生体がペット取引に



Credit: Matt Morris

類似種 :

Geochelone denticulata

キアシガメ

CITES 附属書 II

IUCN : VU

背甲長 : 最大 82cm

分布 : ボリビア、コロンビア、エクアドル、
仏領ギアナ、ガイアナ、ペルー、
スリナム、トリニダード・トバゴ、
ベネズエラ



Credit: Matt Morris

背甲は茶色で、
各甲板の頂部に黄色から
オレンジ色の模様がある

背甲の縁甲板の縁には、
黄色からオレンジ色の
模様がある



Credit: Matt Morris

前あしの先は黄色やオレンジ色
の大きな鱗で覆われている

頭部の前額板は
2 つに分かれている

頭部の鱗は
黄色からオレンジ色



Credit: Matt Morris

^α Twycross Zoo's Red-footed Tortoise, photography by Deborah Bardowicks

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Geochelone elegans - インドホシガメ

Indian Star Tortoise

他の呼称：

分布： インド、パキスタン、スリランカ

身体的特徴： 背甲長：最大 38cm

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II

IUCN : LR

「種の保存法」による指定状況：なし（2011 年 12 月時点）



顕著な特徴：

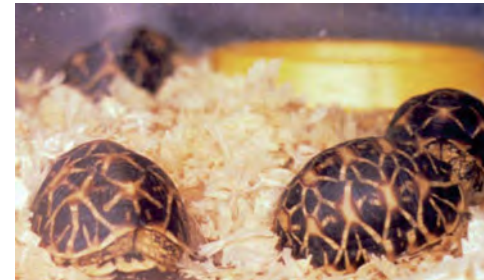
星形の黒い放射模様
模様が全方向に
広がっている

成体は各甲板
の頂部の角が
鋭い



腹甲

取引形態：生体がペット取引に（若い個体の場合も多い）



ペットショップに陳列されているインドホシガメの若い個体



インドホシガメの甲羅の模様

類似種：

Geochelone platynota

ビルマホシガメ

CITES 附属書 II

黒っぽい放射模様は他に
比べると少なく、甲羅の地
色は乳白色

各甲板の頂部は比較的
丸みを帯びている



Credit: Jérôme Maran
腹甲

星形の中心を
結ぶ線はない



Credit: Mark Auliya/TSEA

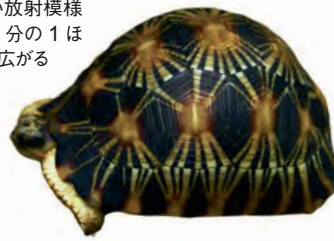
背甲長：最大 26cm

Astrochelys (または *Geochelone*) *radiata*

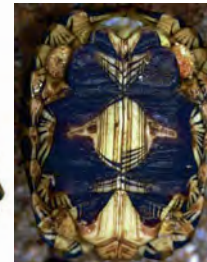
ホウシャガメ (マダガスカルホシガメ)

CITES 附属書 I

星形の黒い放射模様
が甲板の 4 分の 1 ほ
どに扇状に広がる



背甲長：最大 40cm



腹甲

Pyxis arachnoides

クモノスガメ

CITES 附属書 I



Credit: WWF-Canon / Urs WOY

背甲長：最大 15cm



腹甲*

蝶番（ちょう
つがい）を持
つ個体もある

^a Image Source: Environment Canada

All Photographs: Chris Shepherd/TSEA (別途記載されていない場合)

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Geochelone platynota - ビルマホシガメ

Burmese Star Tortoise

他の呼称：

分布： ミャンマー

身体的特徴： 背甲長：最大 26cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : CR

「種の保存法」による指定状況：なし
(2011 年 12 月時点)



Credit: James Compton/TSEA

顕著な特徴：

黒っぽい放射模様は
他に比べると少なく、
甲羅の地色は乳白色

甲板の頂部は比較的
丸みを帯びている



Credit: Mark Auliya/TSEA

星形の中心を
結ぶ線はない



Credit: Jérôme Maran
腹甲

取引形態：生体がペット取引に（若い個体の場合も多い）



ビルマホシガメの成体
Credit: James Compton/TSEA



ビルマホシガメの背甲の模様
Credit: James Compton/TSEA

類似種：

Geochelone elegans
インドホシガメ
CITES 附属書 II

星形の黒い放射模
様があらゆる方向に
広がっている

成体は各甲板の
頂部の角が鋭い



背甲長：最大 38cm



腹甲

Astrochelys (または Geochelone) radiata
ハウシャガメ (マダガスカルホシガメ)
CITES 附属書 I

星形の黒い放射
模様が甲板の 4
分の 1 ほどに扇
状に広がる



Credit: Chris Shepherd/TSEA

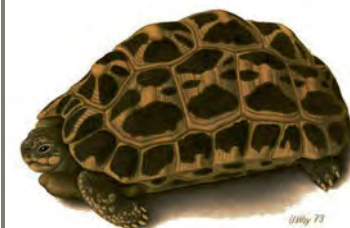
背甲長：最大 40cm



Credit: Chris Shepherd/TSEA
腹甲

Pyxis arachnoides
クモノスガメ
CITES 附属書 I

蝶番（ちょう
つがい）を持
つ個体もある



Credit: WWF-Canon / Urs WOY

背甲長：最大 15cm



腹甲*

Geochelone (または Stigmochelys) pardalis - ヒョウモンガメ

Leopard Tortoise

他の呼称：

分布： アンゴラ、ボツワナ、エチオピア、ケニア、レソト、マラウイ、モザンビーク、ナミビア、ソマリア、南アフリカ、スーダン、スワジランド、タンザニア、ウガンダ、コンゴ民主共和国、ザンビア、ジンバブエ

身体的特徴： 背甲長：最大 70cm、体重：20kg

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

「種の保存法」による指定状況：なし

(2011 年 12 月時点)



Credit: WWF-Canon / Michel TERRETAZ

顕著な特徴：

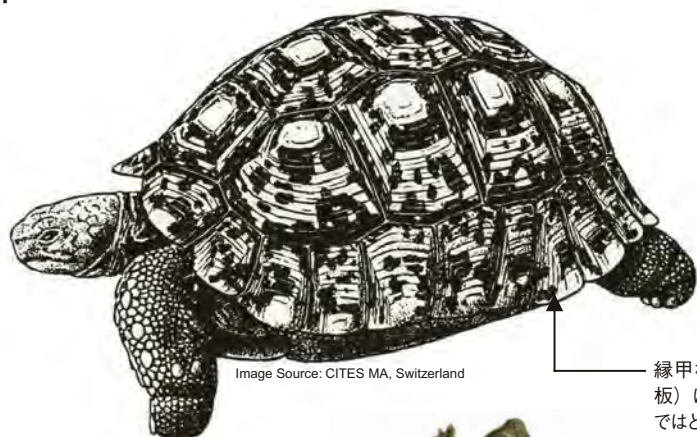
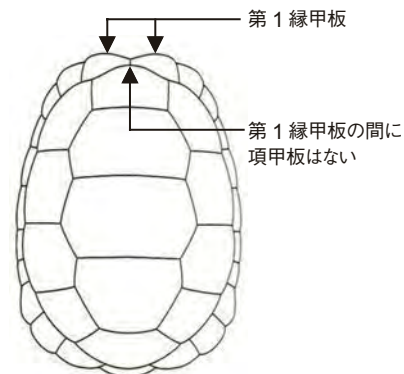


Image Source: CITES MA, Switzerland

縁甲板（外縁を囲む甲板）に黒斑。若い個体ではとりわけはっきりと確認できる



背甲

Image Source: CITES MA, Switzerland

一甲羅の地色は薄いクリーム色か黄色で、黒い斑点や模様がある

一甲羅の模様は原産地域によって様々

一甲羅全体に模様があるものもいれば、一部だけのものもある

一模様は成長とともに薄くなる



取引形態：生体がペット取引に



ヒョウモンガメの押収

Credit: WWF-Canon / Wil LUIJF

Geochelone (または Centrochelys) sulcata - ケヅメリクガメ

African Spurred Tortoise

Testudinidae リクガメ科

他の呼称: Grooved Tortoise (英名)

分布: チャド、エジプト、エリトリア、エチオピア、マリ、モーリタニア、ニジェール、ナイジェリア、セネガル、ソマリア、スーダン

身体的特徴: 背甲長: 最大 83cm、体重: 最大約 100kg

国際的な保全状況:^α

CITES 附属書 II: 年間ゼロの輸出割当: 商業目的で野生の状態では採取されるケヅメリクガメの国際取引は認められていない。

IUCN: VU

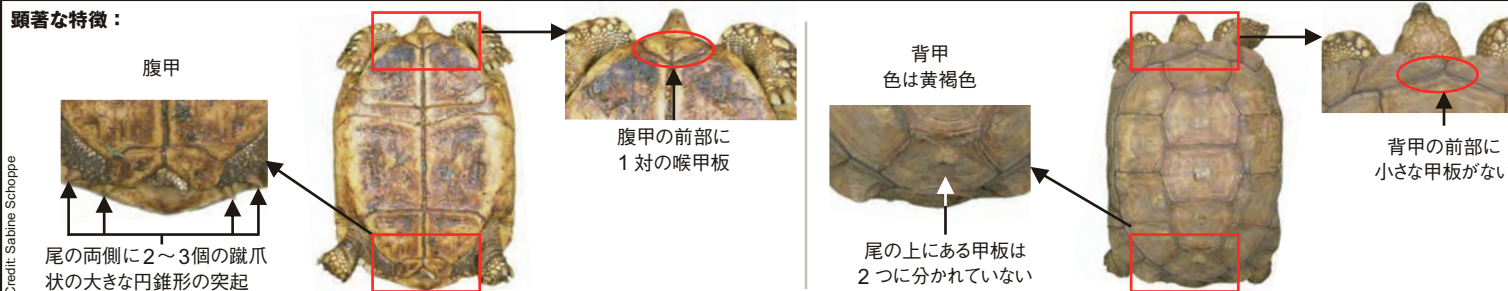
「種の保存法」による指定状況: なし (2011 年 12 月時点)



Credit: Turtle Conservancy

取引形態:
生体がペット取引に

顕著な特徴:



若い個体

- 一甲羅は緩やかなドーム型
- 一色は薄い
- 一甲羅の外縁がギザギザしている



Credit: Mark Auliya/TSEA

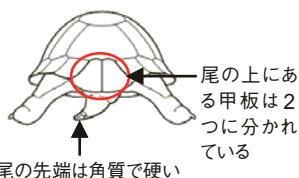
類似種:

Testudo hermanni
ヘルマンリクガメ

CITES 附属書 II
IUCN: NT



Credit: www.chelonaphile.com



背甲長: 最大 20cm

分布: ヨーロッパ

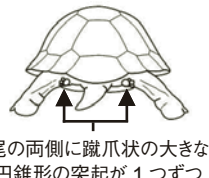
Image credit: UK Border Agency

Testudo graeca
ギリシャリクガメ

CITES 附属書 II
IUCN: VU



Credit: WWF-Canon/Michel Gunther



背甲長: 最大 40cm

分布: ヨーロッパ、中東

Image credit: UK Border Agency

Testudo kleinmanni
エジプトリクガメ

CITES 附属書 I
IUCN: CR



Credit: H. Zwartepoorte, Rotterdam Zoo



背甲長: 最大 14.4cm

分布: エジプト(?), リビア

Credit: Turtle Conservancy

Testudo horsfieldii
ヨツユビリクガメ

CITES 附属書 II
IUCN: VU



Credit: Peter Paul van Dijk



背甲長: 最大 22cm

分布: 東ヨーロッパ、東アジア、北アジア、南アジア

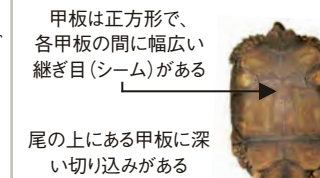
Credit: Peter Paul van Dijk

Manouria emys
エミスムツアシガメ

CITES 附属書 II
IUCN: EN



Credit: Sabine Schoppe



背甲長: 最大 60cm

分布: バングラデシュ、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム

Credit: Mark Auliya/TSEA

若い個体の類似種
Astrochelys yniphora
ヘサギリクガメ

CITES 附属書 I
IUCN: CR



Credit: Chris R Shepherd/TSEA

腹甲の前面の喉甲板はひとつ

分布: マダガスカル

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Indotestudo elongata - エロンガータリクガメ

Yellow-headed Tortoise

Testudinidae リクガメ科

他の呼称: Elongated Tortoise、Pineapple Tortoise (英名)、Banding Lontong [バンディング・ロントング]、Kura-kura Mas [クラクラ・マス] (マレーシア)

分布: バングラデシュ、カンボジア、インド、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、タイ、ベトナム

身体的特徴: 背甲長: 最大 36cm

国際的な保全状況:^α

CITES 附属書 II

IUCN : EN

「種の保存法」による指定状況: なし

(2011 年 12 月時点)

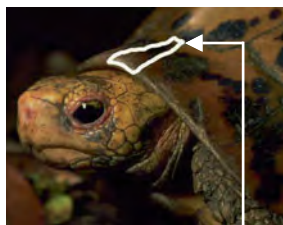


Credit: : Indraneil Das

取引形態: 肉、生体がペット取引に

顕著な特徴:

横から見て一番高いのは、第 3 椎甲板



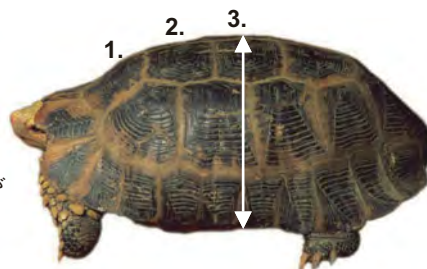
黄色い頭

雄は繁殖期に目と鼻孔の周りがピンク色を帯びる

背甲

ほとんどの個体の背甲の前部中央の項甲板は、小さく細長い。

模様は様々。地色はオレンジ色またはオレンジから緑がかった色。不規則な黒い模様がある場合もある。



腹甲



若い個体は識別が難しい



幼体

Credit: Sabine Schoppe

Credit: Sabine Schoppe

All *Indotestudo elongata* images are credited to: Peter Paul van Dijk (別途記載のものを除く)

類似種:

Indotestudo forstenii
セレベスリクガメ

CITES: 附属書 II

IUCN : EN

分布: インドネシアのスラウェシ島



背甲

項甲板がない個体がほとんどで、ある場合はくさび形で短い

横から見て一番高いのは、第 3 椎甲板

レモン色で、各甲板の中央に黒い大きな四角模様



腹甲

濃い黒い模様。この模様が不明瞭であったり断片化していることはない。

All *Indotestudo forstenii* images are credited to: Ian Ives

Indotestudo travancorica
トラバンコアリクガメ

CITES: 附属書 II

IUCN : VU

分布: インド



横から見て一番高いのは、第 2 椎甲板 (甲羅が変形していない場合)。幼体では第 3 椎甲板である場合もある

項甲板がない個体がほとんど



トラバンコアリクガメの幼体

Credit: Indraneil Das

Credit: S.U. Saravana Kumar

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Malacochersus tornieri - パンケーキリクガメ

Pancake Tortoise

他の呼称：

分布： ケニア、タンザニア、ジンバブエ

身体的特徴： 背甲長：18cm

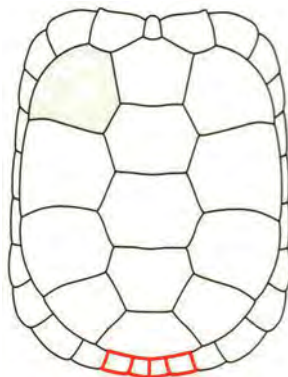
顕著な特徴：

甲羅は平ら（厚さは大型の個体でも6cmほどしかない）

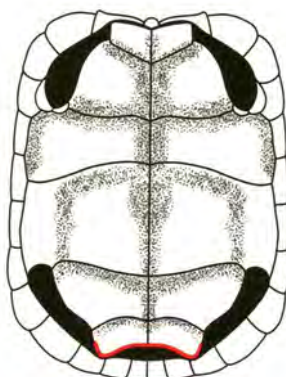
背甲に星形模様（常を確認できるが、わかりづらい個体もある）

上から見ると甲羅の形はほぼ四角形

甲羅の外縁は背甲および腹甲ともかなり硬いが、**中央部は触ると柔らかい**



背甲



腹甲

Image Source: Environment Canada

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況：なし
(2011年12月時点)



Credit: Fabian Schmidt

取引形態：生体がペット取引に



ペットショップで販売されるパンケーキリクガメ

Credit: Mark Auliya/TSEA

Manouria emys - エミスムツアシガメ

Asian Brown Tortoise

他の呼称： Baning perang[バニン・ペラン]、Kura-kura anam kaki[クラクラ・アナム・カキ] (マレーシア)、Kadazandusun[カダザンドゥスン]、Suyan[スヤン] (マレーシア、サバ州)、Baning coklat[バニン・コクラト] (インドネシア)

分布： バングラデシュ、インド、インドネシア (スマトラ島およびカリマンタン島)、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム

身体的特徴： 背甲長：最大 60cm、体重：最大 30kg

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : EN

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Credit: Chris Shepherd/TSEA

顕著な特徴：

アジアのリクガメ類の中で最大

背甲と腹甲は同色で、灰色や茶色、黒

頭部は茶色か黒

雄は後あしに突起がある



Credit: Chris Shepherd/TSEA

Manouria emys エミスムツアシガメには 2 つの亜種がいる：

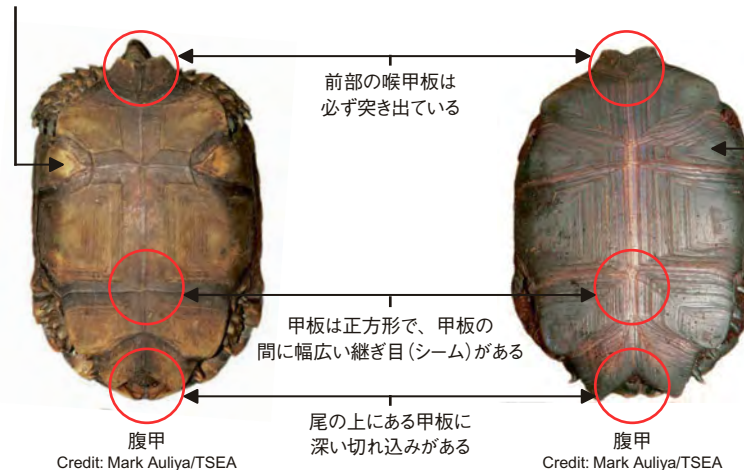
Manouria emys emys スマトラムツアシガメは、スマトラ島およびカリマンタン島 (インドネシア)、マレーシア、タイ南部に生息

Manouria emys phayrei ビルマムツアシガメは、バングラデシュ、インド、ミャンマー、タイ中西部に生息

これら 2 亜種の外見は若干異なるが、2 亜種とも CITES 附属書 II に掲載

M. e. emys スマトラムツアシガメ
前あしの真裏にある
1 対の甲板は中央で接していない

M. e. phayrei ビルマムツアシガメ
前あしの真裏にある
1 対の甲板は中央で接している



腹甲
Credit: Mark Auliya/TSEA

腹甲
Credit: Mark Auliya/TSEA

類似種：

Manouria impressa
インブレッサムツアシガメ
CITES 附属書 II

背甲長：最大 31cm

上部と側面の甲板は内側に湾曲している

背甲の外縁はギザギザでそり上っている



Credit: Douglas B. Hendrie

分布：ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム

取引形態：

生体が食肉用およびペット取引に



Credit: Chris Shepherd/TSEA



Credit: Mark Auliya/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Manouria impressa - インプレッサムツアシガメ

Impressed Tortoise

他の呼称： Banning bukit [バニン・ブキト] (マレーシア)、Baning Asia [バニン・アジア] (インドネシア)

分布： ラオス、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム

身体的特徴： 背甲長：最大 31cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : VU

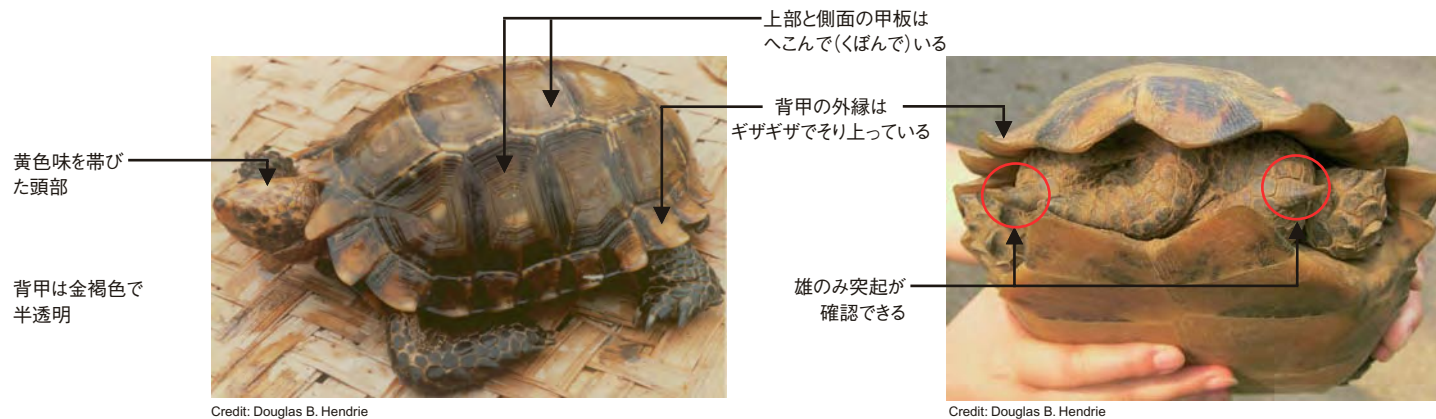
「種の保存法」による指定状況：なし

(2011 年 12 月時点)



Credit: Douglas B. Hendrie

顕著な特徴：



Credit: Douglas B. Hendrie

Credit: Douglas B. Hendrie

取引形態：生体が食肉用およびペット取引に



Credit: ENV/R

類似種：

Manouria emys
エミスツアシガメ
CITES 附属書 II

アジアのリクガメ類の中で最大 (最大 60cm)

頭部は茶色か黒

背甲と腹甲は灰色や茶色、黒

上部と側面の甲板は内側に湾曲していない

背甲の外縁にギザギザやぞり上りはない



Credit: Chris Shepherd/TSEA

分布：バングラデシュ、インド、インドネシア (スマトラ島およびカリマンタン島)、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナム

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Amyda cartilaginea - インドシナオオスッポン

Asiatic Softshell Turtle

他の呼称： Labi labi [ラビ・ラビ]、Labi labi super [ラビ・ラビ・スーパー]、
Kuaya emas [クアヤ・エマス] (インドネシア)

分布： ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、
シンガポール、タイ、ベトナム

身体的特徴： 背甲長：最大 100cm

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II

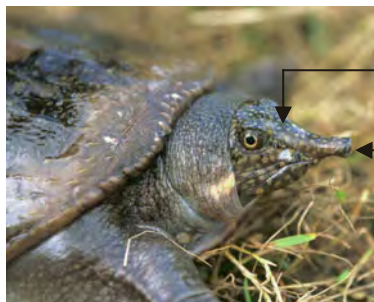
IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Amyda cartilaginea インドシナオオスッポン
Credit: Mark Auliya

顕著な特徴：



Credit: Mark Auliya

頭部と頸部に黄色の斑点

鼻はゾウの鼻に似ており、非常にまっすぐ伸びている



Credit: Mark Auliya

背甲は丸い

背甲の前縁には複数の小さな突起(粒状鱗)があり、でこぼこしている



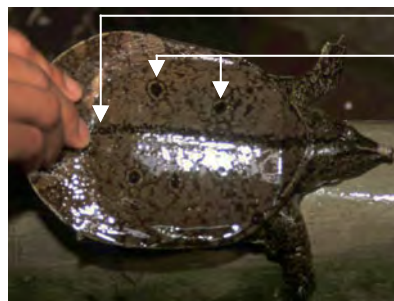
類似種： *Dogania subplana* ヒラタスッポン

IUCN : LR



Credit: Pauli Hien

鼻はゾウの鼻に似ており、下を向いている



Credit: Chris Shepherd/TSEA

背甲は平らで、かなり滑らか

背甲の中心に沿って黒っぽい線

その両側に黒っぽい環状のものが 2~3 個ある (細い線で囲まれているものもある)



Credit: Mark Auliya

背甲の前縁は滑らかで、でこぼこしていない

取引形態：生体が食肉取引に



取引される *Amyda cartilaginea* インドシナオオスッポン
Credit: Chris Shepherd/TSEA



輸送前の *Amyda cartilaginea* インドシナオオスッポン (甲羅の損傷に注意)
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Chitra spp - コガシラスッポン属

Narrow-headed Softshell Turtles

Trionychidae スッポン科

他の呼称: Labi-labi bintang [ラビラビ・ビンタン] (インドネシア)、Manlai [マンライ] (マレーシア)

分布: バングラデシュ、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、タイ

身体的特徴: 背甲長: 最大 183cm

国際的な保全状況:^α

コガシラスッポン属全種が **CITES 附属書 II**

IUCN: CR - EN

「種の保存法」による指定状況: なし

(2011 年 12 月時点)



孵化したての *Chitra chitra* スジクビコガシラスッポン(タイ)

Credit: Peter Paul van Dijk

顕著な特徴:

甲羅が皮で覆われている

成体の背甲は平らでまろく、滑らか

腹甲は、クリーム色からピンクがかった白

頭部は細長く、非常に扁平

両眼の間の距離は、眼窩の幅より短い

C. vandijki
ビルマコガシラスッポン
Credit: Jonathan Murray



Chitra chitra
スジクビコガシラスッポン(タイ)
Credit: Peter Paul van Dijk

コガシラスッポン属の 3 種:

Chitra chitra スジクビコガシラスッポン

IUCN: CR

全身の色: 緑色を帯びた黄色からオリーブグリーン。インドネシアのジャワ島の個体は黒。
分布: インドネシア、マレーシア、タイ

Chitra vandijki ビルマコガシラスッポン

IUCN: 掲載なし

全身の色: チョコレート色
分布: ミャンマー

Chitra indica インドコガシラスッポン

IUCN: EN

色彩: 背甲は暗灰色からオリーブ色と濃いオリーブグリーン。幼体の背甲には 4 つの眼状紋が見られることがある。
分布: バングラデシュ、インド、ネパール、パキスタン



Chitra chitra
スジクビコガシラスッポン
(インドネシアのジャワ島)

Credit: Jonathan Murray



Credit: Peter Paul van Dijk

取引形態: 肉

類似種:

Pelochelys spp.
マルスッポン属



Credit: Arthur Georges

色と模様は様々で、模様のない場合もある

背甲長は最大 150cm

両眼の間の距離は、眼窩の幅より長い

頭は短く幅広



Credit: Sabine Schoppe

分布: オーストラリア、バングラデシュ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、バブアニューギニア、フィリピン、タイ、ベトナム

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Pelochelys spp. - マルスッポン属

Giant Softshell Turtles

Trionychidae スッポン科

他の呼称: Labi-labi raksasa [ラビラビ・ラクササ] (インドネシア)、Antipa [アンティパ] (フィリピン)

分布: オーストラリア (?), バングラデシュ、カンボジア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、パプアニューギニア、フィリピン、タイ、ベトナム

身体的特徴: 背甲長: 最大 150cm

国際的な保全状況^α:

マルスッポン属全種が **CITES 附属書 II**

IUCN: EN - VU

「種の保存法」による指定状況: なし

(2011 年 12 月時点)



Credit: Sabine Schoppe

顕著な特徴:

- 甲羅が皮で覆われている
- 成体の背甲は平らでまろく、滑らか
- 腹甲は乳白色
- 頭は短く幅広
- 両眼の間の距離は、眼窩の幅より長い



P. cantorii
カントールマルスッポン
Credit: Sabine Schoppe



P. bibroni
ハナマルスッポン
Credit: Arthur Georges

マルスッポン属の 3 種

Pelochelys cantorii カントールマルスッポン (マルスッポン)

IUCN: EN

色彩: 背甲は茶色で、はっきりとした模様はない

分布: バングラデシュ、カンボジア、中国、インド、インドネシア (スマトラ島、カリマンタン島、スラウェシ島)、ラオス、マレーシア、ミャンマー、パプアニューギニア、フィリピン、タイ、ベトナム

Pelochelys bibroni ハナマルスッポン (ハナガラマルスッポン)

IUCN: VU

色彩: 背甲の模様は *Chitra chitra* スジクビコガシラスッポンと似ているが、太い茶色の線が後頸部から背甲の中央まで伸びている (上写真参照)。

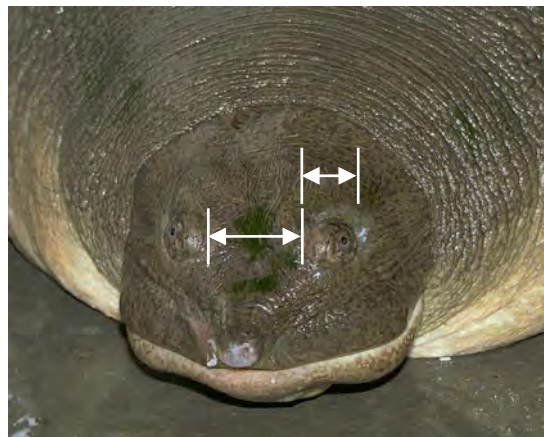
分布: インドネシア (ニューギニア島)、パプアニューギニア、オーストラリア (?)

Pelochelys signifera ゴマダラマルスッポン

IUCN: 掲載なし

色彩: 背甲長 55cm、緑色がかった褐色で、模様はない

分布: インドネシア (ニューギニア島)、パプアニューギニア



P. cantorii カントールマルスッポン
Credit: Sabine Schoppe



P. cantorii カントールマルスッポン
Credit: Sabine Schoppe

取引形態: 肉

類似種:

Chitra spp.
コガシラスッポン属



Credit: Jonathan Murray

色と模様は様々
両眼の間の距離は、眼窩の幅より短い



Credit: Jonathan Murray

頭は細長い

分布: バングラデシュ、インド、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、タイ

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Pelodiscus sinensis - スッポン

Chinese Softshell Turtle

他の呼称： ニホンスッポン、チュウゴクスッポン（日本）、Labi China[ラビ・チナ]（マレーシア）、Labi labi Cina[ラビ・ラビ・チナ]（インドネシア）

分布： 中国、日本、台湾、ベトナム
大量に飼育繁殖されている

身体的特徴： 背甲長：25 - 35cm

国際的な保全状況：^α

CITES 掲載なし

IUCN : VU

「種の保存法」による指定状況：なし（2011年12月時点）



Credit: Bui Dang Phong

顕著な特徴：

一色は個体によって大きく異なる（緑、褐色を帯びた灰色）

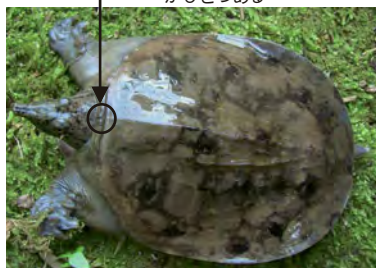
一背甲に黒い模様が入っている場合がある

一多くのスッポン類と比べて鼻が長い

一背甲に溝があることが多い



Credit: Mark Auliya/TSEA

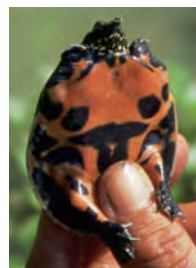


背甲の前縁に、くっきりとした突起
がひとつある

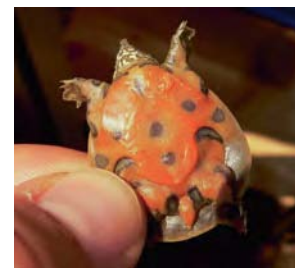
Credit: Bui Dang Phong



Credit: TSEA



Credit: TSEA



Credit: Mark Auliya/TSEA

孵化したばかりの幼体：赤／オレンジ色（黄色や白の場合も）だが、後あしと腹甲に必ず黒斑がある。赤色は成長とともに薄れる。

注：模様は個体によって異なる

取引形態：

生体がペット取引および食肉取引に



ペットショップで販売される孵化したばかりの幼体
Credit: Chris Shepherd/TSEA

類似種：

Amyda cartilaginea インドシナオオスッポン

CITES 附属書 II

IUCN : VU

一頭部と頸部に黄色の斑点

一まっすぐ長い鼻

一背甲の前縁にくっきりとした突起が
いくつもありでこぼこしている



Credit: Mark Auliya/TSEA

Dogania subplana ヒラタスッポン

CITES 掲載なし

IUCN : LR

一背甲の中央に黒線

一背甲の前縁は滑らか

一下向きの長い鼻



Credit: Mark Auliya/TSEA



食肉市場で
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Dyscophus antongilii - アカトマトガエル (アントンギルガエル)

Tomato Frog

他の呼称： Northern Tomato Frog

分布： マダガスカル

身体的特徴： 体長：6 - 10.5cm

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I

IUCN : NT

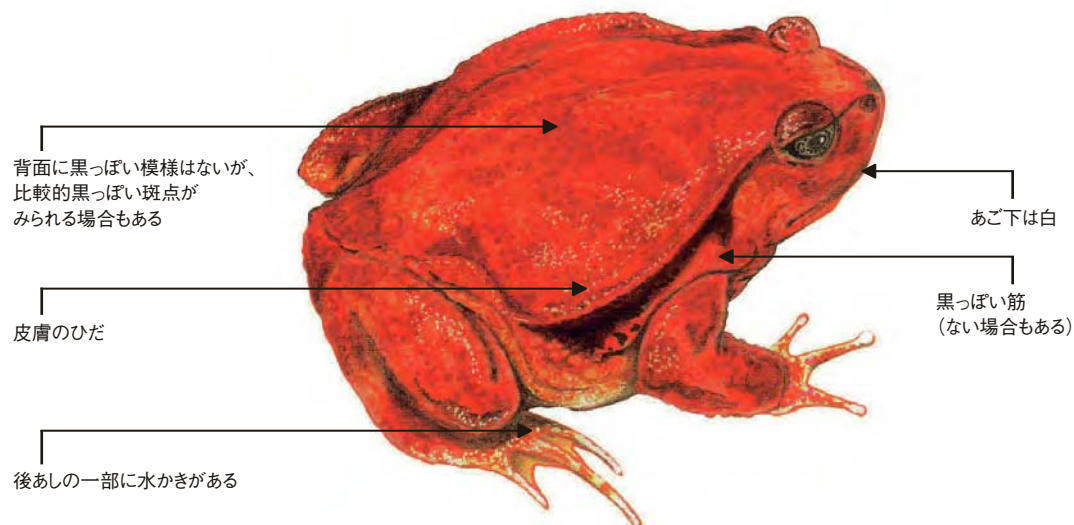
「種の保存法」による指定状況：

国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



Credit: Mark Auliya/TSEA

顕著な特徴：



色は様々だが、常に *Dyscophus guineti* サビトマトガエルよりも赤みが強い

Image Source: Environment Canada

類似種：

Dyscophus guineti
サビトマトガエル
CITES掲載なし

体長：6.4 - 10cm



色は様々だが、*D. antongilii* アカトマトガエルよりも赤みが薄い

Image Source: Environment Canada



Credit: R. Isotti, A. Cambone - Homo ambiens / WWF-Canon

取引形態：
生体がペット取引に

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Scleropages formosus - アジアアロワナ

Asian Arowana

他の呼称： Ikan Kelisa [イカン・クリサ] (マレーシア)、Ikan Kelesar [イカン・クルサル] (インドネシア語)、Jinglongyu [ジンロンユー] (中国語・漢語ピン音)、Trey tapawt [トレイ・タパウト] (クメール語)

分布： カンボジア、インドネシア (バンカ島、スマトラ島、カリマンタン島)、ラオス、マレーシア (サラワク州を含む)、ミャンマー、タイ、ベトナム

身体的特徴： 成魚の全長：最大 100cm だが、もっともよくみられるのは 50 - 60cm

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 I

飼育繁殖させた個体は、以下に該当する場合のみ取引可能。

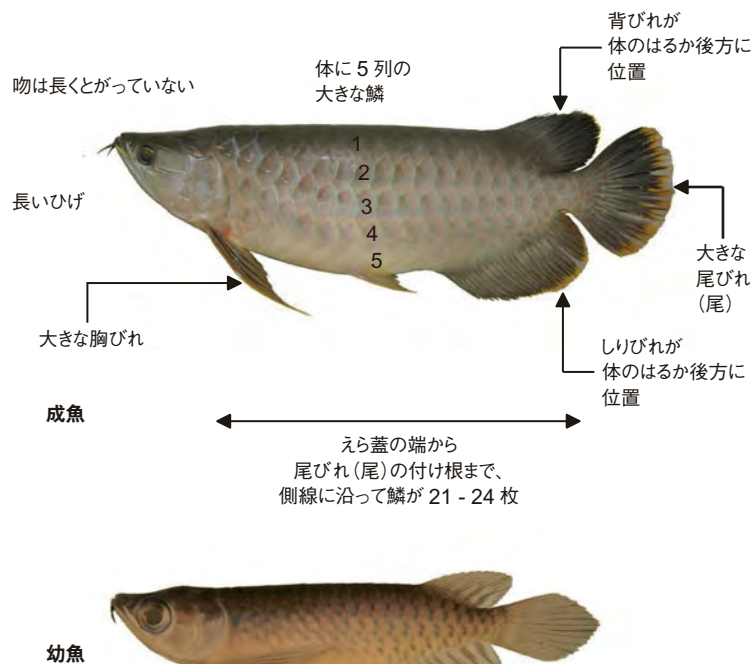
1. 繁殖業者が CITES 当局に登録されている。
2. 該当個体にマイクロチップが埋め込まれている。
3. 該当個体が F2 (飼育繁殖させた第 2 世代) あるいはそれ以降の繁殖世代である。

IUCN : EN

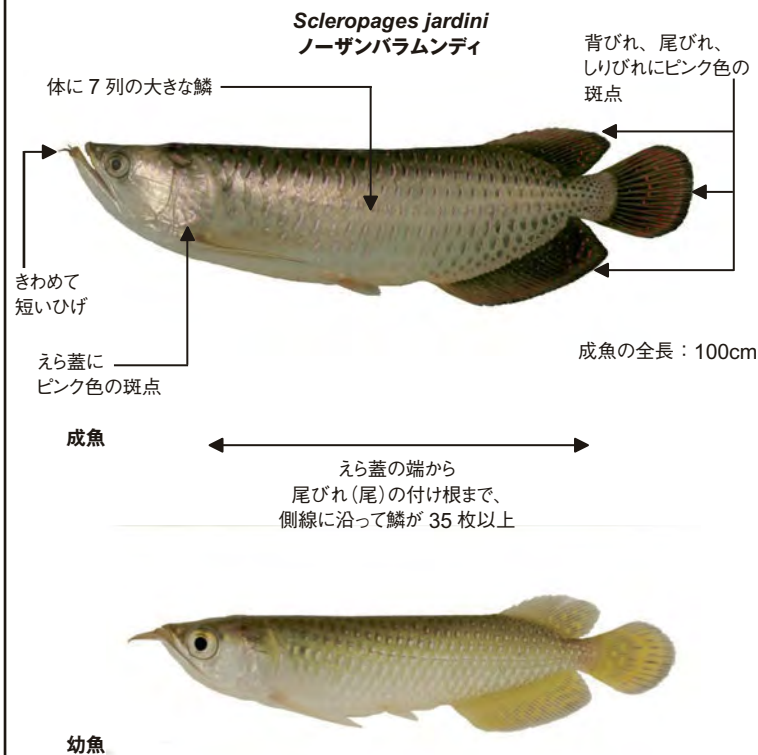
「種の保存法」による指定状況： 国際希少野生動植物種 (2011 年 12 月時点)



顕著な特徴：



類似種：



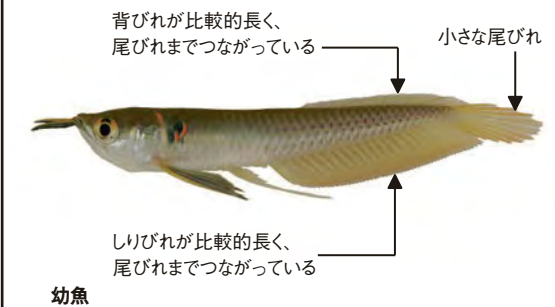
取引形態： 生体を観賞用に取引 (幼魚の取引が多い)



Credit: Australia Customs

類似種：

Osteoglossum bicirrhosum シルバーアロワナ



Cheilinus undulatus - メガネモチノウオ

Humphead Wrasse

他の呼称： ナポレオンフィッシュ（日本）、mameng[マメン]、Licin[リチン]、Langkawit[ランカウィット]（マレーシア）、So-mej[ソウメイ]（中国語）

分布： インド洋：東部および西部
太平洋：中東部、北西部、中西部

身体的特徴： 全長：最大 229cm、体重：191kg

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN : EN

「種の保存法」による指定状況：なし
(2011 年 12 月時点)



Credit: WWF-Canon / WWF / Hong Kong Cindy Cheng

顕著な特徴：

尾びれの縁が
鮮やかな黄色で
あることが多い



Credit: WWF-Canon / Frédéric MONNOT

この幼魚を見て分かる通り、体の色
や形は成長とともに変化する



Credit: WWF-Canon / John E. RANDALL

すべての個体に、目を貫く
くっきりとした線がある



Credit: Debbie Ng



Credit: Debbie Ng

類似種：

Cheilinus chlorourus アカテンモチノウオ

- 目にくっきりとした線がなく、尾びれの縁も鮮やかな黄色ではない。
- 白斑が並んでいる。

Cheilinus trilobatus ミツバモチノウオ

- 目にくっきりとした線がなく、尾びれの縁も鮮やかな黄色ではない。
- ピンク色の斑点や筋がある。

取引形態： 生体を観賞用に、またはレストラン産業のために取引
通常丸ごと輸送される。
一般的な取引時の重さ：0.5 - 1.0kg、大きさ：30 - 40cm。
若い魚はこの大きさに達するまで養殖池で飼育されていることがある。



メガネモチノウオを捕獲する罟
Credit: Debbie Ng



輸送を待つメガネモチノウオ
Credit: Julia Ng / TSEA



メガネモチノウオの輸送
Credit: Debbie Ng



レストランの生け簀で見られるメガネモチノウオ ●
Credit: WWF-Canon / Michèle DUPRÁZ

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Hippocampus spp. - タツノオトシゴ属

Seahorse

他の呼称：

分布： 温帯および熱帯の沿岸海域（北緯約 50 度から南緯約 50 度まで）

身体的特徴： 全長 2cm から最大 35cm まで様々

顕著な特徴：

馬のような
形の頭



Credit: Ocean Park Hong Kong

巻き付くこと
ができる尾

類似種：
ヨウジウオ類



— 細長い体（長くまっすぐに伸ばしたタツノオトシゴに見える）
— 巻き付くことはできない尾（丸くなることはある）

シードラゴン類



— 複雑な葉状の突起（皮弁）が常時みられる（量や外観は種によって異なる）
— 体高が高く（背中から腹までの間隔が大きく）、左右方向に平たい体

Photo Credits: Ocean Park Hong Kong

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 II

IUCN：もっとも絶滅のおそれのあるもので EN まで様々

「種の保存法」による指定状況：なし（2011 年 12 月時点）



Credit: Ocean Park Hong Kong

取引形態：乾燥させて伝統薬や土産物として、または生体を観賞用に取引



陳列された乾燥させたタツノオトシゴ
Credit: Chris Shepherd/TSEA



乾燥させたタツノオトシゴ
Credit: WWF-Canon / John E. Newby



乾燥させたタツノオトシゴ
Credit: TRAFFIC SEA



陳列された乾燥させたタツノオトシゴ
Credit: TRAFFIC SEA

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Tridacnidae spp. - シャコガイ科

Giant Clam

他の呼称： Kima[キマ] (マレーシア)

分布： インド - 太平洋

身体的特徴： 殻長：最大 130cm、体重：最大 300kg

国際的な保全状況：^α

シャコガイ科全種が **CITES 附属書 II** に掲載

IUCN：VU(4種)、その他 5種が LR/cd

「種の保存法」による指定状況：なし (2011 年 12 月時点)



Credit: TSEA

顕著な特徴：

生体

体を覆う厚い肉（外套膜）が、開いた時に殻の縁から外に出る

外套膜の色が鮮やかなこともある



Credit: Aileen Tan Shau-Hwai



Credit: Mauri RAUTAKRI - WWF/Canon

死殻（殻のみ）

殻の内面には真珠のような光沢はみられない



Credit: Claire Beastall



Credit: Claire Beastall



Credit: Claire Beastall

取引形態：

肉、貝殻、または生体を観賞用に取引



Credit: Alain COMPOST / WWF-Canon



販売されるシャコガイ類の肉
Credit: Aileen Tan Shau-Hwai



Credit: TSEA



販売されるシャコガイ類の肉
Credit: Aileen Tan Shau-Hwai

Nepenthes spp. - ネペンテス(ウツボカズラ)属

Pitcher Plants

他の呼称：

分布： オーストラリア北部から、東南アジア、中国南部まで

顕著な特徴：



捕虫袋は、
葉の先端から生じる

一細い茎と細長い葉をもち、つる状に伸びる（茎は枝
分かれすることもある）

一捕虫袋は葉の先から生じるが、すべての葉から捕虫
袋が生じるわけではない



Nepenthes albomarginata
シロエリウツボカズラ
Credit: Carrol Lawrence

Nepenthes albomarginata
シロエリウツボカズラ
Credit: K. Kaliyanan



Nepenthes burbidgeae
(ネペンテス・バービッジアエ)
Credit: Carrol Lawrence



Nepenthes macfarlanei
(ネペンテス・マクファラネイ) (茎の基部の捕虫袋)
Credit: Carrol Lawrence



Nepenthes sanguinea
(ネペンテス・サンギネア)
Credit: Carrol Lawrence

国際的な保全状況：^a

Nepenthes rajah オオウツボカズラと *Nepenthes khasiana*
(ネペンテス・カシアナ) の 2 種が **CITES 附属書 I** に掲載
ネペンテス(ウツボカズラ)属の他の種はすべて **CITES 附属書 II**
に掲載*

「種の保存法」による指定状況：

CITES 附属書 I 掲載 2 種が国際希少野生動植物種（2011 年 12 月時点）

CITES 附属書 I 掲載種：

Nepenthes rajah オオウツボカズラ

IUCN: EN

分布：マレーシア（サバ州のキナバル山とタンブユコン山のみ）

葉の裏面の先端から約
3 分の 1 のところから
捕虫袋が伸びる種の
ひとつ。

捕虫袋は、最大で高さ
35cm、幅 18cm に達
し、3ℓを超える消化液
を保持していることもあ
る。



Nepenthes rajah オオウツボカズラ
Credit: Carrol Lawrence

Nepenthes khasiana (ネペンテス・カシアナ)

IUCN 掲載なし

分布：インド

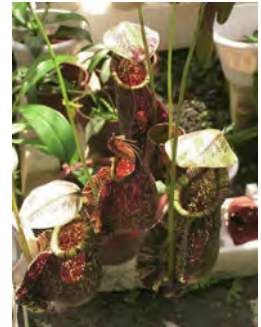


Nepenthes macfarlanei
(ネペンテス・マクファラネイ)
(茎の上部についた捕虫袋)
Credit: Carrol Lawrence

注：さらに決定的な識別をおこなうには各地域の
専門家に問い合わせること。

取引形態：生体

注：密輸者は、識別が難しく
なるよう、葉の先端 3 分の 1 を
切り取り、捕虫袋をすべて取
り除いてしまうことが多い。



取引される *Nepenthes rafflesiana*
ウツボカズラ
Credit: Carrol Lawrence

*CITES 附属書 II 掲載種：

次を除くすべての部分および派生物。

a) 種子、胞子および花粉（花粉塊を含む）

b) 試験管中で固体または液体の培地で得た実生または組織培養体
であって無菌の容器で輸送されたもの

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Orchidaceae - ラン科

CITES 附属書 I 掲載種
ORCHIDACEAE ラン科シート 1/2

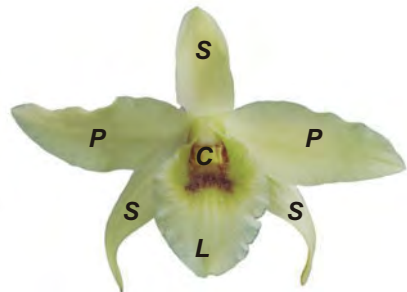
Orchids

他の呼称：Anggerik [アンゲリク] (マレーシア)

25,000 以上の種が知られている——識別は困難だが、花には共通の特徴がいくつかある。

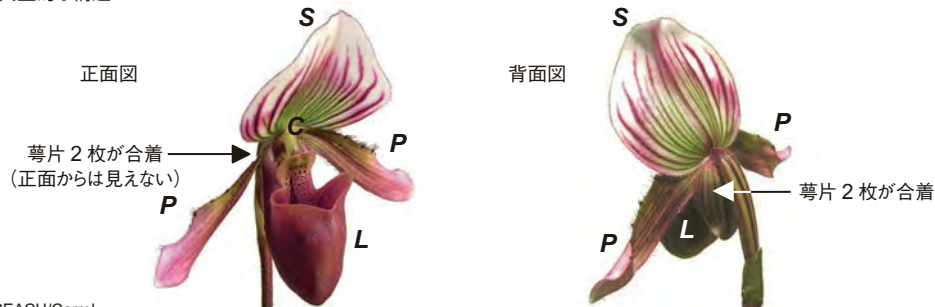
花にみられる共通の特徴：

- 花弁の外側に3枚の萼（がく）片がある（花弁のように見えることもある）(S)
- 花弁は3枚 (P)、うち1枚（大きく変形）は唇弁（しんべん）と呼ばれ (L)、色、形、大きさが他の花弁と異なることがある
- 花は左右対称
- 雄しべと雌しべが合着して蕊（ずい）柱を成している (C)



Credit: REACH/Amran

袋状の唇弁をもつラン：Paphiopedilum spp. パフィオペディルム属や Phragmipedium spp. フラグミペディウム属など花の典型的な構造：



Credit: REACH/Carroll

*CITES 附属書 I に掲載されているラン

<i>Dendrobium cruentum</i> (デンドロビウム・クルエントウム)	分布：タイ、マレーシア
<i>Renanthera imschootiana</i> (レナンテラ・インスコオティアナ)	分布：インド、ミャンマー、ベトナム
<i>Paphiopedilum</i> spp. パフィオペディルム属全種 (約 62 種)	分布：南アジア、東南アジア、中国、パプアニューギニア
<i>Phragmipedium</i> spp. フラグミペディウム属全種 (約 17 種)	分布：中南米
<i>Aerangis ellisii</i> (アエランギス・エルリスイイ)	分布：マダガスカル
<i>Laelia</i> (または <i>Sophranitis</i>) <i>lobata</i> (ラエリア・ロバタ)	分布：ブラジル
<i>Laelia</i> (または <i>Sophranitis</i>) <i>jongheana</i> (ラエリア・ヨンゲアナ)	分布：ブラジル
<i>Peristeria elata</i> (ペリスティア・エラタ)	分布：コスタリカ、パナマ、ベネズエラ、コロンビア

国際的な保全状況：^α

CITES 附属書 I：6 種および 2 属が掲載 *

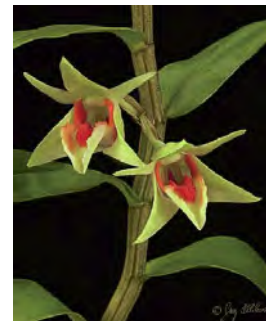
これらの種についても、試験管中で固体または液体の培地で得られ、無菌の容器で輸送された実生または組織培養体は、CITES の適用を受けない。

CITES 附属書 II：CITES 附属書 I 掲載種を除くその他のラン科全種 (除外の詳細については www.cites.org を参照のこと)

注：野生(自生地で採取された)のランはすべて CITES 許可書を要する

取引形態：生体(花が咲いているとは限らない)、切り花、土産物

* 東南アジアでみられる CITES 附属書 I に掲載されているラン



Credit: Greg Allikas

Dendrobium cruentum
(デンドロビウム・クルエントウム)
分布：タイ、マレーシア



Credit: Nik Ahmad Fahmi

Renanthera imschootiana
(レナンテラ・インスコオティアナ)
分布：インド、ミャンマー、ベトナム



Paphiopedilum barbatum
(パフィオペディルム・バルバツム)
Credit: REACH/Amran

Paphiopedilum spp. 分布：南アジア、東南アジア、中国、パプアニューギニア
パフィオペディルム属全種

- 葉：革質ではっきりとした中肋（ちゅうろく）を持つ
- 断面は V 字型
- 通常は長さ 20cm 未満
- 色は様々な緑色から、紫色の模様となる種まで様々

注：さらに決定的な識別をおこなうには各地域の専門家に問い合わせること。

^α 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Orchids

野生(自生地で採取された)のランはすべてCITES許可書を必要とする……

野生	人工繁殖
量： たいいてい少数（20 標本未満）で輸送される	たいいてい多数（20 標本以上）で輸送される
大きさ： 大きさは様々	大きさが一定
根： 元気がなく、数が少なく、損傷したり切り取られていたりすることが多い。入れられている容器の形と生長の方向が合っていない。藻類や小さなシダ類、樹皮、枝、石、砂、カタツムリや昆虫などの小動物がついていることもある。	きれいに伸びていることが多く、容器の形にあった生長をしていることもある。植え込み材料（炭、寒天、ヤシ殻、ミズゴケなど）がついていることがある
全体的な外観： 元気がない。葉がまだらになっていたり色褪せていたりすることがあり、（昆虫、カビ、藻類、地衣類などにより）損傷していることが多い	元気で、（昆虫、カビ、藻類、地衣類などにより）葉に損傷がみられない

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II：ラン科全種

ただし附属書 I に掲載される 6 種および 2 属を除く
(Orchidaceae ラン科シート 1/2、
CITES 附属書 I 掲載種を参照のこと)

「種の保存法」による指定状況：

CITES 附属書 I に掲載される 6 種と 2 属が国際希少野生動物種。

Calanthe hattorii アサヒエビネ、*C. hoshiji* ホシツルラン、*Cypripedium guttatum* チョウセンキバナアツモリソウ、*C. macranthum* var. *hoteiatsumorianum* ホテアツモリ、*C. m. var. rebunense* レブンアツモリソウ、*C. m. var. speciosum* アツモリソウ、*Dendrobium okinawense* オキナワセッコク、*Liparis elliptica* コゴメキノエラン、*Malaxis boninensis* シマホザキラン、*Platanthera sonoharai* クニガミトンボソウは国内希少野生動物種（2011 年 12 月時点）



Credit: WWF-Canon / Wil LUIJF

注:さらに決定的な識別をおこなうには各地域の専門家に問い合わせのこと。

野生と人工繁殖のランを区別する方法——注目すべきポイントは…

野生ランの根は：



Credit: REACH/Carrol

以下の可能性がある…

…生長の方向が様々である（容器の形と一致していない）

…ちぎれている、または損傷している。損傷した古い根から新たな根が生じている場合もある

…自生地の樹皮や土などの一部が付着したままになっている

…枯れている（肉厚の外層がしなびて茶色の粉状になっている）

野生ランの葉は：



Credit: Royal Botanic Gardens Kew

以下の可能性がある…

…つぶれている、またはちぎれている

…昆虫や小さな哺乳類にかじられた跡がある

…昆虫の食害による斑点や穴がある

…乾燥により損傷している（しなびていたり、中肋（ちゅうろく）に沿ってひび割れている）

Credit: REACH/Carrol

野生のランの全体的な外観：



Credit: Royal Botanic Gardens Kew

生長が一樣でない

枯れた花茎や果実がついていることがある



Credit: REACH/Carrol

人工繁殖のラン：

…ビンの中で培養されたものなどは、CITES の適用を受けない

…輸出のため人工的に育成された個体は、どの株の外観もほぼ同じである。



Credit: Royal Botanic Gardens Kew

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。

Gonystylus spp. - ゴニステュルス属 (ラミン)

Ramin

他の呼称： Bengol[ベンゴル]、Gaharu[ガハル]、Melawis[メラウィス]、
Garu Buaja[ガル・ブアジャ]、Lanutan-bagio[ラヌタン・バギオ]

分布： ブルネイ、インドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、フィリピン、ソロモン諸島

国際的な保全状況：^a

CITES 附属書 II

IUCN：15 種が VU に記載

「種の保存法」による指定状況：なし（2011 年 12 月時点）

識別方法：

1. 調査のため、木のサンプルを採取する。

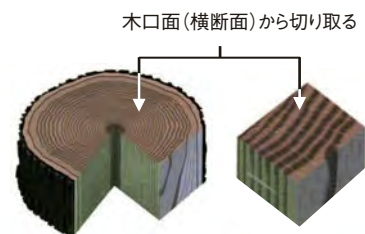


Image Source: Environment Canada



鋭利なナイフを使い、
横断面の表面を少し
削る

2. 削り取った表面を調べる。

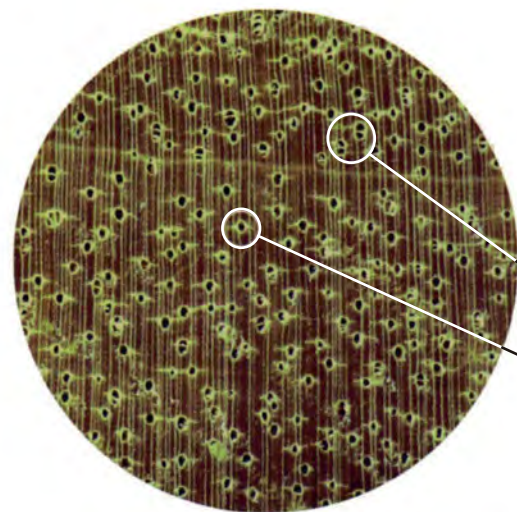


14 倍のルーペを
使い、削った部分
を調べる



はっきりと見るには、
ルーペのレンズを目
に近づけること

観察のポイント：



ゴニステュルス属 (ラミン)

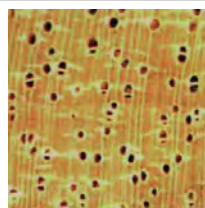
心材は白っぽい色から薄い黄色

やや硬く重い

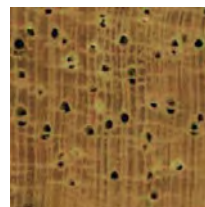
導管は、年輪に沿ってはっきり
並んでいない

導管は通常単独で存在しているが、
複数の導管が連なっていることもある

翼のような構造が導管を囲んでいる

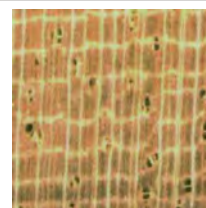


Gonystylus sp.
ゴニステュルス属の一種

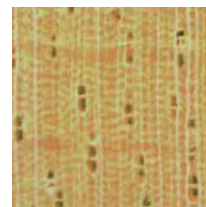


Gonystylus sp.
ゴニステュルス属の一種

類似種：



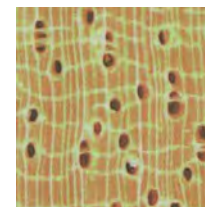
Alstonia scholaris
ブライ



Dyera costulata
ジェルトン



Hevea brasiliensis
パラゴムノキ



Endospermium malaccense
ニューギニアバスウッド

注：さらに決定的な識別をおこなうには各地域の専門家に問い合わせること。



Credit: Chen Hing Keong/TSEA

取引形態：

挽材、加工材。
戸枠、額縁、小児用ベッド、
定規に用いられることが多い



ラミンは様々な色に染められている
こともある
Credit: Chris Shepherd/TSEA

^a 現在の保全状況は www.cites.org および www.iucnredlist.org にて確認のこと。



アセアン野生生物法執行ネットワーク（ASEAN-WEN）は、東南アジア諸国連合（ASEAN）全 10 ヶ国（ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）の警察、税関、環境関連当局などが参加するネットワークである。

保護の対象となっている種の違法取引は、生物多様性を脅かし、国民の健康を危険にさらし、経済の健全性を損なう。

ASEAN-WEN はこうした種の違法取引に対し地域レベルで対応する際の調整をおこなっている。

- ASEAN-WEN は
- 違法な野生生物取引に対抗するため設立された、地域レベルの政府間の法執行ネットワークである。
 - 東南アジアにおける、緊急的な野生生物の消失とそれに関わる不正取引に積極的な対応をとっている。
 - 各国が情報を交換し、それぞれの成功事例から学ぶことのできる仕組みである。



TRAFFIC (トラフィック) は、野生生物取引の調査・監視をおこなうネットワークである。世界各地に事務所を構え、ほぼすべての地域を網羅しながら野生動植物の取引が自然への脅威とならないよう活動を続けている。また「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」の事務局と密接に協力しながら活動している。

詳細に関しては以下にお問い合わせください。

Regional Director
TRAFFIC Southeast Asia
Unit 3 - 2, 1st Floor
Jalan SS23/11, Taman SEA,
47400 Petaling Jaya
Selangor
MALAYSIA

Tel: +603 7880 3940
Fax: +603 7882 0171
Website: www.traffic.org

※日本語版の本識別シートに関しては以下にお問い合わせください。

トラフィックイーストアジアジャパン
〒105-0014
東京都港区芝3丁目1番14号
日本生命赤羽橋ビル6F

Tel: 03-3769-1716
Fax: 03-3769-1304
E-mail: traffic@trafficj.org
Website: www.trafficj.org

TRAFFIC is a joint
programme of

